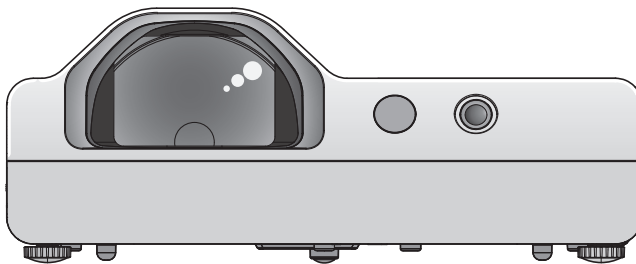


Panasonic®


取扱説明書 詳細編

液晶プロジェクター 業務用

品番 **PT-TW371RJ**



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に“安全上のご注意”（ 4～7ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

PJLink®

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

JAPANESE

DPQP1253ZD/X1

もくじ

安全上のご注意 4

第 1 章 はじめに

ご使用になる前に.....	11
製品の意図する使い方	11
本機の運搬について	11
本機の設置について	11
セキュリティーに関するお願い.....	13
無線 LAN に関するお願いとお知らせ	13
本機が対応するアプリケーションソフトにつ いて	14
保管について	15
廃棄について	15
本機の取り扱いについて.....	15
付属品の確認.....	16
別売品	17
各部の名称とはたらき	18
リモコン.....	18
本体	19
リモコンの準備.....	22
電池を入れる、取り出す	22
本機を複数台使用するとき	22
インタラクティブペンの使い方	23
各部の名称.....	23
電池を入れる、取り出す	23
使用方法.....	23

第 2 章 準備

設置する	25
設置形態.....	25
設置オプションについて（別売品）	25
投写関係.....	26
接続する	28
接続の前に.....	28
映像機器との接続（例）	29
コンピューターとの接続（例）	30

第 3 章 基本的な使い方

電源を入れる / 切る	32
電源コードを接続する	32
電源インジケーターについて.....	32
電源を入れる	33
調整・選択をする	33
電源を切る.....	34
投写する	35
投写する映像を選択する.....	35
映像の映り具合を調整する.....	36

アジャスター脚の調整	36
リモコンで操作する.....	37
オートセットアップを実行する	37
映像の縦横比を切り換える.....	37
スクリーン補正機能を使う	38
ステータスを表示する	38
静止機能を使う	38
AV ミュート機能を使う	39
プレゼンテーションタイマー機能を使う.....	39
光源の明るさを切り換える.....	39
デジタルズーム機能を使う.....	39
音量を調整する	40
映像モードを切り換える.....	40
消音機能を使う	40
デイトライトビュー ライト機能を使う.....	40
リモコンのリモコンコードを設定する	41

第 4 章 調整と設定

オンスクリーンメニューについて.....	43
メニュー画面の操作方法.....	43
メインメニュー	44
サブメニュー	45
[表示] メニューについて	47
[自動 PC 調整]	47
[トラッキング]	47
[水平位置]	47
[垂直位置]	48
[水平サイズ]	48
[アスペクト]	48
[投写方式]	49
[メニュー位置]	49
[背景表示]	49
[システム]	49
[色彩調整] メニューについて	51
[イメージモード]	51
[コントラスト]	51
[明るさ]	51
[色の濃さ]	52
[色あい]	52
[色温度]	52
[赤] / [緑] / [青]	52
[画質]	53
[Daylight View]	53
[設定] メニューについて	54
[オンスタート]	54
[スタンバイモード]	54
[ファン制御]	54
[ランプコントロール]	54

[ファン]	55
[クローズドキャプション]	55
[キーロック]	55
[アイリス]	56
[サウンド]	56
[HDMI セットアップ]	57
【拡張設定】メニューについて	58
[言語]	58
[オートセットアップ]	58
[キーストーン]	59
[ロゴ]	62
[セキュリティ]	65
[パワーマネージメント]	66
[フィルターカウンター]	67
[テストパターン]	67
[ネットワーク]	68
[リモコンコード]	69
[初期設定]	69
【メモリービューワー】メニューについて	70
[セットスライド]	70
[スライド効果]	70
[ソート順]	70
[回転]	70
[ベストフィット]	71
[リピート]	71
[適用]	71
【インフォメーション】メニューについて	72
[インフォメーション]	72

第5章 機能の操作

メモリービューワー機能について	74
メモリービューワー機能で投写できる画像	74
USB メモリー使用上のお願い	74
メモリービューワー画面を表示する	75
静止画を再生する	75
スライドショーを実行する	75
メモリービューワーを終了する	75
USB ディスプレイ機能について	76
Windows コンピューターで使用する場合	76
Mac で使用する場合	77
ネットワーク接続について	78
有線 LAN で接続する場合	78
無線 LAN で接続する場合	80
「Presenter Light ソフトウェア」について	82
WEB 制御機能について	83
設定に使用できるコンピューター	83
WEB ブラウザーから本機を監視・制御する	83

第6章 点検とお手入れ

インジケーターで状態を確認する	89
お手入れ / 部品交換	91
お手入れ / 部品交換の前に	91
お手入れ	91
部品交換	93
故障かな!?	96



第7章 その他

付録	98
PJLink プロトコルを使用する	98
〈SERIAL IN〉端子について	99
対応信号リスト	102
仕様	104
外形寸法図	106
天つり金具取り付け時の注意事項	107
保証とアフターサービス	108
保証書 (別添付)	108
補修用性能部品の保有期間	108
修理のご依頼について	108
さくいん	109



安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。






■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

電源について	
(異常・故障時には直ちに使用を中止する)	
 電源プラグを抜く	<p>■ 異常があったときは、電源プラグを抜く [内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音が発生したとき] (そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。) ⇒ 異常の際、電源プラグをすぐに抜けるように、コンセントを本機の近くに取り付けるか、配線用遮断装置を容易に手が届く位置に設置してください。 ⇒ 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。 ⇒ お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
	<p>■ 電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本体側）は、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全であると、感電や発熱による火災の原因になります。) ⇒ 傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。</p> <p>■ 電源プラグのほこりなどは、定期的にとる (プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。) ⇒ 半年に一度はプラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。 ⇒ 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。</p>
	<p>■ 電源コード・プラグが破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど] (傷んだまま使用すると、火災や感電、ショートの原因になります。) ⇒ 電源コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。</p> <p>■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない (たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。)</p> <p>■ 付属の電源コード以外は使用しない (付属以外の電源コードを使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。また、付属の電源コードを使い、コンセント側でアースを取らないと感電の原因になります。)</p>
 ぬれ手禁止	<p>■ ぬれた手で電源プラグや電源コネクターに触れない (感電の原因になります。)</p>
 接触禁止	<p>■ 雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない (感電の原因になります。)</p>



警告 (つづき)

ご使用・設置について



■ **放熱を妨げない**

【布や紙などの上に置かない（吸気口に吸着する場合があります）、風通しが悪く狭い所に押し込まない】

（内部が高温になり、火災の原因になることがあります。）

⇒ 吸排気を妨げないよう、周辺の壁やものから排気口までは 1 m 以上、吸気口までは 50 cm 以上離して設置してください。

■ **排気口には手やものを近づけない**

【手や顔を近づけない、指を入れない、熱に弱いものを近くに置かない】

（排気口からは熱風がでているため、やけどやけが、変形の原因になります。）

■ **カーペットやスポンジマットなどのやわらかい面の上で本機を使用しない**

（内部に熱がこもり、本機の故障、火災ややけどの原因になることがあります。）

■ **湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない**

（火災や感電の原因になることがあります。また、油により樹脂が劣化し、天つり設置の場合に落下するおそれがあります。）

■ **荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない**

（落下などによる本機の破損・変形や、大きな事故やけがの原因になります。）

■ **人が通る場所にプロジェクターを設置しない**

（ぶつかったり、電源コードに足を引っかけたりして、火災や感電、けがの原因になることがあります。）

■ **使用中は投写レンズを絶対にのぞかない**

（投写レンズからは強い光がでます。中を直接のぞくと、目を痛める原因になります。）

⇒ 使用中に本機から離れる場合は、電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。

⇒ 特にお子様にはご注意ください。



「本体に表示したマーク」

■ **内部に金属類や燃えやすいものなどを入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない**

（ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。）

⇒ 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。

⇒ 水などの液体が内部に入ったときは、販売店にご相談ください。

⇒ 特にお子様にはご注意ください。



分解禁止

■ **分解や改造をしない**

（内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器の故障の原因になります。）

⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。



警告

感電のおそれあり

サービスマン以外の方は
ケースをあけないでください。
内部には高電圧部分が数多く
あり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」



■ **天井取り付け（天つり）などの設置工事は、工事専門業者または販売店に依頼する**




（工事の不備により、落下事故の原因となります。）

■ **当社で指定した天つり金具を使用する**



（当社指定以外の天つり金具の不備により、落下事故の原因となる場合があります。）

⇒ 当社指定の天つり金具をご利用の際は、天つり金具（取付用ベース金具）に付属のワイヤーで、落下防止の処置を行ってください。

警告 (つづき)

付属品・消耗品について	
 電源プラグを抜く	<p>■ ランプユニット交換を行う前に、必ず電源を切り電源プラグをコンセントから抜く (電源プラグを抜かずに交換作業を行うと、感電やランプ破裂の原因になります。また、ランプの点灯中は紫外線を発生しています。) ⇒ 正しい手順で交換を行ってください。</p>
	<p>■ ランプユニットを分解しない (ランプ部が破裂すると、けがの原因になります。)</p>
	<p>■ ランプユニット交換の際は、指定のねじ以外は外さない (感電・やけど・けがの原因となります。)</p>
	<p>■ 電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない 【液が目に入ったら目をこすらない】 (失明のおそれや、液が身体や衣服に付着した場合、皮膚の炎症やけがの原因になります。) ⇒ すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。</p>
	<p>■ 電池は誤った使い方をしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 指定された電池以外は使用しない。 ● 乾電池は充電しない。 ● 加熱・分解したり水などの液体や火の中へ入れたりしない。 ● +と-を針金などで接続しない。 ● +と-を逆に入れない。 ● ネックレスやヘアピンなど金具が使用されているものと一緒に持ち運んだり保管したりしない。 ● 新旧の電池や違う種類の電池を混ぜて使わない。 ● 被覆のはがれた電池は使わない。(電池には安全のために被覆がかぶせてあります。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。) <p>(液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。)</p>
	<p>■ 付属の電源コードは、本機以外の機器では使用しない (付属の電源コードを本機以外の機器で使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ 付属の乾電池は、乳幼児の手の届く所に置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>
	<p>■ ランプユニットの交換は、電源を切り、ランプが冷えてから(1時間以上待ってから)行う (カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。)</p>
	<p>■ 使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す (そのまま機器の中に放置すると、電池の液漏れや、発熱・破裂の原因になります。)</p>






注意

電源について	
 電源プラグを抜く	<p>■ 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く (電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ お手入れ、部品交換の際は、電源プラグをコンセントから抜く (感電の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ 電源コードを取り外すときは、必ず電源プラグ(コンセント側)や、電源コネクタ(本体側)を持って抜く (コードを引っ張るとコードが破損し、感電、ショートによる火災の原因になることがあります。)</p>





注意 (つづき)


ご使用・設置について

	<p>■ 本機の上に重いものを載せたり、乗ったりしない (バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。また、本機の破損や変形の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ 異常に温度が高くなる所に置かない (外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。) ⇒ 直射日光の当たる所や、熱器具などの近くには、設置・保管をしないでください。</p>
	<p>■ 塩害が発生する所、腐食性ガスが発生する所に設置しない (腐食による落下の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ 使用中は投写レンズの前に立たない (投写レンズからは強い光がでます。投写レンズの前に立つと衣服を傷めたり、やけどの原因になることがあります。)</p>
	<p>■ 使用中は投写レンズの前にもものを置かない ■ 投写レンズの前にもものを置いて遮光しない (投写レンズからは強い光がでます。投写レンズの前にもものを置くと、火災やものの破損、本機の故障の原因になることがあります。)</p>
	   <p>「本体に表示したマーク」</p>
	<p>■ 〈VARIABLE AUDIO OUT〉端子には、ヘッドホンやイヤホンを接続しない (ヘッドホンやイヤホンからの過剰な音圧により、難聴の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ 移動させる場合は、必ず接続線を外す (コードの破損などにより、火災や感電の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ 天井設置する場合は、取り付けねじや電源コードが天井内部の金属部と接触しないように設置する (天井内部の金属部と接触して、感電の原因になることがあります。)</p>

付属品・消耗品について

	<p>■ ランプが破裂したときは、さわったり、顔を近づけたりしない (散乱したガラス片で、けがをしたり、破裂により発生したガスを吸い込んでしまったりするおそれがあります。) ⇒ 直ちに換気を行ってください。万一吸い込んだり、目や口に入ったりした場合は、直ちに医師にご相談ください。 ⇒ 破裂により発生したガスは、蛍光灯程度の水銀を含有しています。 ⇒ 販売店にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。</p>
	<p>■ 古いランプユニットは使用しない 【使用時間を越えたランプユニットは使用しない】 (そのまま使用を続けると、破裂する場合があります。) ⇒ ランプユニットは消耗部品です。</p>
	<p>■ 長期間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出す (電池の液漏れ、発熱、発火、破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。)</p>

お手入れについて

	<p>■ 1年に1度は、内部の清掃を販売店に依頼する (本機の内部にほこりがたまったまま使用を続けると、火災の原因になることがあります。) ⇒ 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。 ⇒ 内部清掃費用については販売店にご相談ください。</p>
---	---

■ 商標などについて

- Windows、Internet Explorer、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、OS X、macOS、iPad、iPhone、iPod touch、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- IOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Android は、Google Inc. の商標です。
- PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録または出願商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- Intel® は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Adobe、Acrobat、Reader は、アドビシステムズ社の米国および / または各国での商標または登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では ® や TM マークは明記していません。

当製品に関するソフトウェア情報

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ~ (5) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、「取扱説明書 基本ガイド」に掲載されているライセンス条件をご参照ください。「取扱説明書 基本ガイド」は製品に添付されています。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも 3 年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口 (E メール) : oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

「Presenter Light」は下記のソフトウェアを使用します。

A portion of this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

■ 本書内のイラストについて

- プロジェクター本体、メニュー画面 (OSD) などのイラストは、実際とは異なることがあります。
- ご使用のコンピューターの機種や OS の種類によって、実際にコンピューターの画面に表示されるものとは異なることがあります。

■ 参照ページについて

- 本書では、参照ページを (☞ 00 ページ) のように示しています。

■ 用語について

- 本書では付属品の「ワイヤレスリモコン」を「リモコン」と記載しています。
- 本体操作部の〈INPUT/ENTER〉ボタンがメニュー画面表示中は〈ENTER〉ボタンとして機能しますので、本書のメニュー画面の操作手順では、「〈ENTER〉ボタンを押す」と記載しています。

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

本機の特長

明るい環境下でも快適な視聴

- ▶ 軽量小型ボディながら、コントラスト比 16 000 : 1 を実現しました。
- ▶ 低騒音 30 dB *¹ を実現し、静かなシーンでも快適な視聴ができます。
- ▶ リモコンの〈DAYLIGHT VIEW〉ボタンを押すことで、明るい部屋でも快適な視聴ができます。(デイライトビュー ライト機能)

*¹ [ランプコントロール] を [💡 (静音)] に設定時

豊富な映像補正機能

- ▶ スクリーンに合わせ、H/V キーストーン補正、コーナー補正、曲面スクリーン補正機能で映像のひずみを補正することができます。

メンテナンス費用の削減

- ▶ 長期光源ランプ交換推奨時間 20 000 時間 *¹ の実現によりメンテナンス費用を削減します。

*¹ [ランプコントロール] を [💡 (ECO)] の設定で使用し続けた場合この時間は目安であり、保証時間ではありません。

インタラクティブ機能

- ▶ インタラクティブペンを使用して、投写画面へ文字や図形の書き込みができます。

投写するまでの手順

詳しくは各ページをご覧ください。

1. 本機を設置する
(👉 25 ページ)
2. 本機と外部機器を接続する
(👉 28 ページ)
3. 電源コードを接続する
(👉 32 ページ)
4. 電源を入れる
(👉 33 ページ)
5. 投写する映像を選択する
(👉 35 ページ)
6. 映像の映り具合を調整する
(👉 36 ページ)

第 1 章 はじめに

ご使用前に知っておいていただきたい内容やご確認いただきたい内容について説明しています。

ご使用になる前に

製品の意図する使い方

本機は、映像機器やコンピューターからの映像信号を、静止画や動画としてスクリーンなどに投写することを目的としています。

本機の運搬について

- 運搬の際は、本機の底面を持つようにし、過度の振動や衝撃を加えないようにお取り扱いください。内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- アジャスター脚を伸ばした状態で運搬しないでください。アジャスター脚が破損するおそれがあります。
- 別売品のワイヤレスモジュール（品番：ET-WML100J）を装着した状態で本機を移動したり運搬したりしないでください。ワイヤレスモジュールが破損するおそれがあります。

本機の設置について

■ 屋外に設置しないでください

本機は室内でご使用ください。

■ 以下の場所には設置しないでください

- 車両・船舶など、振動や衝撃が加わる場所：内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- 海の近くや腐食性ガスが発生する場所：腐食により製品が落下するおそれがあります。また、部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。
- エアコンの吹き出し口の近く：使用環境によっては、排気口からの熱せられた空気や、空調からの温風・冷風の影響で、まれに画面に「ゆらぎ」が発生する場合があります。本機の前面に自機、あるいは他機の排気や、空調からの風が回り込むような設置がないように注意してください。
- 照明器具（スタジオ用ランプなど）の近くなどの温度変化が激しい場所：光源ランプの寿命などに影響を及ぼすおそれや、熱により本体が変形し、故障の原因になることがあります。本機の使用環境温度をお守りください。
- 高圧電線や動力源の近く：妨害を受ける場合があります。

■ 天井取り付けなどの設置工事は、必ず工事専門業者、または販売店にご依頼ください

本機を天井に設置する場合や、高所へ設置する場合は、性能、安全確保のため、工事専門業者またはお求めの販売店に施工を依頼してください。

■ フォーカス調整について

プロジェクターのレンズは、光源からの光による熱の影響で、電源を入れた直後はフォーカスが安定しません。フォーカス調整は、映像を映した状態で 30 分以上経過したのちに行うことをお勧めします。

■ 海拔 700 m 未満でご使用の際は、【ファン制御】を必ず【オフ】に設定してください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■ 海拔 700 m 以上 1 400 m 未満でご使用の際は、【ファン制御】を必ず【オン 1】に設定してください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■ 海拔 1 400 m 以上 2 700 m 未満でご使用の際は、【ファン制御】を必ず【オン 2】に設定してください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

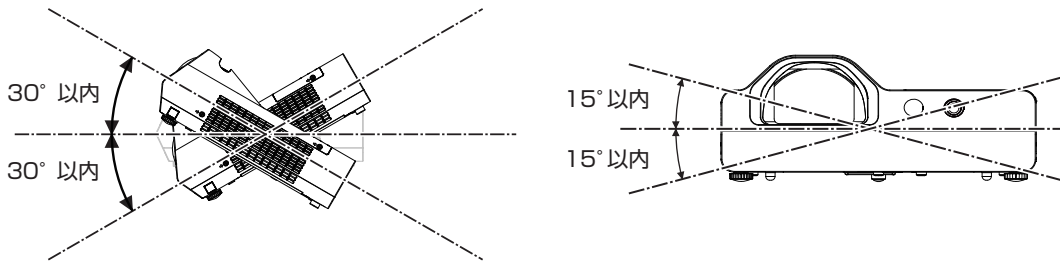
■ 海拔 2 700 m 以上の場所に設置しないでください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■ 本機を立てたり、左右に傾けたりして使用しないでください

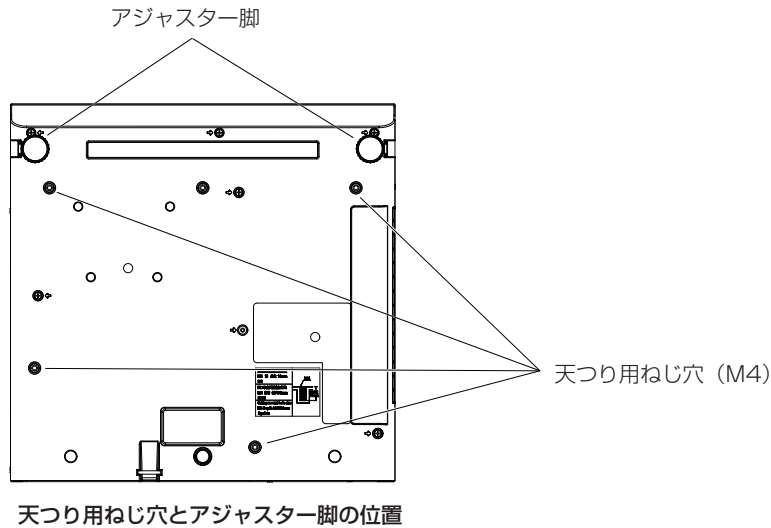
本機を上下方向に ± 30° 以上傾けたり、左右方向に ± 15° 以上傾けたりして使用しないでください。部品の寿命などに影響を及ぼすおそれがあります。

なお、[拡張設定]メニュー→[キーストーン]→[H/V キーストーン]で補正できる角度は、± 15° の範囲内です。スクリーン面に対する本機の上下方向の傾きが 15° を超えると、垂直方向の台形ひずみを補正できないことがあります。

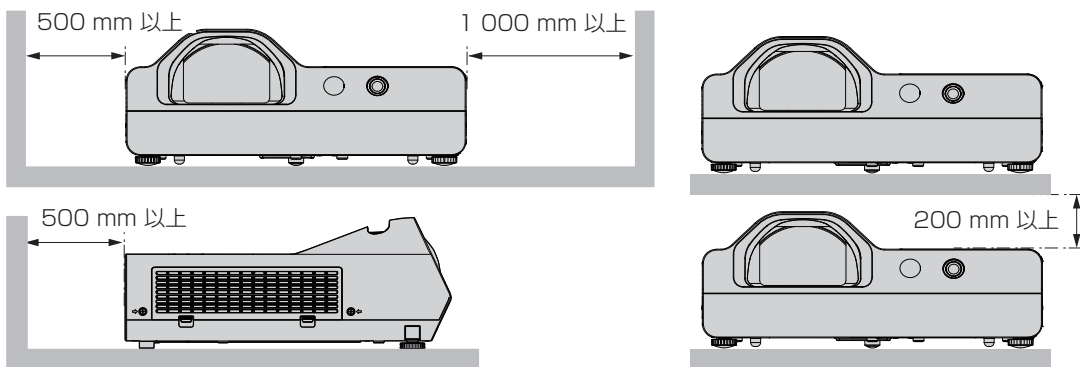


■ 設置上のご注意

- アジャスター脚は、床置き設置およびその際の角度調整にのみ使用してください。それ以外の用途で使用すると、本機が破損するおそれがあります。
- プロジェクターを床置き設置や天つり金具による天つり設置以外の方法で設置して使用する場合は、プロジェクターの固定を天つり用ねじ穴（図示）4か所を使用して行ってください。またその際は、スペーサー（金属製）を挟むなどの方法で、プロジェクター底面の天つり用ねじ穴と設置面との間にすき間が生じないようにしてください。
- 固定ねじの締めつけの際は、トルクドライバーまたは、六角トルクレンチを使用し、規定値内のトルクで締めつけてください。電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。（ねじ径：M4、プロジェクター内部ねじ穴深さ：10 mm、ねじの締めつけトルク：1.25 ± 0.2 N・m）



- 本機の吸気口・排気口をふさがらないでください。
- 空調の冷風や温風が、本機の吸気口・排気口に直接当たらないように設置してください。



- 本機を密閉した空間に設置しないでください。密閉した空間に設置する場合は、別途、空調設備、換気設備を設けてください。換気が不十分な場合、排気熱が滞留することで、本機の保護回路がはたらくことがあります。
- 設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。

セキュリティに関するお願い

本製品をご使用になる場合、次のような被害に遭うことが想定されます。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
 - 悪意の第三者による本製品の不正操作
 - 悪意の第三者による本製品の妨害や停止
- セキュリティ対策を十分に行ってください。
- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
 - パスワードは定期的に変更してください。パスワードは、[[拡張設定] メニュー → [セキュリティ] → [暗証番号変更] で設定できます。
 - パナソニック株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接パスワードを照会することはありません。直接問い合わせがあっても、パスワードを答えないでください。
 - ファイアウォールなどの設定により、安全性が確保されたネットワークでご使用ください。
 - WEB 制御のパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。WEB 制御機能のパスワードは、WEB 制御画面の [一般設定] ページで設定できます。

■ 無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューターなどと無線アクセスポイントとの間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波が届く範囲内であれば障害物（壁など）を越えてあらゆる場所からアクセスできるため、セキュリティ設定に不足があると、次のような問題が発生するおそれがあります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、次のような通信内容を盗み見られる可能性があります。
 - ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
 - メールの内容
- 不正に侵入される
悪意ある第三者により個人や会社内のネットワークへ無断でアクセスされ、次のような不正行為を受ける可能性があります。
 - 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
 - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
 - 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
 - コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

本来、無線 LAN アダプターや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN 機器をご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定を、それぞれの無線 LAN 機器の取扱説明書に従って行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

本機を無線 LAN で使用する際のセキュリティ設定について、お客様ご自身で対処できない場合には、『パナソニック プロジェクターサポートセンター』（☎ 14 ページ）までお問い合わせください。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

無線 LAN に関するお願いとお知らせ

本機の無線 LAN 接続機能使用時は、2.4 GHz 帯域の電波を使用します。無線局の免許は必要ありませんが、以降の内容を十分理解してご使用ください。本機で無線 LAN 機能を利用するためには、別売品のワイヤレスモジュール（品番:ET-WML100J）を装着する必要があります。

■ ほかの無線機器の近くでは使用しないでください。

次の機器は、本機と同じ帯域の電波を使用している可能性があります。これらの近くで本機を使用すると、電波の干渉により通信できなくなったり、通信速度が遅くなったりする場合があります。

- 電子レンジなど
- 産業・科学・医療用機器など
- 工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局
- 特定小電力無線局

■ 本機の近くでは、携帯電話・テレビ・ラジオをできるだけ使用しないでください。

携帯電話・テレビ・ラジオなどは、本機とは違う帯域の電波を使用していますので、無線 LAN の通信や、これらの機器の送受信には影響ありません。しかし、本機からの電波により、音声や映像にノイズが発生することがあります。

■ 鉄筋・金属・コンクリートなどは、無線 LAN 通信の電波を通しません。

木材やガラス（金属メッシュ入りガラスを除く）などの壁や床を通して通信することはできますが、鉄筋・金属・コンクリートなどの壁や床を通して通信することはできません。


■ 静電気が多く発生するような場所では、できるだけ本機を使用しないでください。

静電気やノイズが多く発生するような場所で本機を使用する場合、無線 LAN、または有線 LAN での通信が切れやすくなります。

まれに静電気やノイズにより LAN 接続ができなくなる場合がありますので、その場合は本機の電源を切ったあとに電源プラグをコンセントから抜き、問題となる静電気やノイズ源を取り除いたあとに本機の電源を入れ直してください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

パナソニック プロジェクターサポートセンター：  0120-872-601

■ 国外での取り扱いについて

本機は、お買い求めの国または地域からの持ち出しが禁止されていますので、お買い求めの国または地域でのみ使用してください。なお、無線 LAN を使用できるチャンネルや周波数は国や地域により制限があります。

■ 本機が対応するアプリケーションソフトについて

本機は、次のアプリケーションソフトに対応しています。各アプリケーションソフトの詳細やダウンロードについては、弊社 WEB サイト (<https://panasonic.biz/cns/projector/>) をご覧ください。

● 複数台監視制御ソフトウェア

イントラネットに接続された複数台のディスプレイ（プロジェクターやフラットパネルディスプレイ）を監視・制御するアプリケーションソフトです。

● 予兆監視ソフトウェア

イントラネット内にあるディスプレイやその周辺機器の状態を監視し、これらの機器の異常の通知や異常発生の予兆を検知するプラグインソフトです。「予兆監視ソフトウェア」は、「複数台監視制御ソフトウェア」にあらかじめ組み込まれています。このプラグインソフトの予兆監視機能を使用する場合は、「複数台監視制御ソフトウェア」を、ご使用のコンピューターにインストールしてください。予兆監視機能を有効にすると、ディスプレイの消耗品交換、各部清掃、部品交換のおおよその時期を通知し、事前にメンテナンスを実施することが可能になります。

予兆監視機能は、「複数台監視制御ソフトウェア」をコンピューターへのインストール後 90 日間に限り、無料で最大 2048 台のディスプレイを登録してご使用いただけます。90 日以降も継続して予兆監視機能を使用する場合は、「予兆監視ソフトウェア」のライセンス（ET-SWA100 シリーズ）をご購入のうえ、アクティベーションを行う必要があります。また、ライセンスの種類によって監視できるディスプレイの登録台数が異なります。

詳しくは、「複数台監視制御ソフトウェア」の取扱説明書をご覧ください。

● Presenter Light ソフトウェア

コンピューターの画面を、無線 LAN または有線 LAN でプロジェクターへ送信するための、Windows コンピューター対応のアプリケーションソフトです。

● ワイヤレスプロジェクター

PDF や画像などのファイルを、プロジェクターへ無線 LAN で送信して投写するための、iOS/Android 用アプリケーションソフトです。

● Light Pen3 ソフトウェア / ホワイトボードソフトウェア

付属のインタラクティブペンまたは別売品のインタラクティブポインター（品番：ET-PNT100）を使用して、プロジェクターの投写画面に文字や図形を書き込むアプリケーションソフトです。インタラクティブ機能を使用する場合に必要なになります。

保管について

本機を保管しておく場合は、乾燥した室内に保管してください。

廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。光源ランプには水銀が含まれています。取り外した古いランプユニットを廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口、または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

本機の取り扱いについて

■ 美しい映像をご覧いただくために

より高いコントラストで美しい映像をご覧いただくには、適切な環境を整えてください。スクリーン面に外光や照明などの光が入らないように、窓のカーテンやブラインドなどを閉め、スクリーン面近くの照明を消してください。

■ 投写レンズについて

- 投写レンズ面は素手でさわらないでください
投写レンズ面に指紋や汚れが付着すると、それらが拡大されてスクリーンに映り、美しい映像をご覧いただくための妨げとなります。
- 投写中にレンズをふかないでください
投写中にレンズの前面をふくと、レンズに異物が固着したり、レンズの表面を傷つけたりすることがあります。



「本体に表示したマーク」

■ 液晶パネルについて

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で製造されていますが、まれに画素の欠けや、常時点灯する画素が発生する場合があります。これらの現象は故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

また、静止画を長時間投写すると、液晶パネルに映像の残像が生じる場合がありますので、その場合は全白画面を 1 時間以上投写してください。なお、残像が完全に消えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。



■ 光学部品について

ご使用になる環境温度が高い場合や、ほこり、たばこなどの煙が多い環境下では、1 年未満のご使用でも、液晶パネルや偏光板などの光学部品の交換サイクルが短くなる場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店へご相談ください。

■ 光源ランプについて

本機的光源には、内部圧力の高い高圧水銀ランプを使用しています。

高圧水銀ランプには次のような特性があります。

- 使用時間にとまなない、光源ランプの輝度が低下します。
- 衝撃やキズ、使用時間による劣化などにより大きな音を出して破裂したり、寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがあります。特に 6 時間以上の連続使用や、頻繁な電源の切 / 入の繰り返しは、光源ランプの劣化を早め、寿命に大きく影響します。
- ごくまれに、投写開始後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を超えると破裂の可能性が高くなります。交換時期が来たらランプユニットを交換してください。（“ランプユニットの交換時期”（ 93 ページ）、“ランプユニットの交換手順”（ 94 ページ））
- 破裂すると、内部のガスが噴出し、煙のように見えることがあります。
- 万一来るに備え、あらかじめ交換用ランプユニットをご用意ください。

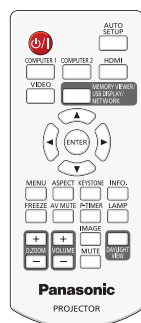
■ コンピューターや外部機器との接続について

コンピューターまたは外部機器を接続する際は、電源コードやシールドされたケーブルの使用も含め、本書の内容をよくご確認ください。

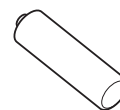
付属品の確認

以下の付属品が入っていることを確認してください。<> は個数です。

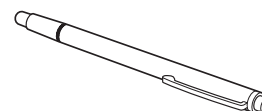
ワイヤレスリモコン <1>
(N2QAYA000116)



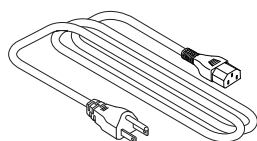
単 4 形乾電池 <6>
(リモコン用、インタラクティブペン用)



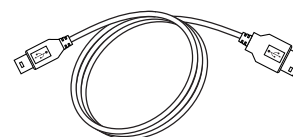
インタラクティブペン <2>
(ET-PEN100)



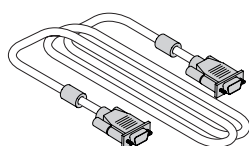
電源コード <1>
(K2CG3YY00186)



インタラクティブ USB ケーブル <1>
(K1YB04000003)



コンピューターケーブル <1>
(K1HY15YY0012)



お願い

- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。
- 付属の電源コードは本機以外の機器では使用しないでください。
- 付属品を紛失してしまった場合、販売店にご相談ください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かない所に適切に保管してください。

お知らせ

- 付属品の品番は、予告なく変更する可能性があります。

別売品

別売品 (品名)	品番
天つり金具	ET-PKL100H (高天井用) ET-PKL100S (低天井用) ET-PKL430B (取付用ベース金具)
天つり金具用アタッチメント金具 *1	ET-PAD100
交換用ランプユニット	ET-LAL510
交換用フィルターユニット	ET-RFL300
D-SUB - S Video 変換ケーブル	ET-ADSV
インタラクティブペン	ET-PEN100
インタラクティブポインター	ET-PNT100
ワイヤレスモジュール	ET-WML100J
予兆監視ソフトウェア (基本ライセンス / 3 年ライセンス)	ET-SWA100 シリーズ *2

*1 既設の天つり金具 (ET-PKV100H または ET-PKV100S) に本機を取り付ける場合は、取付用ベース金具 (ET-PKL430B) と天つり金具用アタッチメント金具 (ET-PAD100) を組み合わせて使用します。
別売品の天つり金具 (ET-PKL100H または ET-PKL100S) に取り付ける場合は、取付用ベース金具 (ET-PKL430B) を組み合わせて設置し、天つり金具用アタッチメント金具 (ET-PAD100) は不要です。

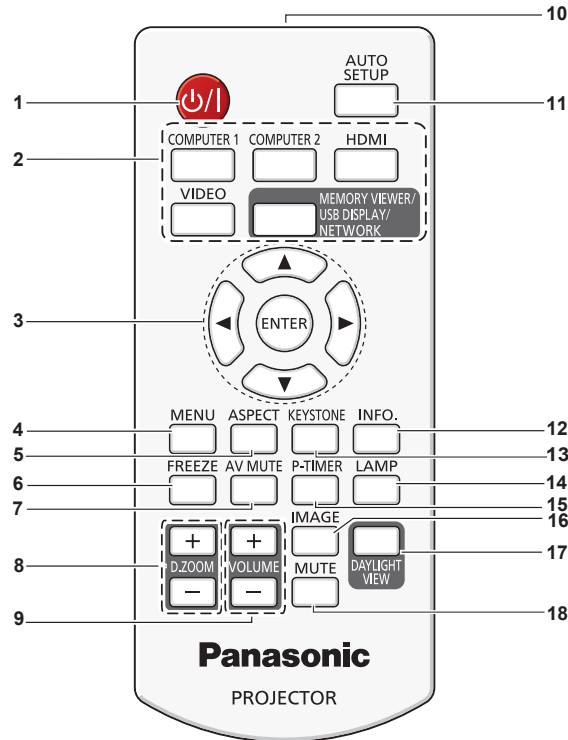
*2 ライセンスの種類によって品番末尾の記号が異なります。

お知らせ

- 別売品の品番は、予告なく変更する可能性があります。

各部の名称とはたらき

リモコン



- | | |
|--|--|
| <p>1 電源 (⏻/⏻) ボタン (⏻ スタンバイ / ⏻ 電源入)
投写状態のとき、本機の電源を切った状態 (スタンバイ状態) にします。また、電源が切れている状態 (スタンバイ状態) のとき、本機を投写状態にします。</p> <p>2 入力切替 (〈COMPUTER 1〉、〈COMPUTER 2〉、〈HDMI〉、〈VIDEO〉、〈MEMORY VIEWER/USB DISPLAY/NETWORK〉) ボタン
投写する入力を切り換えます。(☞ 35 ページ)</p> <p>3 ▲▼◀▶ ボタン / 〈ENTER〉 ボタン
メニュー画面の操作に使用します。</p> <p>4 〈MENU〉 ボタン
メインメニューを表示したり、消したりします。(☞ 43 ページ)
サブメニューが表示されているときは、1 つ前の画面に戻ります。</p> <p>5 〈ASPECT〉 ボタン
映像のアスペクト比を切り換えます。(☞ 37、48 ページ)</p> <p>6 〈FREEZE〉 ボタン
映像を一時的に静止し、音声を消したい場合に使用します。(☞ 38 ページ)</p> <p>7 〈AV MUTE〉 ボタン
映像と音声を一時的に消したい場合に使用します。(☞ 39 ページ)</p> <p>8 〈D.ZOOM +/-〉 ボタン
映像を拡大または縮小したい場合に使用します。(☞ 39 ページ)</p> | <p>9 〈VOLUME +/-〉 ボタン
内蔵スピーカーと音声出力の音量を調整します。(☞ 40 ページ)</p> <p>10 リモコン発信部</p> <p>11 〈AUTO SETUP〉 ボタン
自動入力切替、自動 PC 調整、オートキーストーンを一度に実行します。(☞ 37 ページ)</p> <p>12 〈INFO.〉 ボタン
本機の状態を表示します。(☞ 72 ページ)</p> <p>13 〈KEYSTONE〉 ボタン
投写画面のゆがみを補正したい場合に使用します。(☞ 38 ページ)</p> <p>14 〈LAMP〉 ボタン
[ランプコントロール] の設定を切り換えます。(☞ 39、54 ページ)</p> <p>15 〈P-TIMER〉 ボタン
プレゼンテーションタイマー機能を操作します。(☞ 39 ページ)</p> <p>16 〈IMAGE〉 ボタン
映像モードを切り換えます。(☞ 40、51 ページ)</p> <p>17 〈DAYLIGHT VIEW〉 ボタン
明るい照明下で映像を投写する場合に使用します。(☞ 40、53 ページ)</p> <p>18 〈MUTE〉 ボタン
音声を一時的に消したい場合に使用します。(☞ 40 ページ)</p> |
|--|--|

お願い

- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを分解・修理しないでください。
- リモコン裏面の注意書き (右記) に記載されている次の内容をお守りください。
 - 新旧の電池は混用しない。
 - 指定された電池以外は使用しない。
 - 電池の極性 (+、-) を正しく入れる。
 このほか、“安全上のご注意” に記載されている電池に関する内容をお読みください。

CAUTION	
1. Do not use old battery with new one. 2. Do not use batteries other than the type specified. 3. Be sure the batteries are inserted properly.	

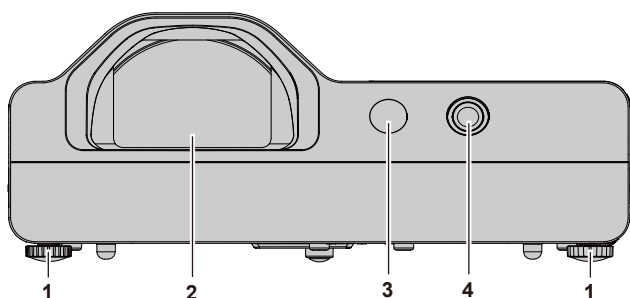
リモコン裏面の注意書き

お知らせ

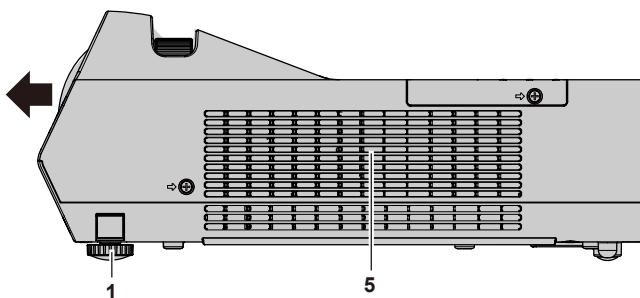
- リモコンを直接本体のリモコン受信部に向けて操作する場合は、リモコン受信部正面より約 5 m 以内で操作してください。また、上下左右に ± 30° まで操作できますが、操作可能距離が短くなる場合があります。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると、正しく動作しない場合があります。
- リモコンからの信号を、スクリーンに反射させて本機を操作できます。ただし、スクリーン特性による光反射ロスにより、操作有効範囲が制限される場合があります。
- 本体のリモコン受信部に蛍光灯などの強い光が当たっていると、操作できなくなる場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。

本体

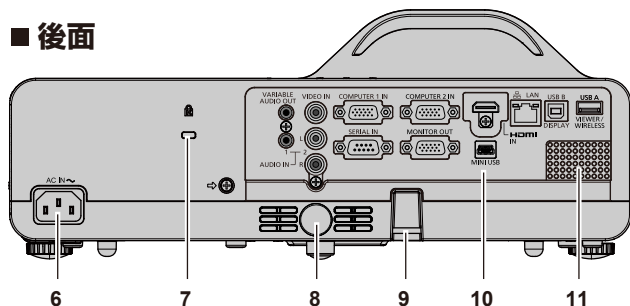
■ 前面



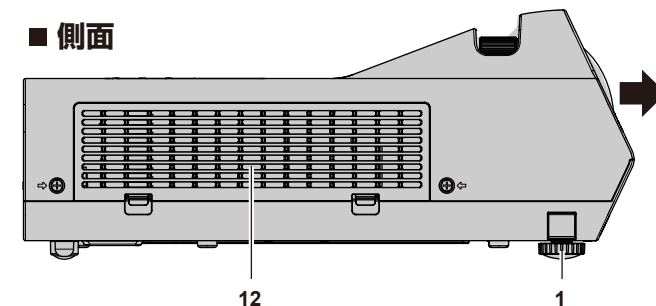
■ 側面



■ 後面



■ 側面



← : 投写方向

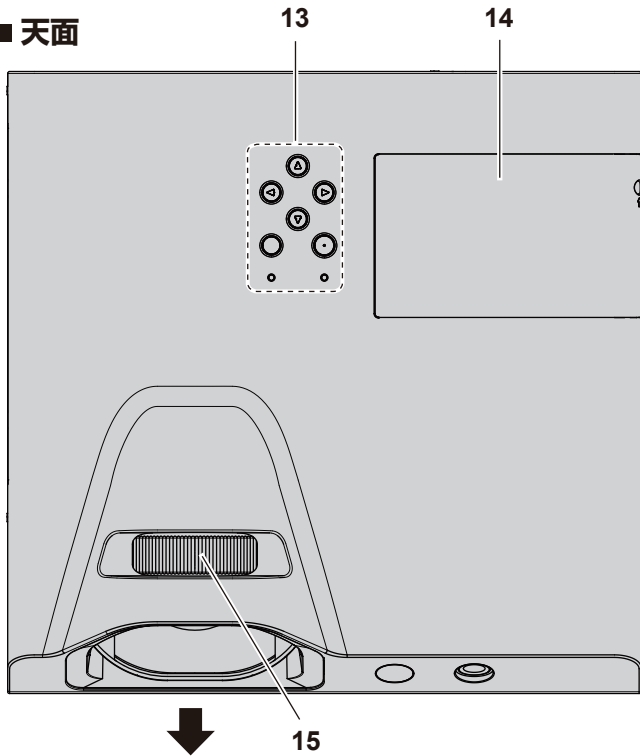
- | | |
|---|---|
| <p>1 アジャスター脚
設置姿勢を調整します。</p> <p>2 投写レンズ</p> <p>3 リモコン受信部 (前面)</p> <p>4 インタラクティブカメラ
内部に赤外線カメラがあります。</p> <p>5 排気口</p> | <p>6 <AC IN> 端子
付属の電源コードを接続します。</p> <p>7 セキュリティスロット
このセキュリティスロットは、Kensington 社製セキュリティケーブルに対応しています。</p> <p>8 リモコン受信部 (後面)</p> <p>9 セキュリティバー
盗難防止用にワイヤーなどを取り付けることができます。</p> <p>10 接続端子部 (☞ 21 ページ)</p> <p>11 スピーカー</p> <p>12 吸気口 / エアフィルターカバー (☞ 91 ページ)
内部にエアフィルターユニットがあります。</p> |
|---|---|

	<p>警告</p>
	<p>排気口には手やものを近づけない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 手や顔を近づけない。 ● 指を入れない。 ● 熱に弱いものを近くに置かない。 <p>排気口からは熱風がでているため、やけど・けが・変形の原因になります。</p>

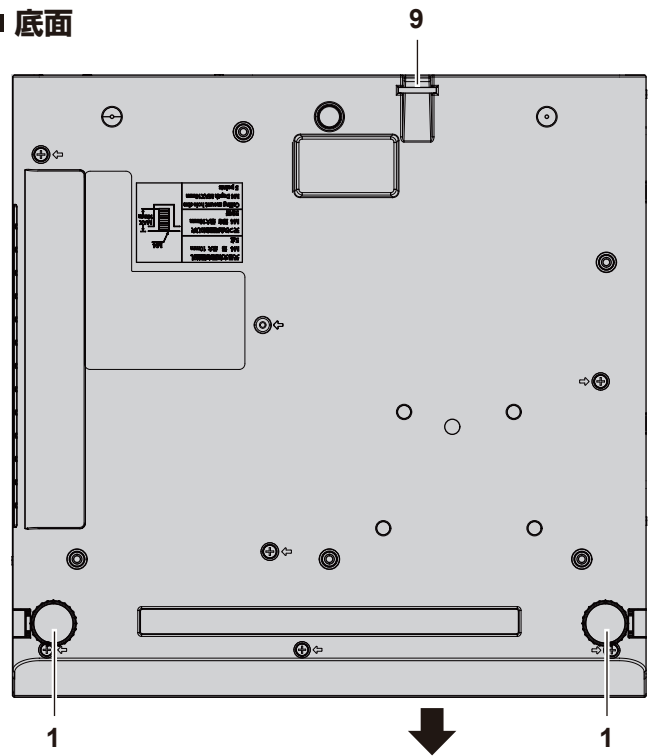
お願い

- 本機の吸気口・排気口をふさがらないでください。

■ 天面



■ 底面

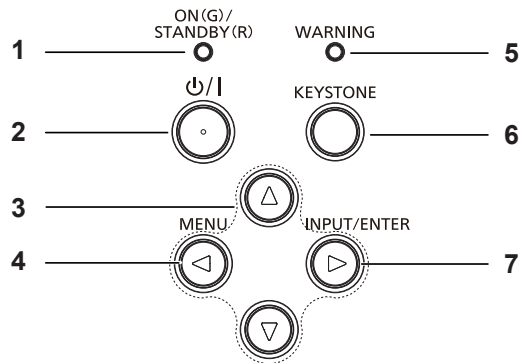


← : 投写方向

- 13 本体操作部 / インジケーター (☞ 20 ページ)
- 14 ランプカバー (☞ 94 ページ)
内部にランプユニットがあります。

- 15 フォーカスリング
フォーカスを調整します。

■ 本体操作部 / インジケーター

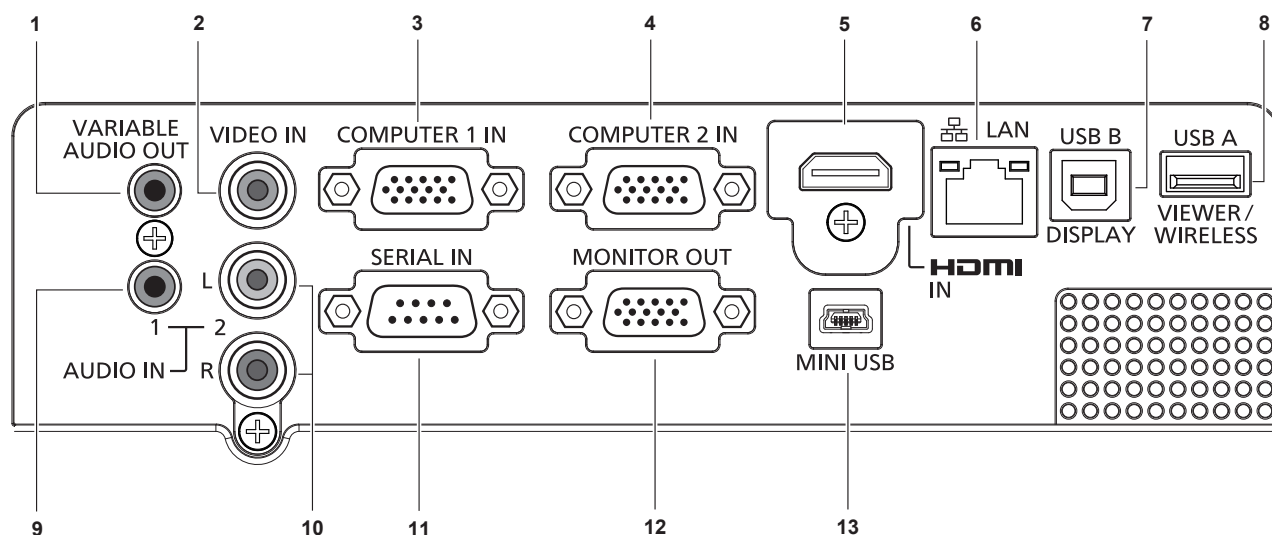


- 1 電源インジケーター〈ON(G)/STANDBY(R)〉
電源の状態を表示します。
- 2 電源〈ON/OFF〉ボタン (OFF スタンバイ / ON 電源入)
投写状態のとき、本機の電源を切った状態 (スタンバイ状態) にします。また、電源が切れている状態 (スタンバイ状態) のとき、本機を投写状態にします。
- 3 ▲▼◀▶ ボタン
メニュー画面の操作に使用します。
- 4 〈MENU〉 / ◀ ボタン
メインメニューを表示したり、消したりします。
(☞ 43 ページ)
サブメニューが表示されているときは、1 つ前の画面に戻ります。
- 5 警告インジケーター〈WARNING〉
本機の異常をお知らせします。
- 6 〈KEYSTONE〉ボタン
投写画面のゆがみを補正したい場合に使用します。
(☞ 38 ページ)
- 7 〈INPUT/ENTER〉 / ▶ ボタン
入力選択画面を表示します。(☞ 35 ページ)
また、メニュー画面の項目の決定や実行をします。

お知らせ

- 本体操作部の〈INPUT/ENTER〉ボタンがメニュー画面表示中は〈ENTER〉ボタンとして機能しますので、本書のメニュー画面の操作手順では、「〈ENTER〉ボタンを押す」と記載しています。

■ 接続端子部



- | | |
|--|---|
| <p>1 <VARIABLE AUDIO OUT> 端子
本機に入力された音声信号を出力します。</p> <p>2 <VIDEO IN> 端子
ビデオ信号を入力する端子です。</p> <p>3 <COMPUTER 1 IN> 端子
RGB 信号、YCbCr/YPbPr 信号、Y/C 信号を入力する端子です。</p> <p>4 <COMPUTER 2 IN> 端子
RGB 信号を入力する端子です。</p> <p>5 <HDMI IN> 端子
HDMI 信号を入力する端子です。</p> <p>6 <LAN> 端子
ネットワーク接続する LAN 端子です。</p> <p>7 <USB B (DISPLAY)> 端子
USB ディスプレイ機能を使用するときに、本機とコンピューターを USB ケーブルで接続する端子です。</p> <p>8 <USB A (VIEWER/WIRELESS)> 端子
メモリービューワー機能を使用するときに、USB メモリーを取り付ける端子です。(☞ 74 ページ)
また、無線 LAN 機能を使用するときに、別売品のワイヤレスモジュール (品番 : ET-WML100J) を取り付ける端子です。(☞ 80 ページ)</p> | <p>9 <AUDIO IN 1> 端子
コンピューター 1 入力、コンピューター 2 入力を選択時に出力する音声信号の入力端子です。HDMI 入力を選択時にも出力できます。</p> <p>10 <AUDIO IN 2 (L/R)> 端子
ビデオ入力、S-video 入力、Component 入力を選択時に出力する音声信号の入力端子です。右端子 (R) と左端子 (L) があります。</p> <p>11 <SERIAL IN> 端子
コンピューターを接続して本機を外部制御するための RS-232C 準拠の入力端子です。</p> <p>12 <MONITOR OUT> 端子
<COMPUTER 1 IN> 端子または <COMPUTER 2 IN> 端子に入力された RGB 信号を外部機器に出力する端子です。入力をコンピューター 1 またはコンピューター 2 に切り換えた場合に、該当の入力信号が出力されます。</p> <p>13 <MINI USB> 端子
インタラクティブ機能を使用するときに、付属のインタラクティブ USB ケーブルでコンピューターと接続する端子です。</p> |
|--|---|

お願い

- プロジェクターに直接接続する LAN ケーブルは、屋内だけで配線してください。

リモコンの準備

電池を入れる、取り出す

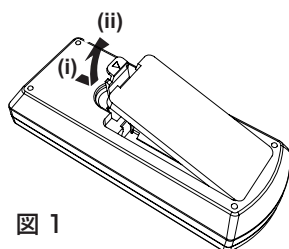


図 1

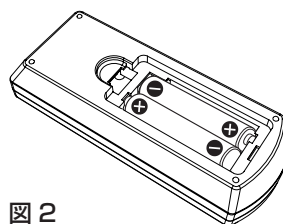


図 2

- 1) ふたを開ける (図 1)
- 2) 電池を入れ、ふたを閉じる (●側から先に入れます) (図 2)
 - 電池を取り出す場合は、逆の手順で行います。

本機を複数台使用するとき

本機を複数台並べて使用する場合、それぞれの本体に個々のリモコンコードを設定することにより、1つのリモコンで同時制御や個別制御ができます。

リモコンコードを設定して使用する場合は、まず本体のリモコンコードを設定し、次にリモコンのリモコンコードを設定します。

工場出荷時、本機 (本体とリモコン) のリモコンコードは [すべて] に設定されていますので、そのままお使いいただけます。必要に応じて、本体とリモコンのリモコンコードを設定してください。

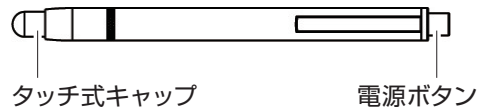
リモコンのリモコンコードの設定について、詳しくは “リモコンのリモコンコードを設定する” (👁️ 41 ページ) をご覧ください。

お知らせ

- 本体のリモコンコードは、[拡張設定] メニュー → [リモコンコード] で設定してください。(👁️ 69 ページ)

インタラクティブペンの使い方

各部の名称



電池を入れる、取り出す

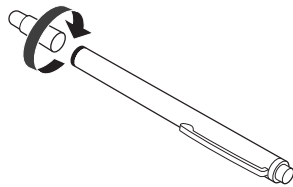


図 1

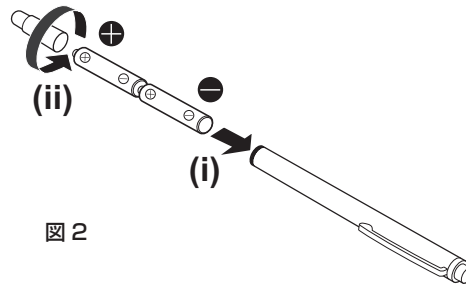


図 2

- 1) ペンの頭部を図の方向に回して開ける (図 1)
- 2) 電池を図の向きに入れ、ペンの頭部を逆方向に回して閉じる (図 2)
 - 電池を取り出す場合は、逆の手順で行います。

使用方法

先端を硬いスクリーンに押し付けている間、ペンのタッチ式キャップ内部の赤外線 LED が点灯します。これをプロジェクターの前面にあるインタラクティブカメラが感知し、ペン先の位置を検出します。

- 電源ボタンをクリックして電源を入れ、ペン先を押し付けて内部の LED が点灯することを確認します。
- ペン先をスクリーンに押し付けることで、投写画面上のツールバーのアイコンなどを選択できます。
- ペン先をスクリーンに押し付けながら動かすことで、投写画面に描画できます。

お願い

- ペンの先端内部にはタッチセンサーが付いていますので、先端が押されると通電して電池を消耗します。無駄に電池を消耗させないため、使わない時は、電源ボタンを押して、電源を切った状態（ペン先を押し付けて内部の LED が点灯しないことを確認）にして保存してください。

お知らせ

- インタラクティブペンは、インタラクティブ機能を使用する場合に使用します。「Light Pen3 ソフトウェア」および「ホワイトボードソフトウェア」は、弊社 WEB サイト (<https://panasonic.biz/cns/projector/>) からダウンロードできます。

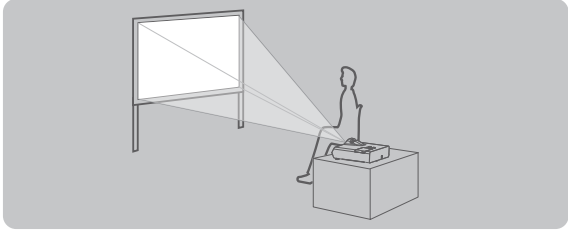
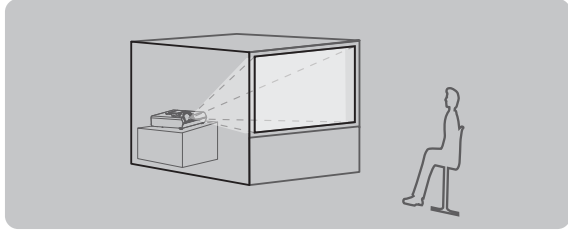
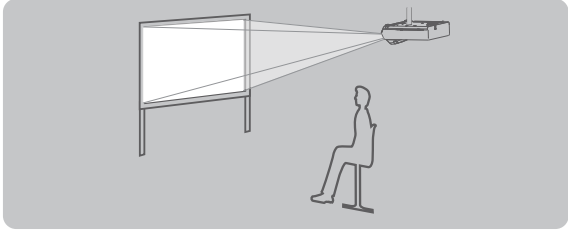
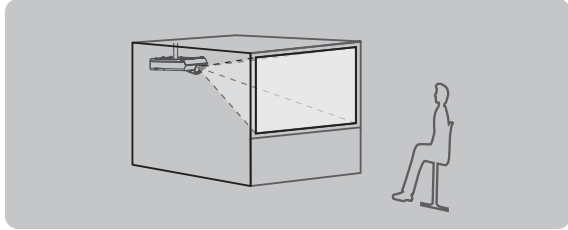
第2章 準備

設置や接続など、ご使用前に行っていただく内容について説明しています。

設置する

設置形態

本機の設置形態は4通りあります。設置形態に応じて「表示」メニュー → 「投写方式」(49ページ)を設定してください。

床置き設置で前方に投写する場合 		床置き設置で後方から投写する場合 (透過式スクリーン使用) 	
メニュー項目	設定値	メニュー項目	設定値
【投写方式】	【正面投写】	【投写方式】	【リア投写】
天つり設置で前方に投写する場合 		天つり設置で後方から投写する場合 (透過式スクリーン使用) 	
メニュー項目	設定値	メニュー項目	設定値
【投写方式】	【天井 / 正面投写】	【投写方式】	【天井 / リア投写】

お知らせ

- 後方投写時は、インタラクティブ機能は使用できません。

設置オプションについて (別売品)

別売品のプロジェクター用天つり金具が必要です。天つり金具(品番:ET-PKL100H(高天井用)またはET-PKL100S(低天井用))と、天つり金具(品番:ET-PKL430B(取付用ベース金具))を組み合わせで設置してください。

品番: ET-PKL100H(高天井用)、ET-PKL100S(低天井用)、ET-PKL430B(取付用ベース金具)

既設の天つり金具(品番:ET-PKV100H(高天井用)またはET-PKV100S(低天井用))に本機を取り付ける場合は、天つり金具(品番:ET-PKL430B(取付用ベース金具))と天つり金具用アタッチメント金具(品番:ET-PAD100)を組み合わせで設置してください。

- 必ず、本機専用の天つり金具をご使用ください。
- 本機の取り付けおよび設置については、天つり金具の施工説明書をご覧ください。

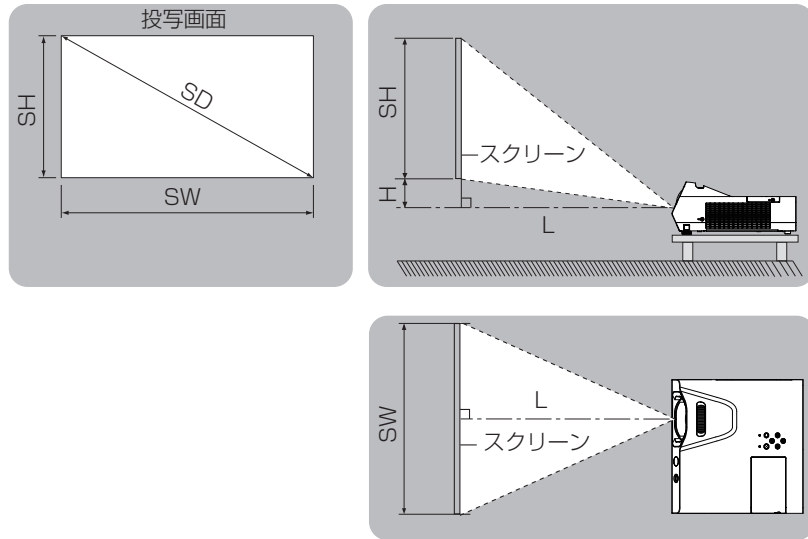
お願い

- 天つり金具の取り付け工事は、性能、安全確保のため、必ずお求めの販売店または工事専門業者に施工を依頼してください。

投写関係

本機の設置は、スクリーンサイズや投写距離を参考にして設置してください。なお、スクリーン位置に応じて投写画面位置を調整できます。

- 次のイラストは、投写画面のサイズと位置をスクリーンいっぱいに合わせて表現しています。



L	投写距離
SH	投写画面高さ
SW	投写画面幅
H	レンズセンターから投写画面下端までの距離
SD	投写画面サイズ

お願い

- 設置する前に“ご使用になる前に” (☞ 11 ページ) をお読みください。

投写距離

記載の投写距離は± 5 % の誤差が発生します。

また、[キーストーン] 使用時は、所定の画面サイズよりも小さくなる方向で補正されます。

(単位：m)

画面対角サイズ (SD)	アスペクト比 16:10 の場合		アスペクト比 16:9 の場合		アスペクト比 4:3 の場合	
	投写距離 (L)	レンズセンターから画像下端までの距離 (H)	投写距離 (L)	レンズセンターから画像下端までの距離 (H)	投写距離 (L)	レンズセンターから画像下端までの距離 (H)
1.27 (50 型)	0.48	0.108	0.50	0.145	0.55	0.122
1.52 (60 型)	0.59	0.129	0.60	0.174	0.67	0.146
1.78 (70 型)	0.69	0.151	0.71	0.203	0.79	0.171
2.03 (80 型)	0.80	0.172	0.82	0.232	0.91	0.195
2.29 (90 型)	0.90	0.194	0.92	0.262	1.02	0.219
2.54 (100 型)	1.00	0.215	1.03	0.291	1.14	0.244

投写距離計算式

本書に記載のない画面サイズでご使用の場合は、投写画面サイズ SD (m) をご確認のうえ、それぞれの計算式で投写距離を求めてください。

式の単位はすべて m です。(下記の計算式で求められる値には、若干の誤差があります。)

投写距離を画面サイズ呼称 (インチ数値) で計算する場合は、インチ数値を 0.0254 倍したものを投写距離計算式の SD に代入してください。

	アスペクト比 16:10 の場合	アスペクト比 16:9 の場合	アスペクト比 4:3 の場合
投写画面サイズ 高さ (SH)	$= 0.530 \times SD$	$= 0.490 \times SD$	$= 0.6 \times SD$
投写画面サイズ 幅 (SW)	$= 0.848 \times SD$	$= 0.872 \times SD$	$= 0.8 \times SD$
投写距離 (L)	$= 0.4085 \times SD - 0.0339$	$= 0.4188 \times SD - 0.0339$	$= 0.4625 \times SD - 0.0339$

接続する

接続の前に

- 接続の前に、本機と接続する外部機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を切ってからケーブルの接続をしてください。
- 下記の点に注意して、ケーブルを接続してください。行わない場合、故障の要因になります。
 - ケーブルを本機、あるいは本機と接続する外部機器に接続するときは、ケーブルを持つ前に周辺の金属に触れて身体の帯電を除去した状態で作業してください。
 - 本機を接続する機器と本体を接続するケーブルは、必要以上に長くしないでください。長くするほどノイズの影響を受けやすくなります。巻いた状態で使用するとアンテナになりますので、さらにノイズの影響を受けやすくなります。
 - ケーブル接続時は、GND が先に接続されるように、接続する機器の接続端子部にまっすぐに挿入してください。
- システム接続に必要な接続ケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される外部機器に合わせて準備してください。
- 映像機器からの映像信号にジッター成分が多い場合は、画像がふらつくことがあります。この場合はタイムベースコレクター (TBC) の接続が必要です。
- 本機に接続できる信号はビデオ信号、Y/C 信号、YCbCr/YPrPb 信号、アナログ RGB 信号 (同期信号は TTL レベル)、およびデジタル信号です。
- コンピューターのモデルやご使用のグラフィックスカードによっては、本機と接続して使用できないものもあります。
- 各機器と本機を、長いケーブルを使用して接続する場合は、ケーブル補償器などを使用してください。本機が正常に映像を表示できないことがあります。
- 本機が投写できる映像信号については“対応信号リスト” (☞ 102 ページ) をご覧ください。

〈COMPUTER 1 IN〉端子のピン配列と信号名

外側から見た図	ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
	(1)	R / P _R / C	(9)	+5 V
	(2)	G / Y / Y	(10)	GND
	(3)	B / P _B	(11)	GND
	(4)	—	(12)	DDC データ
	(5)	GND	(13)	HD/SYNC
	(6)	GND	(14)	VD
	(7)	GND	(15)	DDC クロック
	(8)	GND		

〈COMPUTER 2 IN〉端子のピン配列と信号名

外側から見た図	ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
	(1)	R	(9)	+5 V
	(2)	G	(10)	GND
	(3)	B	(11)	—
	(4)	—	(12)	DDC データ
	(5)	GND	(13)	HD/SYNC
	(6)	GND	(14)	VD
	(7)	GND	(15)	DDC クロック
	(8)	GND		

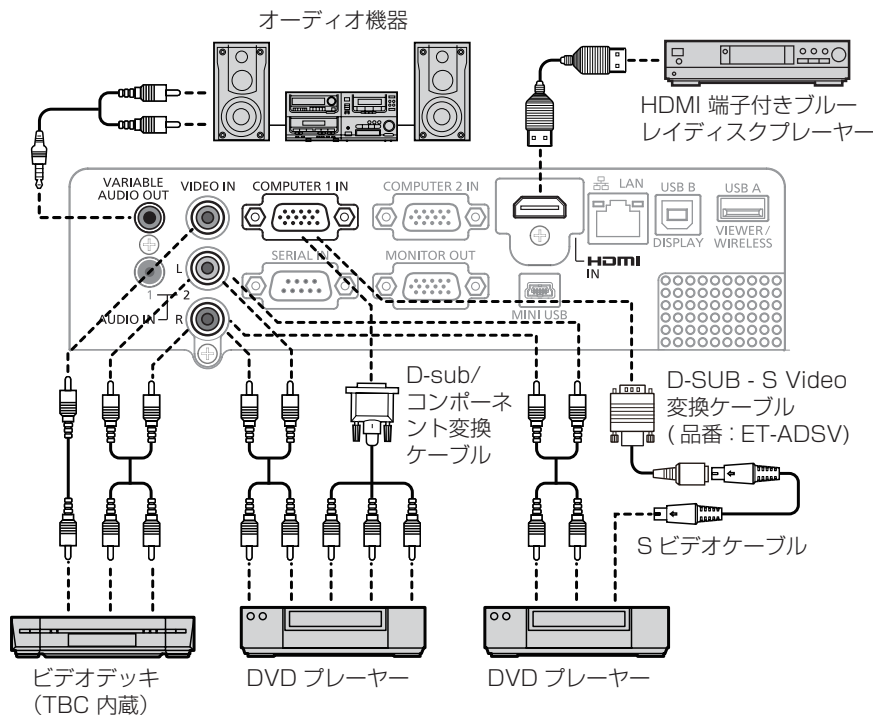
〈MONITOR OUT〉 端子のピン配列と信号名

外側から見た図	ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
	(1)	R	(9)	—
	(2)	G	(10)	GND
	(3)	B	(11)	—
	(4)	—	(12)	—
	(5)	GND	(13)	HD/SYNC
	(6)	GND	(14)	VD
	(7)	GND	(15)	—
	(8)	GND		

〈HDMI IN〉 端子のピン配列と信号名

外側から見た図	ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
	(1)	T.M.D.S データ 2+	(11)	T.M.D.S クロックシールド
	(2)	T.M.D.S データ 2 シールド	(12)	T.M.D.S クロック -
	(3)	T.M.D.S データ 2-	(13)	CEC
	(4)	T.M.D.S データ 1+	(14)	—
	(5)	T.M.D.S データ 1 シールド	(15)	SCL
	(6)	T.M.D.S データ 1-	(16)	SDA
	(7)	T.M.D.S データ 0+	(17)	DDC/CEC GND
	(8)	T.M.D.S データ 0 シールド	(18)	+5 V
	(9)	T.M.D.S データ 0-	(19)	ホットプラグ検出
	(10)	T.M.D.S クロック +		

映像機器との接続 (例)



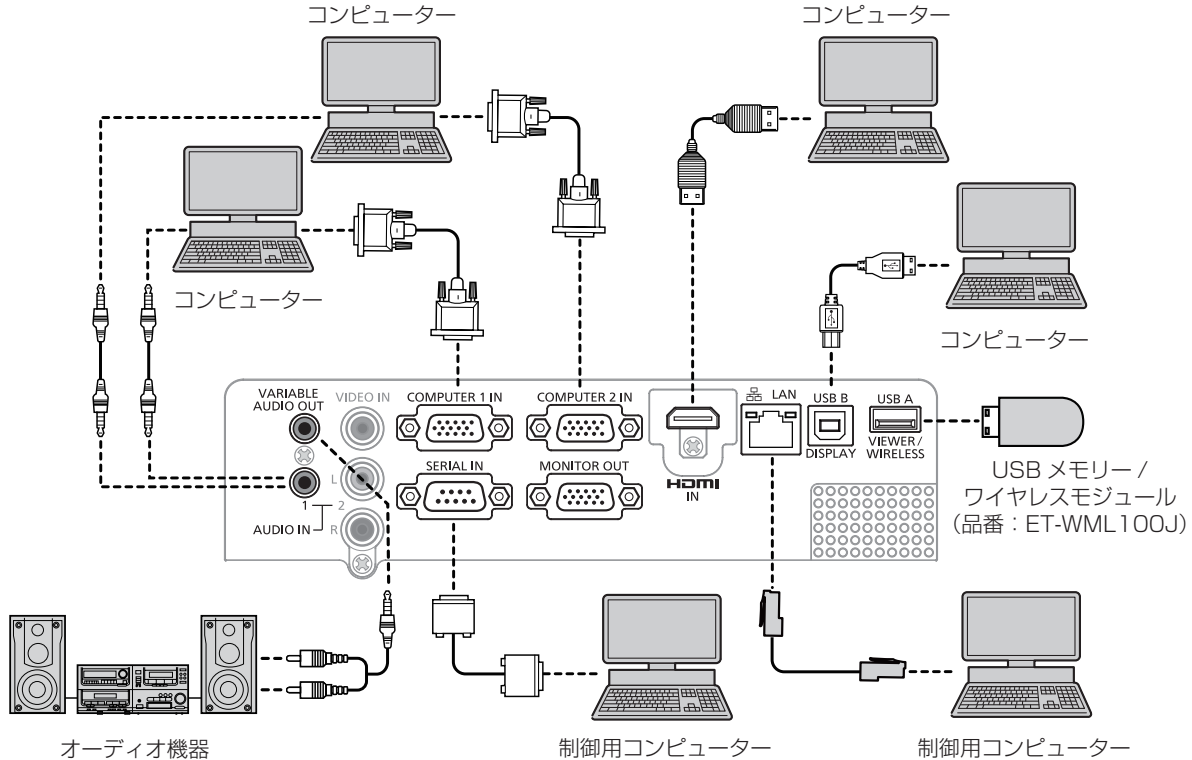
お願い

- ビデオデッキを接続するときは、必ず、次のどちらかを使用してください。
 - タイムベースコレクター (TBC) 内蔵のビデオデッキを使用する
 - 本機とビデオデッキの間にタイムベースコレクター (TBC) を使用する
- パースト信号が非標準の信号を接続すると、映像が乱れる場合があります。その場合は、本機と外部機器との間にタイムベースコレクター (TBC) を接続してください。

お知らせ

- HDMI ケーブルは、HDMI 規格に適合している HDMI High Speed ケーブルをご使用ください。HDMI 規格に適合しないケーブルを使用すると、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しない場合があります。
- 本機はピエラリンク (HDMI) に対応していません。
- 〈VARIABLE AUDIO OUT〉端子にケーブルを接続すると、内蔵スピーカーから音声はできません。
- Y/C 信号を入力する場合は、別売品の D-SUB - S Video 変換ケーブル (品番 : ET-ADSV) をご利用ください。

コンピューターとの接続 (例)



お願い

- コンピューターや外部機器に接続する際、それぞれの機器に付属の電源コードと、シールドされた市販のケーブルを使用してください。

お知らせ

- HDMI ケーブルは、HDMI 規格に適合している HDMI High Speed ケーブルをご使用ください。HDMI 規格に適合しないケーブルを使用すると、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しない場合があります。
- レジューム機能 (ラストメモリー) を持つコンピューターを使用して本機を動作させるには、レジューム機能のリセットが必要になることがあります。
- 〈VARIABLE AUDIO OUT〉端子にケーブルを接続すると、内蔵スピーカーから音声はできません。
- 別売品のワイヤレスモジュール (品番 : ET-WML100J) および USB メモリーは、USB 延長ケーブルや USB ハブを使用せずに、本機の〈USB A (VIEWER/WIRELESS)〉端子に直接取り付けてください。
- 外部機器 (コンピューターなど) の DVI-D 端子からの映像信号を、変換ケーブルなどを使用して〈HDMI IN〉端子に接続する場合、[設定] → [HDMI セットアップ] → [サウンド] を [コンピューター] (☞ 57 ページ) に設定し、音声信号は〈AUDIO IN 1〉端子に入力してください。

第 3 章 基本的な使い方

まず使っていただくための操作方法について説明しています。

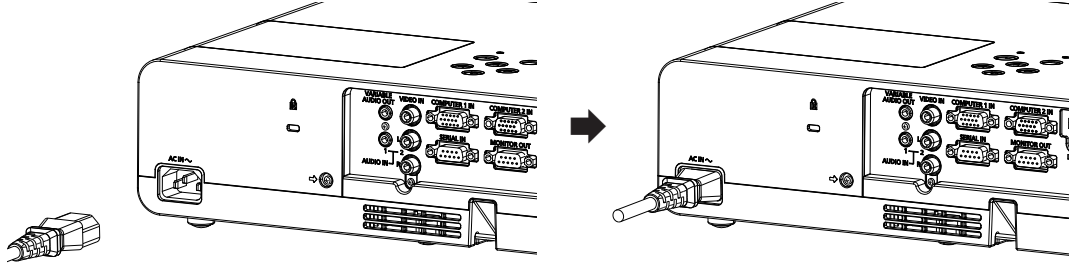
電源を入れる / 切る

電源コードを接続する

付属の電源コードを使用して、本体の〈AC IN〉端子に奥までしっかりと差し込んでください。電源コードの詳しい取り扱いについては“安全上のご注意”（[P.4](#) ページ）をご覧ください。

取り付け方

- 1) 本体後面の〈AC IN〉端子と電源コードのコネクターの形状を確認し、向きを合わせてしっかりと差し込む



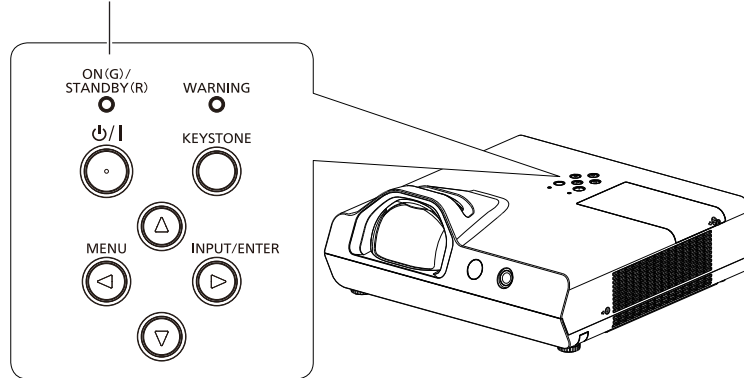
取り外し方

- 1) 本機がスタンバイ状態になっていることを確認し、コンセントから電源プラグを抜く
- 2) 本体の〈AC IN〉端子から電源コードのコネクターを持って抜く

電源インジケータについて

電源の状態を表示します。電源インジケータ 〈ON(G)/STANDBY(R)〉の状態をよく確認し、操作してください。

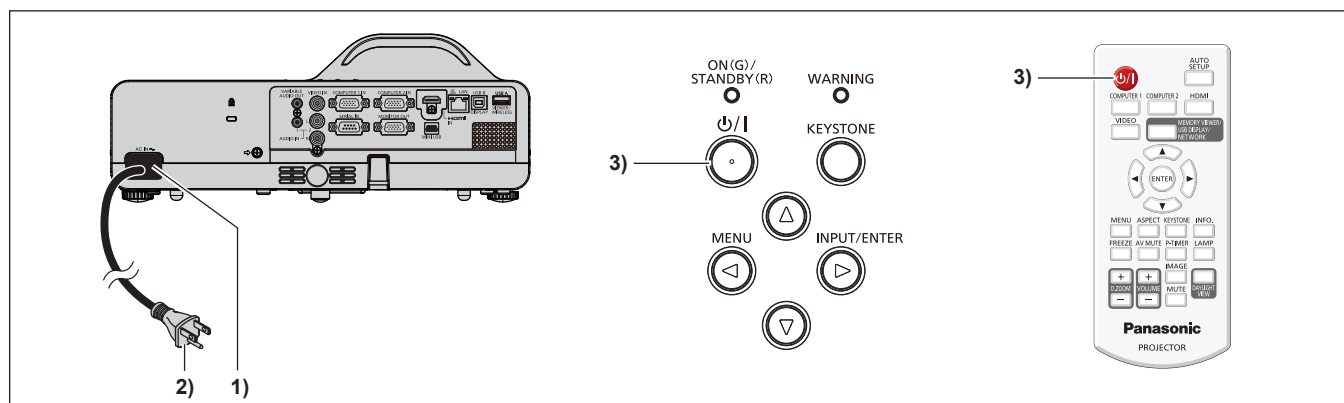
電源インジケータ 〈ON(G)/STANDBY(R)〉



点灯状況		本機の状態
消灯		電源プラグがコンセントに接続されていません。
赤色	点灯	電源が切れています。（スタンバイ状態です。）
	点滅	投写する準備をしています。 しばらくすると、映像が投写されます。 電源を切る準備をしています。 しばらくすると、電源が切れます。（スタンバイ状態になります。）
緑色	点灯	投写状態です。
	点滅	光源ランプを消灯しています。[拡張設定]メニュー → [パワーマネージメント]は [待機]に設定されています。
オレンジ色	点灯	内部の異常を検出しています。（ P.89 ページ）
	点滅	

電源を入れる

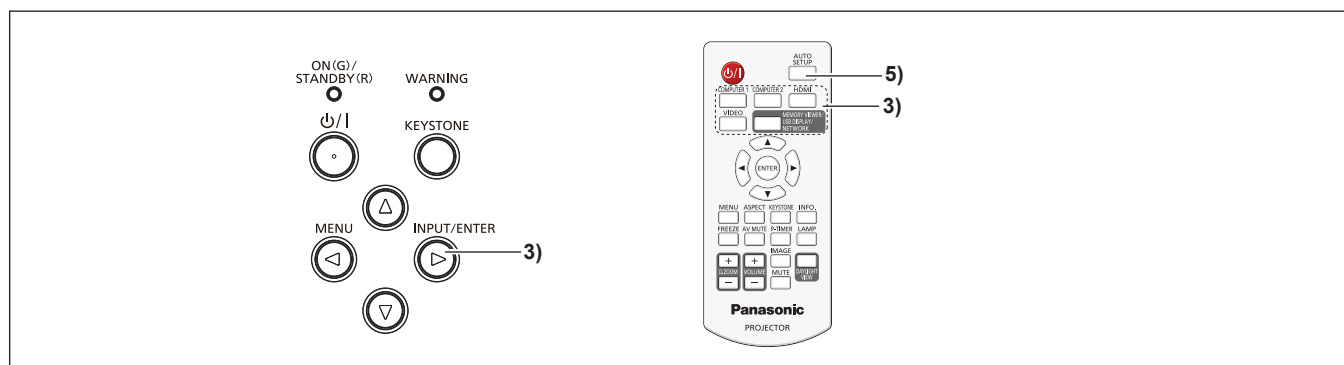
電源を入れる前に、“接続する”（[28 ページ](#)）を参考に、外部機器との接続を確認してください。



- 1) 本体に電源コードを接続する
- 2) 電源プラグをコンセントに接続する
 - 電源インジケータ 〈ON(G)/STANDBY(R)〉 が赤色に点灯してスタンバイ状態になります。
- 3) 電源 〈 power /I〉 ボタンを押す
 - 電源インジケータ 〈ON(G)/STANDBY(R)〉 が緑色に点灯し、しばらくすると映像が投写されます。

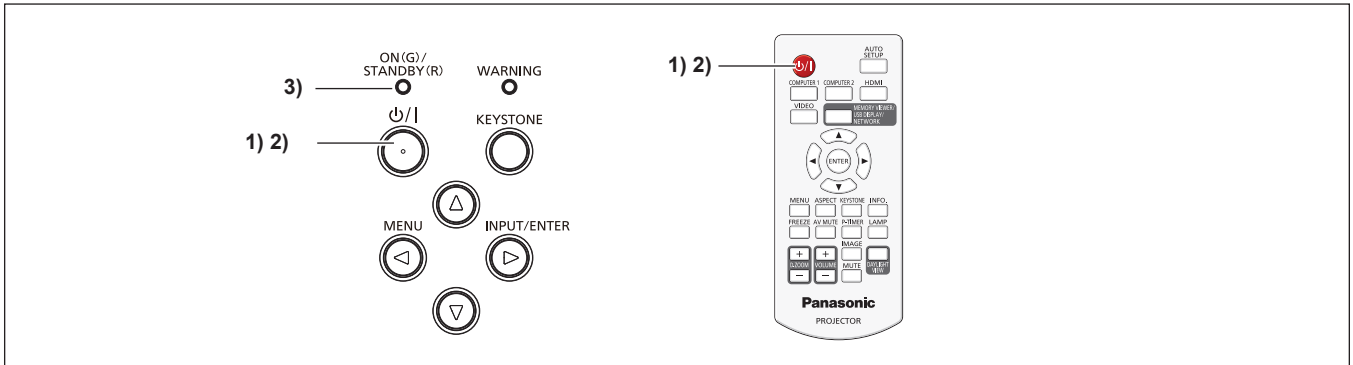
調整・選択をする

フォーカス調整は、映像を映した状態で 30 分以上経過したのちに行うことをお勧めします。



- 1) フォーカスリングで投写画面のフォーカスをおおまかに合わせる（[36 ページ](#)）
- 2) 設置形態に応じて、[表示] メニュー → [投写方式] の設定を変更する（[49 ページ](#)）
 - メニューの操作については、“メニュー画面の操作方法”（[43 ページ](#)）をご覧ください。
- 3) 本体操作部の 〈INPUT/ENTER〉 ボタン、またはリモコンの入力切換（〈COMPUTER 1〉、〈COMPUTER 2〉、〈HDMI〉、〈VIDEO〉、〈MEMORY VIEWER/USB DISPLAY/NETWORK〉） ボタンを押して入力を選択する
- 4) 本体の前後左右の傾きをアジャスター脚で調整する（[36 ページ](#)）
- 5) 入力信号がアナログ RGB 信号の場合は、〈AUTO SETUP〉 ボタンを押す
- 6) 再度、フォーカスリングでフォーカスを調整する

電源を切る



1) 電源〈ON/OFF〉ボタンを押す

- 電源オフ確認画面が表示されます。

2) 再度電源〈ON/OFF〉ボタンを押す

- 映像の投写が停止し、電源インジケータ 〈ON(G)/STANDBY(R)〉が赤色で点滅します。(ファンは回転したままです。)

3) 本体の電源インジケータ 〈ON(G)/STANDBY(R)〉が赤色に点灯するまで待つ

- 電源インジケータ 〈ON(G)/STANDBY(R)〉が赤色の点灯に変わりスタンバイ状態になります。

4) コンセントから電源プラグを抜く

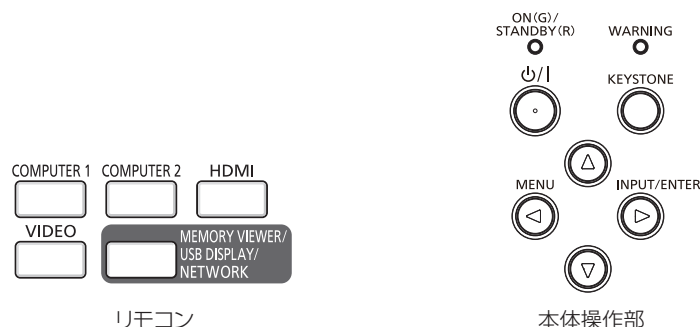
お知らせ

- 電源インジケータ 〈ON(G)/STANDBY(R)〉が赤色に点滅している間は、光源ランプの冷却が行われているため、本機の電源を入れることはできません。再び本機の電源を入れる場合は、電源インジケータ 〈ON(G)/STANDBY(R)〉が赤色の点灯に変わるまでお待ちください。
- 運搬・保管のために梱包を行う場合、電源インジケータが消灯していることを確認してください。
- 電源〈ON/OFF〉ボタンを押して電源を切っても、電源プラグをコンセントに接続していると、電力が消費されます。
[設定]メニュー → [スタンバイモード] を [エコ] に設定した場合、一部機能の利用が制限されますが、スタンバイ時の消費電力を節約できます。

投写する

外部機器の接続 (☞ 28 ページ)、電源コードの接続 (☞ 32 ページ) を確認し、電源を入れる (☞ 33 ページ) と投写を開始します。投写する映像を選択し、映像の映り具合を調整してください。

投写する映像を選択する



投写する映像の入力を切り換えます。入力の切り換え方法は、次のとおりです。

- リモコンの入力切換ボタンを押して、投写する入力を直接指定する。
- 本体操作部の〈INPUT/ENTER〉ボタンを押して入力ガイドを表示し、投写する入力を一覧から選択する。

リモコンを使用する場合

リモコンの入力切換ボタンで、投写する入力を直接指定して切り換えることができます。

1) 入力切換 (〈COMPUTER 1〉、〈COMPUTER 2〉、〈HDMI〉、〈VIDEO〉、〈MEMORY VIEWER/USB DISPLAY/NETWORK〉) ボタンを押す

〈COMPUTER 1〉	コンピューター 1 入力または Component 入りに切り換えます。すでにどちらかの入力を選択されている場合は、もう一方の入りに切り換えます。 〈COMPUTER 1 IN〉端子に入力されている信号の映像が投写されます。
〈COMPUTER 2〉	コンピューター 2 入りに切り換えます。 〈COMPUTER 2 IN〉端子に入力されている信号の映像が投写されます。
〈HDMI〉	HDMI 入りに切り換えます。 〈HDMI IN〉端子に入力されている信号の映像が投写されます。
〈VIDEO〉	ビデオ入力または S-video 入りに切り換えます。すでにどちらかの入力を選択されている場合は、もう一方の入りに切り換えます。 ビデオ入力選択時は〈VIDEO IN〉端子に入力されている信号の映像、S-video 入力選択時は〈COMPUTER 1 IN〉端子に入力されている Y/C 信号の映像が投写されます。
〈MEMORY VIEWER/USB DISPLAY/NETWORK〉	メモリービューワー入力、USB ディスプレイ入力、またはネットワーク入りに切り換えます。ボタンを押すごとに、これらの入力内で順次入力が切り換わります。

お願い

- 外部機器や再生するブルーレイディスク、DVD などによっては、正常に映像が映らない場合があります。[表示] メニュー → [システム] (☞ 49 ページ) を入力信号に合わせて設定してください。
- 投写するスクリーンと映像のアスペクト比を確認し、[表示] メニュー → [アスペクト] (☞ 48 ページ) で最適なアスペクト比に切り換えてください。

お知らせ

- メモリービューワー入力は、メモリービューワー機能を用いて、USB メモリーに記録されている静止画を表示する場合に選択します。詳しくは、「メモリービューワー機能について」(☞ 74 ページ) をご覧ください。
- USB ディスプレイ入力は、USB ディスプレイ機能を用いて、コンピューターと本機を USB ケーブルで接続し、コンピューター画面や音声を本機から出力する場合に選択します。詳しくは、「USB ディスプレイ機能について」(☞ 76 ページ) をご覧ください。
- ネットワーク入力は、当社の画像転送用のアプリケーションソフトを用いて、コンピューター (iPad/iPhone/iPod touch、Android 端末を含む) から有線 LAN/無線 LAN を介して本機に画像を転送して表示する場合に選択します。画像転送用のアプリケーションソフト「Presenter Light ソフトウェア」、「ワイヤレスプロジェクター」については、次の URL を参照してください。
<https://panasonic.biz/cns/projector/>

本体操作部を使用する場合

本体操作部の〈INPUT/ENTER〉ボタンで入力選択画面を表示し、投写する入力を選択できます。

1) 本体操作部の〈INPUT/ENTER〉ボタンを押す

- 入力選択画面が表示されます。



2) ▲▼ ボタンで入力を選択して〈ENTER〉ボタンを押して切り換える

- 選択した入力の映像が投写されます。

映像の映り具合を調整する

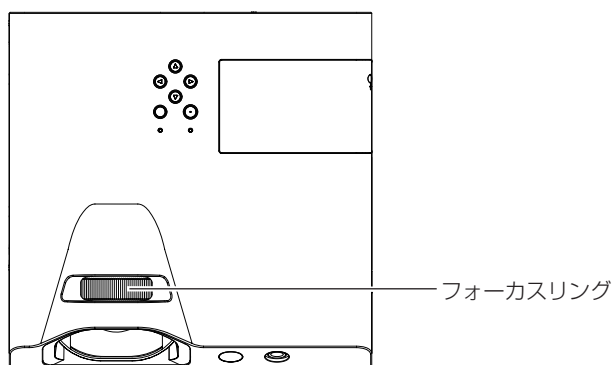
初めて設置されるときや、場所を変えて設置されるときは、続けて下記の調整を行ってください。

1) 投写角度を調整する

- 投写画面が左右に傾いている場合は、右前方または左前方のアジャスター脚を調整して、投写画面が水平になるようにしてください。投写画面がスクリーンより下に位置している場合は、両方のアジャスター脚を伸ばして投写画面の位置を調整してください。
詳しくは「アジャスター脚の調整」をご覧ください。(☞ 36 ページ)
- 投写映像にゆがみが発生している場合は、[拡張設定] メニュー → [キーストーン] で補正してください。

2) フォーカスを調整する

- フォーカスリングを回してフォーカスを調整します。

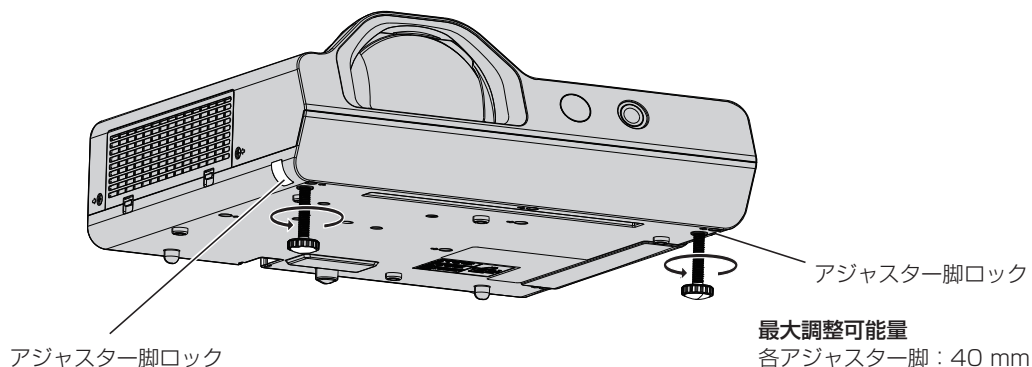


お知らせ

- フォーカス調整は、映像を映した状態で 30 分以上経過したのちに行うことをお勧めします。
- フォーカスリングを回すと投写画面サイズが変わるため、本機とスクリーンの距離を変えて、再度投写画面サイズを微調整してください。

アジャスター脚の調整

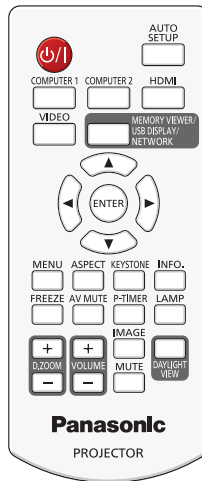
本体前方を持ち上げ、アジャスター脚ロックを指で押しながら上下に投写角度を調整し、指を離してアジャスター脚をロックします。その後微調整したい場合は、アジャスター脚を回します。アジャスター脚を図のように回すと脚を伸ばすことができ、逆に回すと元に戻すことができます。



お願い

- 排気口からは熱風が出ています。本機を使用中にアジャスター脚を調整するときは、排気口に触れないでください。(☞ 19 ページ)
- 投写映像にゆがみが発生している場合は、[拡張設定] メニュー → [キーストーン] で補正してください。(☞ 59 ページ)

リモコンで操作する



オートセットアップを実行する

自動入力切換機能、自動 PC 調整機能、オートキーストーン補正機能を一度に動作させることができます。

自動入力切換機能は、有信号の入力を検出して自動で入力を切り換える機能です。

自動 PC 調整機能は、静止画系アナログ RGB 信号入力時にクロックフェーズ、映像位置（水平／垂直）、ドットクロックを自動調整する機能です。（アナログ RGB 信号は、コンピューター信号のようなドット構成された信号です。）

オートキーストーン補正機能は、垂直方向の台形ひずみを自動補正する機能です。

自動 PC 調整時は、最外郭が明るい白枠で、白黒がはっきりしたキャラクター文字などを含む画像を入力することをお勧めします。写真や CG のような中間調を含む画像は適しません。



ボタン

1) 〈AUTO SETUP〉ボタンを押す

お知らせ

- オートセットアップ実行時に動作させる機能については、[拡張設定] メニュー → [オートセットアップ] (☞ 58 ページ) で設定してください。
- 自動 PC 調整機能を動作させた場合でも、正しく調整できていないことがあります。その場合は、次の設定を調整してください。
 - クロックフェーズ：[表示] メニュー → [トラッキング] (☞ 47 ページ)
 - 水平映像位置：[表示] メニュー → [水平位置] (☞ 47 ページ)
 - 垂直映像位置：[表示] メニュー → [垂直位置] (☞ 48 ページ)
 - ドットクロック：[表示] メニュー → [水平サイズ] (☞ 48 ページ)
- 台形ひずみが残っている場合は、スクリーン補正機能を使用して調整してください。(☞ 38 ページ「スクリーン補正機能を使う」)[拡張設定] メニュー → [キーストーン] (☞ 59 ページ) でも調整できます。
- コンピューターの機種や入力信号によっては正しく調整できない場合があります。
- 自動調整／自動補正中、数秒間画像が乱れる場合がありますが、異常ではありません。
- オートセットアップ中にリモコンのいずれかのボタンを押すと、オートセットアップは取り消されます。
- 自動 PC 調整が可能な信号であっても、動画映像が入力されている状態でオートセットアップを実行した場合、正常に調整できていないことがあります。

映像の縦横比を切り換える

映像の縦横比（アスペクト比）を切り換えることができます。



ボタン

1) 〈ASPECT〉ボタンを押す

お知らせ

- 詳しくは、[表示] メニュー → [アスペクト] (☞ 48 ページ) をご覧ください。

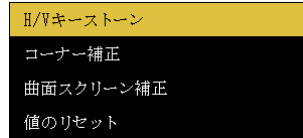
スクリーン補正機能を使う

投写映像が台形や曲面にゆがむ場合に補正することができます。

KEYSTONE
 ボタン

1) 〈KEYSTONE〉ボタンを押す

- スクリーン補正機能選択画面が表示されます。
- 本体操作部の〈KEYSTONE〉ボタンを押しても操作できます。



【H/V キーストーン】	投写映像が台形にゆがむ場合に選択します。
【コーナー補正】	投写映像の四隅がゆがむ場合に選択します。
【曲面スクリーン補正】	投写映像が曲面にゆがむ場合に選択します。
【値のリセット】	スクリーン補正機能のすべての調整値を工場出荷時の値に戻します。

2) ▲▼ボタンを押して【H/V キーストーン】、【コーナー補正】、【曲面スクリーン補正】のいずれかを選択する

3) 〈ENTER〉ボタンを押す

- 選択された項目の個別調整画面が表示されます。

4) ▲▼◀▶ボタンを押して調整する

お知らせ

- 詳しくは、[拡張設定] メニュー → [キーストーン] (59 ページ) をご覧ください。
- 【H/V キーストーン】、【コーナー補正】、【曲面スクリーン補正】の個別調整画面表示中に、本体操作部またはリモコンの〈KEYSTONE〉ボタンを押すごとに、以下のように個別調整画面が切り換わります。
 - 【H/V キーストーン】 ⇒ 【コーナー補正】 (左上) ⇒ 【コーナー補正】 (右上) ⇒ 【コーナー補正】 (右下) ⇒ 【コーナー補正】 (左下) ⇒ 【曲面スクリーン補正 X/Y ゲイン】 ⇒ 【曲面スクリーン補正 X オフセット】 ⇒ 【曲面スクリーン補正 Y オフセット】 ⇒ 【H/V キーストーン】 ⇒ …

ステータスを表示する

本体の状態を表示します。

INFO.
 ボタン

1) 〈INFO.〉ボタンを押す

- 【インフォメーション】画面が表示されます。

2) もう一度〈INFO.〉ボタンを押す

- 【インフォメーション】画面が消えます。

お知らせ

- 詳しくは、[インフォメーション] メニュー (72 ページ) をご覧ください。

静止機能を使う

外部機器の再生に関係なく、一時的に投写映像を静止し、音声を消すことができます。

FREEZE
 ボタン

1) 〈FREEZE〉ボタンを押す

- 映像が静止し、音声が消えます。静止中は、画面にフリーズ中を示すアイコン  が表示されます。

2) 再度〈FREEZE〉ボタンを押す

- 映像の静止が解除され、音声が出ます。

AV ミュート機能を使う

会議の休憩時間や準備などの一定時間だけ本機を使用しない場合には、映像と音声を一時的に消すことができます。



1) 〈AV MUTE〉 ボタンを押す

- 映像と音声が消えます。

2) 再度 〈AV MUTE〉 ボタンを押す

- 映像と音声が出ます。

プレゼンテーションタイマー機能を使う

プレゼンテーションタイマー機能进行操作できます。
経過時間を確認しながらプレゼンテーションなどを行うことができます。



1) 〈P-TIMER〉 ボタンを押す

- カウントを開始します。
- 経過時間が投写画面の右下に表示されます。

2) 再度 〈P-TIMER〉 ボタンを押す

- カウントを停止します。

3) もう一度 〈P-TIMER〉 ボタンを押す

- プレゼンテーションタイマーを終了します。

光源の明るさを切り換える

光源ランプの明るさを切り換えることができます。



1) 〈LAMP〉 ボタンを押す

- ボタンを押すごとに、[(ノーマル)] → [(ECO)] → [(静音)] → [(ノーマル)] → … のように切り換わります。

お知らせ

- 詳しくは、「設定」メニュー → 「ランプコントロール」(54 ページ) をご覧ください。

デジタルズーム機能を使う

(静止画系信号入力時のみ)
投写映像の中心を拡大表示できます。また、拡大部分を移動することができます。



1) 〈D.ZOOM +/-〉 ボタンを押す

- [D. zoom] 個別調整画面が表示されます。
- 拡大表示中に、リモコンの ボタンを押すと、表示位置を移動させることができます。

操作	変化内容	調整範囲
〈D.ZOOM +〉 ボタンを押す	拡大倍率が上がります。	0 ~ 33
〈D.ZOOM -〉 ボタンを押す	拡大倍率が下がります。	

操作	変化内容	調整範囲
拡大表示中に ▲▼ ボタンを押す	上または下へ表示位置が移動します。	—
拡大表示中に ◀▶ ボタンを押す	左または右へ表示位置が移動します。	

お知らせ

- デジタルズーム中に入力信号の種類が変わると、デジタルズーム拡大表示が解除されます。

音量を調整する

内蔵スピーカーおよび〈VARIABLE AUDIO OUT〉端子からの音声出力の音量を調整できます。



ボタン

1) 〈VOLUME -〉ボタン / 〈VOLUME +〉ボタンを押す

〈VOLUME +〉	音を大きくします。
〈VOLUME -〉	音を小さくします。

映像モードを切り換える

映像モードを切り換えることができます。



ボタン

1) 〈IMAGE〉ボタンを押す

- ボタンを押すごとに、[ダイナミック] → [標準] → [シネマ] → [黒(緑)板] → [カラーボード] → [イメージ] → [ダイナミック] → … に切り換わります。

お知らせ

- 詳しくは、[色彩調整] メニュー → [イメージモード] (☞ 51 ページ) をご覧ください。

消音機能を使う

内蔵スピーカーおよび〈VARIABLE AUDIO OUT〉端子からの音声出力を一時的に消すことができます。



ボタン

1) 〈MUTE〉ボタンを押す

- 音声が消えます。

2) 再度 〈MUTE〉ボタンを押す

- 音声が出ます。

デイトライトビュー ライト機能を使う

明るい照明下で映像を投写する場合でも、映像を鮮やかに補正することができます。



ボタン

1) 〈DAYLIGHT VIEW〉ボタンを押す

- ボタンを押すごとに、デイトライトビュー ライト機能の有効 / 無効が切り換わります。

お知らせ

- 詳しくは、[色彩調整] メニュー → [Daylight View] (☞ 53 ページ) をご覧ください。

リモコンのリモコンコードを設定する

本機を複数台並べて使用する場合、それぞれの本体に個々のリモコンコードを設定することにより、1 つのリモコンで同時制御や個別制御ができます。

本体のリモコンコードを設定したあと、同じリモコンコードをリモコンに指定してください。

本機のリモコンコードは 7 種類（すべて、コード 1 ～ コード 6）あります。工場出荷時、[すべて] に設定されています。



1) 本体側で設定したリモコンコードを、リモコンの〈MENU〉ボタンを押しながら〈IMAGE〉ボタンを 1 回 ～ 6 回押して設定する

- 〈IMAGE〉ボタンを押した数が、リモコンコードの数字になります。〈IMAGE〉ボタンを押す回数は、次の通りです。
コード 1 = 1 回、コード 2 = 2 回、コード 3 = 3 回、コード 4 = 4 回、コード 5 = 5 回、コード 6 = 6 回
- 〈MENU〉ボタンを放すと、リモコンコードが切り換わります。

お願い

- リモコンに入力されたリモコンコードの指定は、再度指定しない限り記憶しています。ただし、リモコンの電池が消耗したまま放置しておくと消去されます。乾電池を交換した場合は、同じリモコンコードを再度設定してください。

お知らせ

- 本体のリモコンコードは、[拡張設定] メニュー → [リモコンコード] で設定してください。(☞ 69 ページ)
- 〈MENU〉ボタンと 〈IMAGE〉ボタンを同時に 5 秒以上押し続けると、リモコンコードは [すべて] (デフォルト) にリセットされます。
- 〈IMAGE〉ボタンを 7 回以上押すと、その操作は無効とみなされるため、リモコンコードは変更されません。

第4章 調整と設定

オンスクリーンメニューを使ってできる設定や調整方法について説明しています。

オンスクリーンメニューについて

本機の各種設定や調整は、オンスクリーンメニュー（メニュー画面）を使用します。

メニュー画面の操作方法

操作の手順

MENU
 ボタン

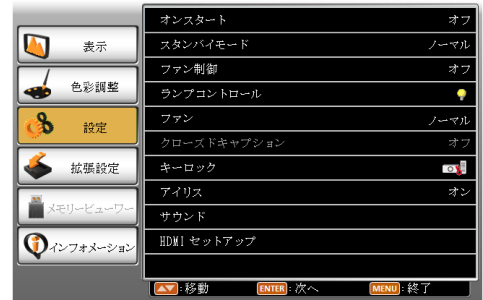
1) リモコンまたは本体操作部の〈MENU〉ボタンを押す

- メインメニュー画面が表示されます。



2) ▲▼ ボタンを押してメインメニュー項目を選択する

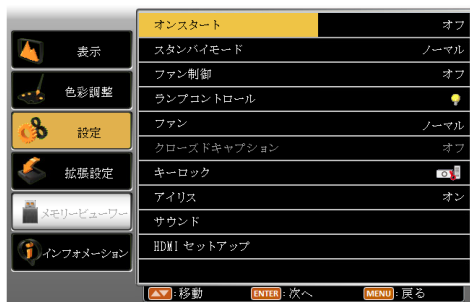
- 選択中の項目はオレンジ色のカーソルで表示されます。



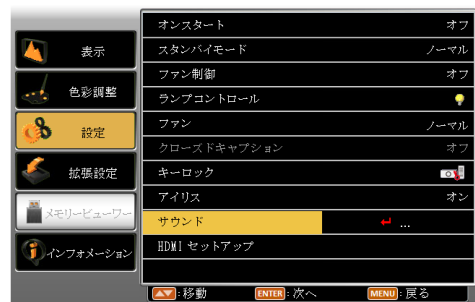
3) 〈ENTER〉ボタンを押す

- 選択したメインメニューのサブメニューが選択可能になります。


(サブメニューに下層メニューがない項目の場合)



(サブメニューに下層メニューがある項目の場合)



- 手順 4) に進んでください。

- 下層メニューがある項目は、 ... が表示されます。(「表示」メニューの「システム」は除く)
- 手順 7) に進んでください。

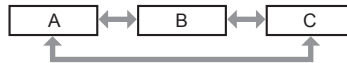
4) ▲▼ ボタンを押してサブメニュー項目を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

-  が表示され、選択した項目が設定または調整可能になります。



5) ▲▼ ボタンを押して設定の切り換えや調整を行う

- 項目によっては ▲▼ ボタンを押すごとに、下図のように順繰りに項目が切り換わります。



6) 〈ENTER〉 ボタンまたは 〈MENU〉 ボタンを押す

- 設定または調整値の変更が確定します。

7) ▲▼ ボタンを押してサブメニュー項目を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す

- 1 つ下の階層のメニュー画面に切り換わります。

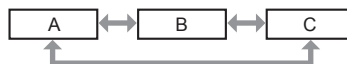
8) 〈ENTER〉 ボタンを押す

- ▼ が表示され、選択した項目が設定または調整可能になります。



9) ▲▼ ボタンを押して設定の切り換えや調整を行う

- 項目によっては ▲▼ ボタンを押すごとに、下図のように順繰りに項目が切り換わります。



- 項目によっては選択されている項目に、チェックマーク が表示されます。

10) 〈ENTER〉 ボタンまたは 〈MENU〉 ボタンを押す







- 設定または調整値の変更が確定します。

お知らせ

- メニュー画面を表示中に 〈MENU〉 ボタンを押すと、1 つ上の階層のメニュー画面に戻るか、またはメニュー画面が消えます。
- 本機に入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。調整または使用できない状態のときは、メニュー画面の項目が灰色文字で表示され、項目は選択できません。
- 信号が入力されていない場合でも、調整できるものがあります。
- メニューの項目については“メインメニュー” (☞ 44 ページ) や“サブメニュー” (☞ 45 ページ) をご覧ください。

メインメニュー

メインメニューには以下の項目があります。
メインメニューを選択すると、サブメニューの選択画面に移ります。

メインメニュー項目		ページ
	[表示]	47
	[色彩調整]	51
	[設定]	54
	[拡張設定]	58
	[メモリービューワー]	70
	[インフォメーション]	72

サブメニュー

選択したメインメニュー項目のサブメニューが表示され、各項目の設定・調整ができます。

【表示】 

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[自動 PC 調整] *1	—	47
[トラッキング] *2	—	47
[水平位置] *1	—	47
[垂直位置] *1	—	48
[水平サイズ] *2	—	48
[アスペクト]	[ノーマル]	48
[投写方式]	[正面投写]	49
[メニュー位置]	左上	49
[背景表示]	[青]	49
[システム]	—	49

*1 静止画系信号のみ

*2 アナログ RGB 信号のみ

【色彩調整】 

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[イメージモード]	[標準]	51
[コントラスト]	[32]	51
[明るさ]	[32]	51
[色の濃さ] *1	[32]	52
[色あい] *1	[32]	52
[色温度]	[中]	52
[赤]	[32]	52
[緑]	[32]	52
[青]	[32]	52
[画質]	[8]	53
[Daylight View]	[オフ]	53

*1 ビデオ信号、Y/C 信号、YCbCr/YPbPr 信号のみ

お知らせ

- 映像モードによって工場出荷時の値が異なる場合があります。

【設定】 

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[オンスタート]	[オフ]	54
[スタンバイモード]	[エコ]	54
[ファン制御]	[オフ]	54
[ランプコントロール]	[💡 (ノーマル)]	54
[ファン]	[ノーマル]	55
[クローズドキャプション]	[オフ]	55
[キーロック]	[🔒 (オフ)]	55
[アイリス]	[オン]	56
[サウンド]	—	56
[HDMI セットアップ]	—	57

【拡張設定】 

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[言語]	[日本語]	58
[オートセットアップ]	—	58
[キーストーン]	[メモリー]	59
[ロゴ]	—	62
[セキュリティ]	—	65
[パワーマネージメント]	[待機]	66
[フィルターカウンター]	—	67
[テストパターン]	[オフ]	67
[ネットワーク]	—	68
[リモコンコード]	[すべて]	69
[初期設定]	—	69

【メモリービューワー】 

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[セットスライド]	—	70
[スライド効果]	[右にスライド]	70
[ソート順]	[名前順]	70
[回転]	[回転なし]	70
[ベストフィット]	[オフ]	71
[リピート]	[オフ]	71
[適用]	—	71

【インフォメーション】 

項目の詳細 (👁️ 72 ページ)

お知らせ

- 本機に入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。
調整または使用できない状態のときは、メニュー画面の項目が灰色文字で表示され、項目は選択できません。
- サブメニューの項目、および工場出荷時の値は、選択中の入力により表示が異なります。

[表示] メニューについて

メニュー画面で、メインメニューから [表示] を選択し、サブメニューから項目を選択してください。メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法” (43 ページ) をご覧ください。

[自動 PC 調整]

(静止画系信号入力時のみ)

静止画系アナログ RGB 信号を入力しているときに、映像が上下左右にずれていたり、ちらつくようなときに、〈AUTO SETUP〉ボタンを押すと、[トラッキング]、[水平位置]、[垂直位置]、[水平サイズ] を自動で最適な状態に調整します。ご覧になる映像に合わせて最適な状態に設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [自動 PC 調整] を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
 - [しばらくお待ちください] 画面が表示され、[自動 PC 調整] が実行されます。

お知らせ

- 本機に初めて入力される映像信号を検出すると、自動 PC 調整が自動で実行されます。
- コンピューターの機種や信号によっては自動調整できない場合があります。
- [表示] メニュー → [システム] で、720 x 480i、720 x 576i、720x480p、720 x 576p、1280 x 720p、1920 x 1080i、1920 x 1080p のいずれかが選択されていたり、デジタル信号の場合は [自動 PC 調整] は無効です。

[トラッキング]

(アナログ RGB 信号入力時のみ)

画像のちらつきや輪郭のにじみが発生しているとき、最適な画像になるようにクロックフェーズを調整します。

- 1) ▲▼ ボタンで [トラッキング] を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- 3) ▲▼ ボタンで調整する
 - 調整値は、0 ~ +31 です。ノイズが少なくなるように調整してください。

お知らせ

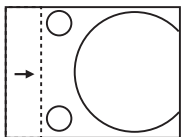
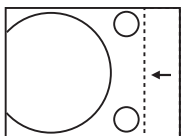
- 信号によっては調整できない場合があります。
- 入力しているコンピューターの出力が不安定であると最適値がない場合があります。
- ドットクロック周波数が 162 MHz 以上の信号を投写する場合は、[トラッキング] の調整をしてもノイズがなくなる場合があります。
- デジタル信号入力時は [トラッキング] の調整ができません。

[水平位置]

(静止画系信号入力時のみ)

本機とスクリーンの関係位置が正しく設置された状態で、投写された映像位置がスクリーンに対して左右にずれている場合に調整します。

- 1) ▲▼ ボタンで [水平位置] を選択する
- 2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- 3) ▲▼ ボタンで位置を調整する

調整方向	操作	変化内容
水平位置 (左右) 調整	▲ ボタンを押す	映像位置が右へ移動します。 
	▼ ボタンを押す	映像位置が左へ移動します。 

お知らせ

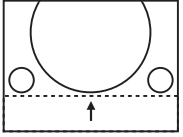
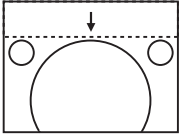
- デジタルズーム機能で拡大表示中は、[水平位置] は無効です。

[垂直位置]

(静止画系信号入力時のみ)

本機とスクリーンの関係位置が正しく設置された状態で、投写された映像位置がスクリーンに対して上下にずれている場合に調整します。

- ▲▼ ボタンで [垂直位置] を選択する
- 〈ENTER〉 ボタンを押す
- ▲▼ ボタンで位置を調整する

調整方向	操作	変化内容	
垂直位置 (上下) 調整	▲ ボタンを押す	映像位置が上へ移動します。	
	▼ ボタンを押す	映像位置が下へ移動します。	

お知らせ

- デジタルズーム機能で拡大表示中は、[垂直位置] は無効です。

[水平サイズ]

(アナログ RGB 信号入力時のみ)

縦縞模様を投写したときに発生するノイズを軽減する際にドットクロックを調整します。

縦縞模様を投写したときに、周期的な縞模様 (ノイズ) が発生することがあります。この場合にもっともノイズが少なくなるように調整してください。

- ▲▼ ボタンで [水平サイズ] を選択する
- 〈ENTER〉 ボタンを押す
- ▲▼ ボタンで調整する
 - 調整値は、-15 ~ +15 です。

お願い

- [トラッキング] より先に調整してください。

[アスペクト]

映像の縦横比 (アスペクト比) を切り換えます。

- ▲▼ ボタンで [アスペクト] を選択する
- 〈ENTER〉 ボタンを押す
- ▲▼ ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[ノーマル]	入力信号のアスペクト比を保ったまま、表示できる最大サイズで投写します。
[ワイド]	アスペクト比 16:9 で横幅いっぱい投写します。

お知らせ

- メモリービューワー入力、USB ディスプレイ入力、ネットワーク入力を選択している場合、[アスペクト] は選択できません。

[投写方式]

本機の設置状態に合わせて、投写方式を設定します。

画面表示が上下逆になったり、反転して映ったりしている場合は、投写方式を変更してください。

- 1) ▲▼ ボタンで [投写方式] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[正面投写]	スクリーン前方にある机の上などに設置する場合
[リア投写]	スクリーン後方（透過式スクリーン使用）にある机の上などに設置する場合
[天井 / 正面投写]	スクリーン前方に、天つり金具（別売品）を使用して設置する場合
[天井 / リア投写]	スクリーン後方（透過式スクリーン使用）に、天つり金具（別売品）を使用して設置する場合

[メニュー位置]

メニュー画面（OSD）の位置を設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [メニュー位置] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ ボタンでメニュー位置を切り換える
 - ボタンを押すごとに、[左上] → [右上] → [センター] → [左下] → [右下] → [左上] → … に切り換わります。

[背景表示]

信号が入力されていないときの投写画面の表示を設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [背景表示] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[青]	投写画面全体に青色を表示します。
[黒]	投写画面全体に黒色を表示します。

[システム]

本機は入力信号を自動判別しますが、不安定な信号を入力する場合は、手動でシステム方式を設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [システム] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [システム] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

入力信号	表示	説明
RGB 信号 (コンピューター 1 入力または コンピューター 2 入力のみ)	[1024 x 768, 60Hz] など	自動判別した入力信号の信号名が表示され、その信号に対して用意されているシステム方式が適用されます。映像が正しく調整できていない場合は、手動で調整してください。

入力信号	表示	説明
ビデオ・Y/C 信号	[自動]	通常は [自動] を選択してください。[NTSC]、[NTSC4.43]、[PAL]、[PAL-N]、[SECAM]、[PAL60] の中から自動的にテレビの信号方式を判別して最適な映像に調整します。PAL-M 方式の信号を入力している場合は、手動で [PAL-M] を選択してください。
	[PAL] / [SECAM] / [NTSC] / [NTSC4.43] / [PAL-M] / [PAL-N] / [PAL60]	[自動] を選択して映像が正しく調整できていない場合は、テレビの信号方式を手動で設定します。 ※ 日本国内では NTSC の信号方式が使われています。

4) 〈ENTER〉 ボタンを押す

[色彩調整] メニューについて

メニュー画面で、メインメニューから [色彩調整] を選択し、サブメニューから項目を選択してください。メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法” (P. 43 ページ) をご覧ください。

[イメージモード]

ご覧になる映像や視聴環境に合わせて最適な映像モードに設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [イメージモード] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[ダイナミック]	明るい場所で使用する場合に適した画像になります。
[標準]	動画系全般に適した画像になります。
[シネマ]	映画コンテンツに適した画像になります。
[黒(緑)板]	教室などの緑色をした黒板への投写に適した画像になります。
[カラーボード]	色のついた壁などへの投写に適した画像になります。 [カラーボード] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押すと、[カラーボード] 画面が表示されます。[赤]、[青]、[緑]、[黄] からを選択し、〈ENTER〉 ボタンを押してください。
[イメージ]	好みの画像に調整して使用する場合に選択します。 [イメージ] を選択した状態で、[コントラスト]、[明るさ]、[色の濃さ]、[色あい]、[色温度]、[赤]、[緑]、[青]、[画質] の各項目を調整してください。調整した状態は、[イメージ] の設定値として保存されます。

- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押す

お知らせ

- [イメージ] 以外の映像モードを選択した状態で [コントラスト] や [明るさ] などの項目を調整すると、[イメージモード] が自動的に [イメージ] に切り換わり、現在の調整状態が [イメージ] の設定値として上書きされます。[イメージ] を選択して調整した元の設定値は破棄されますので、ご注意ください。

[コントラスト]

色の明暗度を調整します。

- 1) ▲▼ ボタンで [コントラスト] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▲ ボタンを押す	画面が明るく映像が濃くなります。	0 ~ +63
▼ ボタンを押す	画面が暗く映像が薄くなります。	

お願い

- [明るさ] と [コントラスト] を調整する必要がある場合には、[明るさ] を先に調整してください。

[明るさ]

画面の暗い部分 (黒色) を調整します。

- 1) ▲▼ ボタンで [明るさ] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▲ ボタンを押す	画面の暗い部分 (黒色) が明るくなります。	0 ~ +63
▼ ボタンを押す	画面の暗い部分 (黒色) が暗くなります。	

[色の濃さ]

(ビデオ信号、Y/C 信号、Y_CC_R/Y_PP_R 信号入力時のみ)

色の濃さを調整します。

- 1) ▲▼ ボタンで [色の濃さ] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▲ ボタンを押す	色が濃くなります。	0 ~ +63
▼ ボタンを押す	色が薄くなります。	

[色あい]

(NTSC/NTSC4.43/PAL60 のビデオ信号・Y/C 信号、Y_CC_R/Y_PP_R 信号入力時のみ)

肌色の部分を調整します。

- 1) ▲▼ ボタンで [色あい] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▲ ボタンを押す	色あいが変化し肌色が緑色がかかります。	0 ~ +63
▼ ボタンを押す	色あいが変化し肌色が赤紫色がかかります。	

[色温度]

映像の白色部分が青みがかったり、赤みがかったりする場合に切り換えます。

- 1) ▲▼ ボタンで [色温度] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[高]	[高] を選択すると青味がかかり、[低] を選択すると赤味がかかります。自然な色あいになるよう選択してください。
[中]	
[低]	

[赤] / [緑] / [青]

ホワイトバランスを調整します。

- 1) ▲▼ ボタンで [赤] / [緑] / [青] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ ボタンでレベルを調整する

調整項目	操作	変化内容	調整範囲
[赤]	▲ ボタンを押す	赤色が強くなります。	0 ~ +63
	▼ ボタンを押す	赤色が弱くなります。	
[緑]	▲ ボタンを押す	緑色が強くなります。	0 ~ +63
	▼ ボタンを押す	緑色が弱くなります。	
[青]	▲ ボタンを押す	青色が強くなります。	0 ~ +63
	▼ ボタンを押す	青色が弱くなります。	

[画質]

映像のシャープ感を調整します。

- 1) ▲▼ ボタンで [画質] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▲ ボタンを押す	輪郭がシャープになります。	0 ~ +15
▼ ボタンを押す	輪郭がやわらかくなります。	

[Daylight View]

デイライトビュー ライト機能により、明るい照明下で映像を投写する場合でも、映像を鮮やかに補正します。

- 1) ▲▼ ボタンで [Daylight View] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。
 - リモコンの 〈DAYLIGHT VIEW〉 ボタンでも操作できます。(👁 40 ページ)

[オン]	映像の鮮やかさを補正します。
[オフ]	補正なしの状態です。

お知らせ

- [Daylight View] は、[ダイナミック]、[標準]、[シネマ]、[黒(緑)板]、[カラーボード]、[イメージ] の各映像モードを選択した状態で設定できます。

[設定] メニューについて

メニュー画面で、メインメニューから [設定] を選択し、サブメニューから項目を選択してください。メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法” (43 ページ) をご覧ください。

[オンスタート]

電源プラグをコンセントに接続して通電を開始したときの起動方法を設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [オンスタート] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[オフ]	スタンバイ状態で起動します。
[オン]	すぐに投写を開始します。

[スタンバイモード]

スタンバイ中の消費電力を設定します。ネットワーク機能を使用するかどうかで設定を変更します。

- 1) ▲▼ ボタンで [スタンバイモード] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[エコ]	スタンバイ時の消費電力を低く抑えたい場合に選択します。
[ノーマル]	スタンバイ時にネットワーク機能またはシリアル通信機能を使用する場合に選択します。

お知らせ

- [エコ] に設定した場合、スタンバイ時にネットワーク機能と RS-232C コマンドの一部が使えません。

[ファン制御]

本機を高地で使用する場合に設定を変更します。

- 1) ▲▼ ボタンで [ファン制御] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[オフ]	海拔 700 m 未満で使用する場合
[オン 1]	高地 (海拔 700 m 以上～ 1 400 m 未満) で使用する場合
[オン 2]	高地 (海拔 1 400 m 以上～ 2 700 m 未満) で使用する場合

お知らせ

- 海拔 700 m 未満で使用する場合は必ず [オフ] に、海拔 700 m 以上～ 1 400 m 未満で使用する場合は必ず [オン 1] に、海拔 1 400 m 以上～ 2 700 m 未満で使用する場合は必ず [オン 2] に設定してください。部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。
- 海拔 2 700 m 以上の場所には設置しないでください。部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。
- [オン 1] / [オン 2] に設定した場合、ファンの回転数が上がり、動作音が大きくなります。

[ランプコントロール]

本機の使用環境や目的に合わせて光源ランプの明るさを切り換えます。

- 1) ▲▼ ボタンで [ランプコントロール] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す

3) ▲▼ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。
- リモコンの〈LAMP〉ボタンでも操作できます。(☞ 39 ページ)

[💡 (ノーマル)]	高い輝度が必要な場合に選択します。
[💡 (ECO)]	輝度は [💡 (ノーマル)] より低下しますが、光源ランプの寿命を延ばしたい場合に選択します。
[💡 (静音)]	輝度は [💡 (ECO)] より低下しますが、さらに低騒音で使用したい場合に選択します。光源ランプの寿命は [💡 (ECO)] より短く、[💡 (ノーマル)] と同等です。

お知らせ

- [💡 (ECO)] の場合は [💡 (ノーマル)] よりも、[💡 (静音)] の場合は [💡 (ECO)] よりも、消費電力の節約、動作音の低減ができます。

[ファン]

電源を切ったときの冷却ファンの回転数を切り換えて、ファン冷却の時間を短縮することができます。

1) ▲▼ ボタンで [ファン] を選択する

2) 〈ENTER〉 ボタンを押す

3) ▲▼ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[ノーマル]	通常はこの設定でご使用ください。
[60 秒]	停止までの時間を短くしたい場合に選択します。
[0 秒]	電源を切ると、ファンがすぐ停止します。

お知らせ

- [0 秒] に設定して電源を切った場合は、すぐに本機の電源を入れ直すことはできません。高温になっている光源ランプを冷ます必要があり、再び電源を入れたときに、光源ランプが点灯するまでに多少の時間がかかります。
- [60 秒] に設定した場合は、[ノーマル] に比べて電源を切ったあとのファンの回転数が上がり、動作音が大きくなります。

[クローズドキャプション]

(NTSC 信号入力時のみ)

クローズドキャプションを設定します。

1) ▲▼ ボタンで [クローズドキャプション] を選択する

2) 〈ENTER〉 ボタンを押す

3) ▲▼ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[オフ]	クローズドキャプションを表示しません。
[CC 1]	CC 1 のデータを表示します。
[CC 2]	CC 2 のデータを表示します。
[CC 3]	CC 3 のデータを表示します。
[CC 4]	CC 4 のデータを表示します。

お知らせ




- クローズドキャプションは、主に北米で使用されている映像信号の文字情報を表示する機能です。接続する機器や再生するコンテンツによってはキャプションが表示できません。
- NTSC 信号が入力されている場合にのみ [クローズドキャプション] を選択できます。
- [クローズドキャプション] を [オフ] 以外に設定すると、接続するクローズドキャプション対応の外部機器や使用するコンテンツによっては、映像の明るさが変化する場合があります。
- メニュー画面表示中は、クローズドキャプションは表示されません。

[キーロック]

本体操作部とリモコンのボタン操作の有効 / 無効を設定します。

1) ▲▼ ボタンで [キーロック] を選択する

- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[ (オフ)]	本体操作部およびリモコンのボタン操作を有効にします。
[ (プロジェクター)]	本体操作部のボタン操作を無効にします。
[ (リモコン)]	リモコンのボタン操作を無効にします。

【アイリス】

映像に合わせて自動的に絞り補正を行うことで、最適なコントラストの画像にします。

- 1) ▲▼ ボタンで [アイリス] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ ボタンでレベルを調整する
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[オン]	絞りを補正します。
[オフ]	絞りが補正なしの状態です。

【サウンド】

音声機能の詳細を設定します。

音量を調整する場合

- 1) ▲▼ ボタンで [サウンド] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [サウンド] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ ボタンで [音量] を選択する
- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 5) ▲▼ ボタンでレベルを調整する
 - リモコンの 〈VOLUME +/-〉 ボタンでも操作できます。(👁️ 40 ページ)

操作	変化内容	調整範囲
▲ ボタンを押す	音が大きくなります。	0 ~ 25
▼ ボタンを押す	音が小さくなります。	

消音を設定する場合

- 1) ▲▼ ボタンで [サウンド] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [サウンド] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ ボタンで [消音] を選択する
- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 5) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。
 - リモコンの 〈MUTE〉 ボタンでも操作できます。(👁️ 40 ページ)

[オン]	音声を出力しません。
[オフ]	音声を出力します。

[HDMI セットアップ]

本機の〈HDMI IN〉端子を使用して外部機器と接続しているときに、正常な映像が映らない場合に設定を切り換えます。また、音声入力の設定を切り換えます。

映像を設定する場合

- 1) ▲▼ ボタンで [HDMI セットアップ] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [HDMI セットアップ] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ ボタンで [イメージ] を選択する
- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 5) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[自動]	信号レベルを自動的に設定します。
[64-940]	外部機器（ブルーレイディスクプレーヤーなど）の HDMI 端子出力を〈HDMI IN〉端子に接続している場合などに選択します。
[0-1023]	外部機器（コンピューターなど）の DVI-D 端子出力を、変換ケーブルなどを使用して〈HDMI IN〉端子に接続している場合などに選択します。 コンピューターなどの HDMI 端子出力を〈HDMI IN〉端子に接続している場合も同様です。

お知らせ

- 最適な設定は、接続する外部機器の出力設定によって異なります。外部機器の出力については、外部機器の取扱説明書などをご覧ください。

接続機器からの音声入力を設定する場合

- 1) ▲▼ ボタンで [HDMI セットアップ] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [HDMI セットアップ] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ ボタンで [サウンド] を選択する
- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 5) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[HDMI]	HDMI 入力を選択しているときに、HDMI の音声を出力します。
[コンピューター]	HDMI 入力を選択しているときに、〈AUDIO IN 1〉端子に入力されている音声を出力します。

[拡張設定] メニューについて

メニュー画面で、メインメニューから [拡張設定] を選択し、サブメニューから項目を選択してください。メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法” (☞ 43 ページ) をご覧ください。

[言語]

オンスクリーン表示の言語を切り換えます。

- 1) ▲▼ ボタンで [言語] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [言語] 画面が表示されます。(23 言語が 3 ページに分かれて表示されます。)
- 3) ▲▼ ボタンで言語を切り換える
 - ボタンを押すごとに、言語が切り換わります。



- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 切り換えた言語で各種メニューや設定、調整画面、操作ボタン名などが表示されます。
 - 英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、フィンランド語、ノルウェー語、デンマーク語、ポーランド語、チェコ語、ハンガリー語、ロシア語、トルコ語、アラビア語、カザフ語、ベトナム語、中国語、韓国語、日本語、タイ語への切り換えができます。

お知らせ

- 工場出荷時、および [拡張設定] の [初期設定] (☞ 69 ページ) を実行した場合、日本語でオンスクリーン表示するように設定されています。

[オートセットアップ]

〈AUTO SETUP〉 ボタンを押したときに、自動入力切換機能、自動 PC 調整機能、オートキーストーン機能を動作させるかどうかを設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [オートセットアップ] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [オートセットアップ] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[自動入力切換]	有信号の入力を検出して自動で入力を切り換える機能です。
[自動 PC 調整]	静止画系アナログ RGB 信号入力時、[トラッキング]、[水平位置]、[垂直位置]、[水平サイズ] を自動で調整する機能です。
[オートキーストーン]	投写映像の垂直方向の台形ひずみを自動で補正する機能です。

[自動入力切換] を設定する場合

自動入力切換機能の動作を設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [オートセットアップ] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [オートセットアップ] 画面が表示されます。

- 3) ▲▼ ボタンで [自動入力切換] を選択する
- 4) <ENTER> ボタンを押す
- 5) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[オン]	有効にします。
[オフ]	無効にします。

[自動 PC 調整] を設定する場合

自動 PC 調整機能の動作を設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [オートセットアップ] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - [オートセットアップ] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ ボタンで [自動 PC 調整] を選択する
- 4) <ENTER> ボタンを押す
- 5) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[オン]	有効にします。
[オフ]	無効にします。

[オートキーストーン] を設定する場合

オートキーストーン機能の動作を設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [オートセットアップ] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - [オートセットアップ] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ ボタンで [オートキーストーン] を選択する
- 4) <ENTER> ボタンを押す
- 5) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[自動]	<AUTO SETUP> ボタンの操作によらず、リアルタイムにプロジェクターの傾きを検出して垂直方向の台形ひずみを補正します。
[手動]	有効にします。
[オフ]	無効にします。

お知らせ

- [自動入力切換]、[自動 PC 調整]、[オートキーストーン] を同時に [オフ] に設定することはできません。少なくともひとつは [オフ] 以外に設定してください。
- 設置の状況によっては、台形ひずみを完全に補正できない場合があります。その場合は手動で補正してください。
- [表示] メニュー → [投写方式] を [天井 / 正面投写] または [天井 / リア投写] に設定した場合、[自動 PC 調整] は [オン] に固定され、[オートキーストーン] は [オフ] に固定されます。

[キーストーン]

投写映像が台形や曲面にゆがむ場合にスクリーン補正機能を使用して補正します。

- 1) ▲▼ ボタンで [キーストーン] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - [キーストーン] 画面が表示されます。

3) ▲▼ ボタンで調整する項目を選択する

[キーストーン]	電源を切ったり電源コードを抜いたあとでも、補正した状態を保持するかどうかを設定します。
[H/V キーストーン]	投写映像が台形にゆがむ場合に調整します。
[コーナー補正]	投写映像の四隅がゆがむ場合に調整します。
[曲面スクリーン補正]	投写映像が曲面にゆがむ場合に調整します。
[値のリセット]	各種補正值を工場出荷時の値に戻します。

[キーストーン] を設定する場合

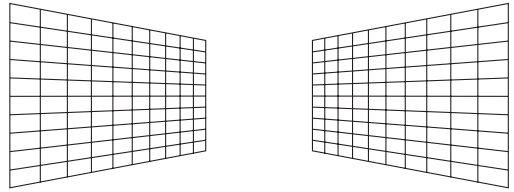
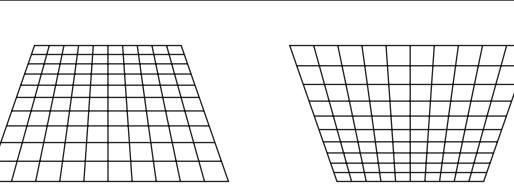
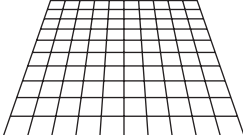
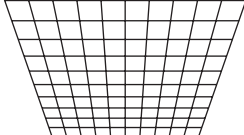
電源を切ったり電源コードを抜いたあとでも、補正した状態を保持するかどうかを設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [キーストーン] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [キーストーン] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ ボタンで [キーストーン] を選択する
- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 5) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[リセット]	[設定] メニュー→ [スタンバイモード] を [エコ] に設定している場合、電源を切ったり電源コードを抜いたりすると、補正した状態を解除します。 [設定] メニュー→ [スタンバイモード] を [ノーマル] に設定している場合、電源を切ったあとでは補正した状態を保持し、電源コードを抜いたときに補正した状態を解除します。
[メモリー]	電源を切ったり電源コードを抜いたりしても、補正した状態を保持します。

[H/V キーストーン] を調整する場合

- 1) ▲▼ ボタンで [キーストーン] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [キーストーン] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ ボタンで [H/V キーストーン] を選択する
- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [H/V キーストーン] 個別調整画面が表示されます。
- 5) ▲▼◀▶ ボタンで調整する

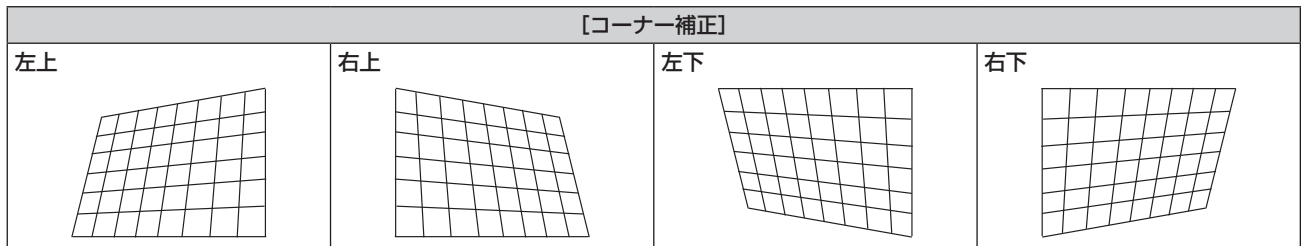
調整項目	操作	変化内容
水平	▶ ボタンを押す	右側が小さくなります。 
	◀ ボタンを押す	左側が小さくなります。 
垂直	▲ ボタンを押す	上側が小さくなります。 
	▼ ボタンを押す	下側が小さくなります。 

お知らせ

- 補正している方向の矢印が赤色で表示され、補正していない方向の矢印は白色で表示されます。
- 補正の限界に達すると矢印の表示が消えます。

[コーナー補正] を調整する場合

- 1) ▲▼ ボタンで [キーストーン] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [キーストーン] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ ボタンで [コーナー補正] を選択する
- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - コーナー補正の矢印マークが投写画面左上に表示されます。
 - リモコンまたは本体操作部の <KEYSTONE> ボタンを押すごとに、調整するコーナーが左上 → 右上 → 左下 → 右下と順次切り換わります。
- 5) ▲▼◀▶ ボタンで調整する

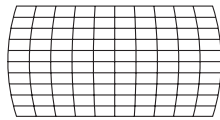
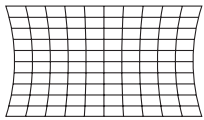
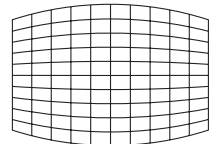
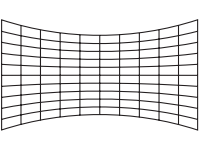


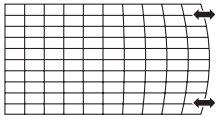
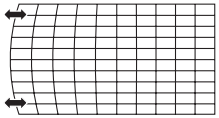
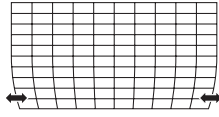
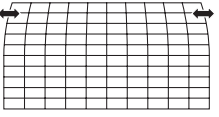
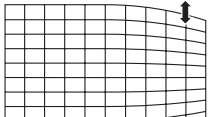
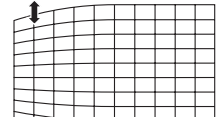
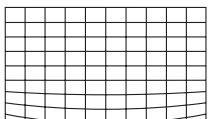
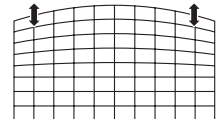
お知らせ

- 補正している方向の矢印が赤色で表示され、補正していない方向の矢印は白色で表示されます。
- 補正の限界に達すると矢印の表示が消えます。

[曲面スクリーン補正] を調整する場合

- 1) ▲▼ ボタンで [キーストーン] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [キーストーン] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ ボタンで [曲面スクリーン補正] を選択する
- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [曲面スクリーン補正] 個別調整画面が表示されます。
 - リモコンまたは本体操作部の <KEYSTONE> ボタンを押すごとに、調整項目が [曲面スクリーン補正 X/Y ゲイン] → [曲面スクリーン補正 X オフセット] → [曲面スクリーン補正 Y オフセット] と順次切り換わります。
- 5) ▲▼◀▶ ボタンで調整する

調整項目	操作	変化内容	
【曲面スクリーン補正 X/Y ゲイン】	▶ ボタンを押す	左右の縦線が膨らみます。	 
	◀ ボタンを押す	左右の縦線がへこみます。	
	▲ ボタンを押す	上下の横線が膨らみます。	 
	▼ ボタンを押す	上下の横線がへこみます。	

調整項目	操作	変化内容
[曲面スクリーン補正 X オフセット]	▶ ボタンを押す	右側の縦線が変化し、中央付近はそのまま、上下のコーナーが広がります。 
	◀ ボタンを押す	左側の縦線が変化し、中央付近はそのまま、上下のコーナーが広がります。 
	▲ ボタンを押す	左右の縦線が変化し、中央付近より上側はそのまま、下コーナーが広がります。 
	▼ ボタンを押す	左右の縦線が変化し、中央付近より下側はそのまま、上コーナーが広がります。 
[曲面スクリーン補正 Y オフセット]	▶ ボタンを押す	上下の横線が変化し、中央付近より左側はそのまま、右コーナーが広がります。 
	◀ ボタンを押す	上下の横線が変化し、中央付近より右側はそのまま、左コーナーが広がります。 
	▲ ボタンを押す	下側の横線が変化し、中央付近はそのまま、左右のコーナーが広がります。 
	▼ ボタンを押す	上側の横線が変化し、中央付近はそのまま、左右のコーナーが広がります。 

お知らせ

- [H/V キーストーン]、[コーナー補正] はいずれかの設定のみ有効です。[H/V キーストーン]、[コーナー補正] のいずれかの調整後に、他の調整を行うと、元の調整値はリセットされます。
- [曲面スクリーン補正 X オフセット] および [曲面スクリーン補正 Y オフセット] は単独では調整できません。はじめに [曲面スクリーン補正 X/Y ゲイン] を調整した後、[曲面スクリーン補正 X オフセット] または [曲面スクリーン補正 Y オフセット] を調整してください。
- [H/V キーストーン]、[コーナー補正]、[曲面スクリーン補正] の個別調整画面表示中に、本体操作部またはリモコンの〈KEYSTONE〉ボタンを押すごとに、以下のように個別調整画面が切り換わります。
 - [H/V キーストーン] ⇒ [コーナー補正] (左上) ⇒ [コーナー補正] (右上) ⇒ [コーナー補正] (右下) ⇒ [コーナー補正] (左下) ⇒ [曲面スクリーン補正 X/Y ゲイン] ⇒ [曲面スクリーン補正 X オフセット] ⇒ [曲面スクリーン補正 Y オフセット] ⇒ [H/V キーストーン] ⇒ . . .
- [H/V キーストーン] の各種調整では、上下方向の傾きに対して ± 15° まで、左右方向の傾きに対して ± 15° まで補正できます。ただし、補正量が多くなればなるほど画質が劣化し、フォーカスが合いにくくなります。できるだけ補正量が少なくなるように設置してください。
- [H/V キーストーン] で各種調整をすると、画面サイズも変化します。
- 補正量によっては、画面サイズのアスペクト比がずれる場合があります。

[キーストーン] の補正状態をリセットする場合

スクリーン補正機能を使用して調整した状態を解除して工場出荷状態に戻します。

- 1) ▲▼ ボタンで [キーストーン] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [キーストーン] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ ボタンで [値のリセット] を選択する
- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 調整した状態が解除されます。

[ロゴ]

ロゴの選択、ユーザーロゴの登録、ロゴ操作に対する制限の設定をします。

- 1) ▲▼ ボタンで [ロゴ] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [ロゴ] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

【ロゴ選択】	スタートアップ時に表示するロゴを選択します。
【キャプチャー】	ユーザーロゴを登録します。投写している画像をキャプチャーして、スタートアップ時に表示するロゴとして使用できます。
【ロゴ暗証番号ロック】	ロゴ暗証番号を設定して、管理者以外がロゴを変更できないようにします。
【ロゴ暗証番号変更】	ロゴ暗証番号を変更します。

【ロゴ選択】を設定する場合

スタートアップ時に表示するロゴを選択します。

- 1) ▲▼ ボタンで 【ロゴ】 を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 【ロゴ】 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ ボタンで 【ロゴ選択】 を選択する
- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 5) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

【オフ】	スタートアップ時、カウントダウンのみを表示します。
【初期設定】	スタートアップ時、Panasonic ロゴとカウントダウンを表示します。
【ユーザー】*1	スタートアップ時、ユーザーが登録した画像（ユーザーロゴ）のみを表示します。

*1 【ユーザー】 は、ユーザーロゴが登録されていない場合、表示されません。

お知らせ

- 【ロゴ暗証番号ロック】 が 【オン】 のときは、【ロゴ選択】 は設定できません。

【キャプチャー】を設定する場合

スタートアップ時に表示するユーザーロゴを登録します。

- 1) ▲▼ ボタンで 【ロゴ】 を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 【ロゴ】 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ ボタンで 【キャプチャー】 を選択する
 - スタートアップ時に表示したい映像を投写してください。
- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 5) 確認画面が表示されるので、▲▼ ボタンで 【はい】 を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
 - キャプチャーした画像がユーザーロゴとして本機に登録されます。
 - キャプチャー後 【ロゴ選択】 を 【ユーザー】 に設定すると、次のスタートアップ時からユーザーロゴが表示されるようになります。

お知らせ

- コンピューター信号 / HDMI 信号の静止画系信号のみに対応しています。
- 信号によってはキャプチャーできない場合があります。
- 本機の表示ドット数（パネル解像度：1 280 × 800）と同じ解像度の信号をキャプチャーすることをお勧めします。
- 【ロゴ暗証番号ロック】 が 【オン】 のときは、【キャプチャー】 は設定できません。
- 画像をキャプチャーするときには 【キーストーン】 で補正した状態が一時的に解除されます。

【ロゴ暗証番号ロック】を設定する場合

ロゴ暗証番号（3 桁の数字）を設定して、管理者以外がロゴを変更できないようにします。

- 1) ▲▼ ボタンで 【ロゴ】 を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 【ロゴ】 画面が表示されます。

- 3) ▲▼ ボタンで [ロゴ暗証番号ロック] を選択する
- 4) <ENTER> ボタンを押す
 - [ロゴ暗証番号] 入力画面が表示されます。
- 5) <ENTER> ボタンを押す
- 6) “ロゴ暗証番号の入力手順” に従い、すでに設定しているロゴ暗証番号を入力する
 - 初めてロゴ暗証番号を設定する場合は、“ロゴ暗証番号の入力手順” に従って、設定したい番号（3桁の数字）を入力してください。

■ ロゴ暗証番号の入力手順

- i) ▲▼ ボタンで0～9の数字を選択する
 - ii) <ENTER> ボタンを押す
 - 数字が確定し*に変化するとともに、カーソルが次の桁に移動します。
 - iii) 上記の操作を繰り返し、3桁すべての数字を入力する
 - 3桁の数字が確定すると、カーソルが [設定] に移動します。
 - iv) <ENTER> ボタンを押す
 - [ロゴ] 画面に戻ります。
- 7) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[オン]	[ロゴ選択]、[キャプチャー] の設定・変更を禁止する場合に選択します。
[オフ]	[ロゴ選択]、[キャプチャー] の設定・変更を行う場合に選択します。

お願い


- 工場出荷時のロゴ暗証番号（3桁の数字）は、(111)です。
- ロゴ暗証番号は定期的に変更し、推測されにくいものにしてください。

お知らせ

- 数字の入力をやり直したいときは、<MENU> ボタンを押して数字をリセットさせ、再度入力してください。
- [キャンセル] にカーソルを合わせて <ENTER> ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。
- 入力エラーが発生すると、入力した数字（見た目は「*」）が赤く表示された後、数字がリセットされますので、再度入力してください。

[ロゴ暗証番号変更] を設定する場合

ロゴ暗証番号を変更します。

- 1) ▲▼ ボタンで [ロゴ] を選択する
- 2) <ENTER> ボタンを押す
 - [ロゴ] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ ボタンで [ロゴ暗証番号変更] を選択する
- 4) <ENTER> ボタンを押す
 - [ロゴ暗証番号] 入力画面が表示されます。
- 5) <ENTER> ボタンを押す
- 6) すでに設定しているロゴ暗証番号を、“ロゴ暗証番号の入力手順”（ 64 ページ）に従って入力する
- 7) <ENTER> ボタンを押す
 - [新ロゴ暗証番号] 入力画面が表示されます。
- 8) “ロゴ暗証番号の入力手順” に従い、新しい暗証番号を入力する

お知らせ

- 数字の入力をやり直したいときは、▲▼ ボタンでやり直したい桁を選択し、▲▼ ボタンで数字を選び直します。
- [キャンセル] にカーソルを合わせて <ENTER> ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。
- 入力エラーが発生すると、入力した数字（見た目は「*」）が赤く表示された後、数字がリセットされますので、再度入力してください。

[セキュリティ]

暗証番号を設定し、第三者による不正操作を防止することができます。電源を入れたときに【暗証番号】入力画面を表示させます。

- 1) ▲▼ ボタンで [セキュリティ] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [セキュリティ] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

【暗証番号ロック】	暗証番号を設定して、第三者が本機を操作できないようにします。
【暗証番号変更】	暗証番号を変更します。

お願い

- 工場出荷時の暗証番号（3桁の数字）は、（111）です。
- 暗証番号は定期的に変更し、推測されにくいものにしてください。
- 暗証番号を工場出荷時の設定に戻す場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

[暗証番号ロック] を設定する場合

暗証番号（3桁の数字）を設定して、第三者が本機を操作できないようにします。

- 1) ▲▼ ボタンで [セキュリティ] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [セキュリティ] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ ボタンで [暗証番号ロック] を選択する
- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [暗証番号] 入力画面が表示されます。
- 5) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 6) “暗証番号の入力手順” に従い、すでに設定している暗証番号を入力する
 - 初めて暗証番号を設定する場合は、“暗証番号の入力手順” に従って、設定したい番号（3桁の数字）を入力してください。

■ 暗証番号の入力手順

- i) ▲▼ ボタンで 0 ～ 9 の数字を選択する
 - ii) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 数字が確定し * に変化するとともに、カーソルが次の桁に移動します。
 - iii) 上記の操作を繰り返し、3桁すべての数字を入力する
 - 3桁の数字が確定すると、カーソルが [設定] に移動します。
 - iv) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [セキュリティ] 画面に戻ります。
- 7) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

【オン】	電源を入れたときに【暗証番号】入力画面を表示させる場合に選択します。暗証番号を入力しないと本機の操作ができません。
【オフ】	暗証番号なしで本機の操作ができます。

お知らせ

- 数字の入力をやり直したいときは、〈MENU〉 ボタンを押して数字をリセットさせ、再度入力してください。
- [キャンセル] にカーソルを合わせて 〈ENTER〉 ボタンを押すと、メニュー画面に戻ります。
- 入力エラーが発生すると、入力した数字（見た目は「*」）が赤く表示された後、数字がリセットされますので、再度入力してください。

[暗証番号変更] を設定する場合

暗証番号を変更します。

- 1) ▲▼ ボタンで [セキュリティ] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [セキュリティ] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ ボタンで [暗証番号変更] を選択する
- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [暗証番号] 入力画面が表示されます。
- 5) すでに設定している暗証番号を、“暗証番号の入力手順” (☞ 65 ページ) に従って入力する
- 6) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [新暗証番号] 入力画面が表示されます。
- 7) “暗証番号の入力手順” に従い、新しい暗証番号を入力する

[パワーマネージメント]

入力信号がない状態が続くと、自動的に本機の電源をスタンバイ状態または待機状態にする機能です。スタンバイ状態または待機状態の選択や、パワーマネージメント機能が働くまでの時間、待機状態からスタンバイ状態に移行するまでの時間を設定できます。

- 1) ▲▼ ボタンで [パワーマネージメント] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [パワーマネージメント] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ ボタンで [待機]、[シャットダウン]、または [オフ] を選択する

[待機]	信号入力がない状態が 30 秒続くとカウントダウンタイマーが表示され、[タイマー] で設定した時間が経過すると、光源ランプが消灯し、クーリングののちに待機状態になります。待機中に信号を入力すると、またはボタン操作 (電源 〈ON/OFF〉 ボタン以外) をすると、光源ランプが点灯して投写状態になります。待機中に電源 〈ON/OFF〉 ボタンを押すと、スタンバイ状態になります。また、待機状態になってから [待機秒読み] で設定した時間が経過すると、スタンバイ状態になります。
[シャットダウン]	信号入力がない状態が 30 秒続くとカウントダウンタイマーが表示され、[タイマー] で設定した時間が経過すると、光源ランプが消灯し、クーリングののちにスタンバイ状態になります。
[オフ]	パワーマネージメント機能を無効にします。

- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 手順 3) で選択した項目の左側にチェックマークが表示されます。
 - [待機] または [シャットダウン] を選択した場合は、手順 5) に進みます。
- 5) ▲▼ ボタンで [タイマー] を選択する
- 6) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 7) ▲▼ ボタンで [タイマー] の時間を設定する
 - ボタンを押すごとに、設定時間が切り換わります。
 - パワーマネージメント機能が働くまでの時間を、1 分から 30 分の間で、1 分刻みで設定できます。
 - 手順 3) で [待機] を選択した場合は、手順 8) に進みます。
- 8) 〈MENU〉 ボタンを押す
- 9) ▲▼ ボタンで [待機秒読み] を選択する
- 10) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 11) ▲▼ ボタンで [待機秒読み] の時間を設定する
 - ボタンを押すごとに、設定時間が切り換わります。
 - パワーマネージメント機能が働いて待機状態になってからシャットダウン状態に移行するまでの時間を、1 分から 30 分の間で、1 分刻みで設定できます。
 - [0 分] に設定すると、スタンバイ状態には移行せず、待機状態を継続します。

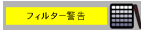
[フィルターカウンター]

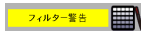
フィルターの使用時間を確認したり、フィルターのお手入れの周期を設定したりします。また、フィルターの使用時間をリセットできます。

- 1) ▲▼ ボタンで [フィルターカウンター] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [フィルターカウンター] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[フィルターカウンター]	フィルターの使用時間を表示します。
[タイマー]	フィルターのお手入れの周期を設定します。
[フィルターカウンターリセット]	フィルターの使用時間をリセットします。

タイマーを設定する場合

定期的にフィルターのお手入れを行いたい場合に、その周期を設定します。フィルターの使用時間が設定した時間に到達すると、投写画面上にフィルター警告アイコン  が表示されます。

- 1) ▲▼ ボタンで [フィルターカウンター] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [フィルターカウンター] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ ボタンで [タイマー] を選択する
- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 5) ▲▼ ボタンで設定時間を切り換える
 - ボタンを押すごとに、設定時間が[オフ] → [100時間] → [200時間] → [300時間] に切り換わります。
 - [オフ] に設定すると、フィルター警告アイコン  は表示されません。

フィルターカウンターをリセットする場合

- 1) ▲▼ ボタンで [フィルターカウンター] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [フィルターカウンター] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ ボタンで [フィルターカウンターリセット] を選択する
- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [フィルターカウンターリセット?] 画面が表示されます。
- 5) ▲▼ ボタンで [はい] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [OK ?] 画面が表示されます。
- 6) ▲▼ ボタンで [はい] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す

[テストパターン]

本機内蔵のテストパターンを表示します。

位置、サイズなどの設定内容はテストパターンには反映されません。必ず入力信号を表示させた状態で各種調整を行ってください。

- 1) ▲▼ ボタンで [テストパターン] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [テストパターン] 画面が表示されます。

3) ▲▼ ボタンで各種テストパターンを切り換える

[オフ]	テストパターンを表示しません。
[グレースケール 1]	各種調整を行いやすいテストパターンを選択してください。
[グレースケール 2]	
[グレースケール 3]	
[グレースケール 4]	
[カラーバー]	
[赤]	
[緑]	
[青]	
[クロスハッチ]	
[ホワイト]	
[黒]	
[灰色のラスタ]	

4) 〈ENTER〉 ボタンを押す

- 選択したテストパターンが表示され、メニュー画面が消えます。

お知らせ

- テストパターンの表示を消すときは、〈MENU〉 ボタンを押してメニュー画面を表示させ、[テストパターン] を [オフ] に設定してください。

[ネットワーク]

ネットワーク機能を使用する前に、ネットワークの初期設定を行ってください。

[ネットワーク設定] を設定する場合

有線 LAN を利用するための接続設定をします。無線 LAN の設定について、“無線 LAN で接続する場合” (☞ 80 ページ) をご覧ください。

- 1) ▲▼ ボタンで [ネットワーク] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [ネットワーク] 画面が表示されます。
- 3) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [ネットワーク設定] 画面が表示されます。
- 4) ▲▼ ボタンで各項目を選択し、メニューの操作指示に従って設定を変更する

[DHCP]	オン：プロジェクターを接続するネットワークに DHCP サーバーが存在する場合、自動的に IP アドレスを取得します。 オフ：プロジェクターが接続するネットワークに DHCP サーバーが存在しない場合、[IP アドレス]、[サブネット]、[ゲートウェイ] の設定を行ってください。
[IP アドレス]	DHCP サーバーを利用しない場合は、IP アドレスを入力します。
[サブネット]	DHCP サーバーを利用しない場合は、サブネットマスクを入力します。
[ゲートウェイ]	DHCP サーバーを利用しない場合は、デフォルトゲートウェイアドレスを入力します。
[DNS]	DHCP サーバーを利用しない場合は、DNS サーバーアドレスを入力します。

5) ▲▼ ボタンで [設定] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す

- 工場出荷時、あらかじめ下記の設定がされています。

[DHCP]	オフ
[IP アドレス]	192.168.1.100
[サブネット]	255.255.255.0
[ゲートウェイ]	192.168.1.1
[DNS]	192.168.1.1

お知らせ

- DHCP サーバーを利用する場合、DHCP サーバーが立ち上がっていることを確認してください。
- IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

[ネットワーク情報] を確認する場合

- 1) ▲▼ ボタンで [ネットワーク] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [ネットワーク] 画面が表示され、以下の項目を確認できます。

[MAC アドレス]	本機の MAC アドレスを表示します。
[IP アドレス]	本機の現在の IP アドレスを表示します。
[SSID] *1	無線 LAN 接続する場合の SSID の文字列を表示します。
[ワイヤレス IP] *1	無線 LAN 接続する場合に、本機に装着したワイヤレスモジュールの IP アドレスを表示します。

*1 別売品のワイヤレスモジュール（品番：ET-WML100J）を装着したときに表示されます。

[リモコンコード]


本機にはリモコンコードの設定機能があり、本機を複数台並べて使用する場合、1 つのリモコンで同時制御や個別制御ができます。

- 1) ▲▼ ボタンで [リモコンコード] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [リモコンコード] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ ボタンで [リモコンコード] を選択する
 - [すべて]、[コード 1] ~ [コード 6] の一覧から選択してください。

[すべて]	リモコンコードを指定せずに制御する場合に設定します。
[コード 1] ~ [コード 6]	リモコンコードを指定して個別制御する場合に設定します。

- 4) 〈ENTER〉 ボタンを押して決定する
 - [リモコンコード] が設定されます。

お知らせ


- リモコンコードを指定して個別制御する場合は、リモコン側のリモコンコードを本機のリモコンコードに合わせる必要があります。
- リモコンコードを [すべて] に設定すると、リモコンで制御の際、リモコンコードを何番に指定しても本機は動作します。本機を複数台並べて設置する場合、リモコンコードを [すべて] に設定していると、他のリモコンコードを設定した本機と分けて制御できなくなります。
- リモコン側のリモコンコードを設定する方法は「リモコンのリモコンコードを設定する」（ 41 ページ）をご覧ください。

[初期設定]

各種設定値を工場出荷時の値に戻します。

- 1) ▲▼ ボタンで [初期設定] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [初期設定へ戻しますか ?] 画面が表示されます。
- 3) ▲▼ ボタンで [はい] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [OK ?] 画面が表示されます。
- 4) ▲▼ ボタンで [はい] を選択し、〈ENTER〉 ボタンを押す
 - 「しばらくお待ちください」が表示されて初期化処理が始まり、表示が消えると完了します。

お願い

- [初期設定] を実行したあと、初期値を反映させるために、一度プロジェクターの電源を切ったのち（ 34 ページ）、コンセントから電源プラグを抜き差しし、再び電源を入れてください。

お知らせ

- [初期設定] を実行しても、暗証番号、ロゴ暗証番号、[ロゴ選択] の設定、ユーザーロゴ、光源ランプ使用時間、フィルター使用時間は、工場出荷時の設定に戻りません。

[メモリービューワー] メニューについて

メニュー画面で、メインメニューから [メモリービューワー] を選択し、サブメニューから項目を選択してください。

メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法” (43 ページ) をご覧ください。

お知らせ

- [メモリービューワー] メニューは、メモリービューワー入力時のみ有効です。
- [セットスライド] 以外のメニューは、設定を変更しても [適用] を実行しないと設定変更が有効になりません。

[セットスライド]

スライドショーを開始します。

- 1) ▲▼ ボタンで [セットスライド] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - スライドショーが開始されます。

[スライド効果]

スライドショーで画像が切り換わる時の画面切換効果を設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [スライド効果] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[下にスライド]	上から下に向けて画像が切り換わります。
[右にスライド]	左から右に向けて画像が切り換わります。

[ソート順]

スライドショーを再生する順番を設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [ソート順] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[拡張子順]	ファイルの拡張子の昇順で再生します。
[サイズ順]	ファイルまたはフォルダーのデータサイズの昇順で再生します。
[時間順]	ファイルまたはフォルダーの保存日時の昇順で再生します。
[名前順]	ファイルまたはフォルダー名の昇順で再生します。

[回転]

画像の向きを設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [回転] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[回転なし]	画像を回転させません。
[270°]	画像を時計方向に 270 度回転させます。
[180°]	画像を 180 度回転させます。
[90°]	画像を時計方向に 90 度回転させます。

【ベストフィット】

画像を投写画面に合わせて表示するかどうかを設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [ベストフィット] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[オン]	画像のアスペクト比を維持したまま、投写画面のサイズに合わせて表示します。
[オフ]	画像の画素数のままで表示します。

【リピート】

スライドショーを繰り返し再生するかどうかを設定します。

- 1) ▲▼ ボタンで [リピート] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
- 3) ▲▼ ボタンで項目を切り換える
 - ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[オン]	最後のファイルを再生後、先頭のファイルに戻って再生を繰り返します。
[オフ]	最後のファイルを再生後、サムネイル表示に戻ります。

【適用】

スライドショーの設定変更を有効にします。

- 1) ▲▼ ボタンで [適用] を選択する
- 2) 〈ENTER〉 ボタンを押す
 - [セットスライド] 以外の項目の設定変更が反映されます。

[インフォメーション] メニューについて

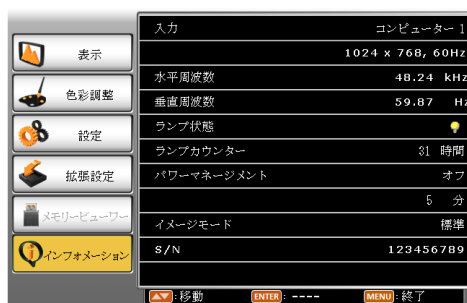
メニュー画面で、メインメニューから [インフォメーション] を選択してください。
メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法” (p. 43 ページ) をご覧ください。

[インフォメーション]

本機の状態を表示します。

1) ▲▼ ボタンで [インフォメーション] を選択する

- [インフォメーション] 画面が表示されます。
- リモコンの〈INFO〉ボタンでも表示できます。(p. 38 ページ)



【入力】	選択中の入力端子とその入力信号を表示します。
【水平周波数】	入力信号の水平周波数をkHz単位で表示します。信号を検出できない場合は、[----]と表示されます。
【垂直周波数】	入力信号の垂直周波数をHz単位で表示します。信号を検出できない場合は、[----]と表示されます。
【ランプ状態】	[ランプコントロール] の設定を表示します。
【ランプカウンター】	光源ランプ使用時間を表示します。([💡 (ECO)] で使用した時間に換算されて表示されます。)
【パワーマネージメント】	[パワーマネージメント] の設定を表示します。
【イメージモード】	[イメージモード] の設定を表示します。
【S/N】	本機の製造番号 (シリアルナンバー) を表示します。本機のサービス時に必要な情報です。

第 5 章 機能の操作

各種機能の使い方について説明しています。

メモリービューワー機能について

メモリービューワーは、USB メモリーに記録されている静止画を投写映像として表示する機能です。

メモリービューワー機能で投写できる画像

本機のメモリービューワー機能では、以下の画像ファイルを再生できます。

	拡張子	フォーマット	説明
静止画	jpg / jpeg	Baseline coding 24 bits	解像度：8 x 8 ~ 10 000 x 10 000
		プログレッシブ RGB 24 bits	解像度：8 x 8 ~ 1 280 x 800
	bmp	Palette-based 1, 4, 8 bits RGB 24, 32 bits	最大解像度：1 280 x 800
	png	True color 24 bits/48 bits	最大解像度：1 280 x 800
	gif	Palette-based 1, 4, 8 bits	Palette - 24 bits color spaces 最大解像度：1 280 x 800
	tif / tiff	—	最大解像度：1 280 x 800

お知らせ

- 再生できるファイルのサイズは最大 2 GB です。
- 本機で認識できるフォルダー / ファイルの数は、合計 500 までです。
- DRM (Digital Rights Management、デジタル著作権管理) で保護されたファイルは再生できません。
- 対応フォーマットのファイルでも再生できない場合があります。

USB メモリー使用上のお願い

次のことをお守りください。

- USB メモリーを幼い子供の手が届く場所に保管しないでください。誤って口に入れると窒息するおそれがあります。
- 発煙や異臭を察知した場合は、本機から取り外して、製造元に連絡してください。
- USB メモリーに水、薬品、石油製品などをこぼさないでください。短絡または火災の原因になります。
- USB 端子部分に異物や金属品を入れないでください。保存データの損失または破壊の原因になります。
- USB メモリーからデータを読み出している間は、本機から無理に取り外さないでください。データの損失または破壊の原因になります。
- 湿度の高い所、ほこりの多い所に置かないでください。
- 静電気や電磁波が発生する所に置かないでください。

お知らせ

- 市販の USB メモリーに対応しています。
- FAT16 または FAT32 でフォーマットしたもの以外は使用できません。

USB メモリーを取り付ける

1) 〈USB A (VIEWER/WIRELESS)〉端子に USB メモリーをしっかりと奥まで挿す

お願い

- USB メモリーを挿す際は、端子の向きに注意して傷めないようにしてください。
- USB 延長ケーブルや USB ハブを使用せずに、USB メモリーを本機の〈USB A (VIEWER/WIRELESS)〉端子に直接挿してください。

USB メモリーを取り外す

1) USB メモリー上のインジケータが点滅していないことを確認して取り外す

お願い

- USB メモリーを取り外すときは以下の点に注意してください。
 - 装着した USB メモリーのインジケータが点滅しているときは、本機がデータを読み出していること示します。点滅中は USB メモリーを取り外さないでください。
 - インジケータなどのモニター機能を備えていない USB メモリーを使用している場合、データの読み出し状況が把握できません。そのため、メモリービューワーを終了する、または本機の電源を切ってから、取り外してください。
 - USB メモリーの取り付けと取り外しを短時間でを行わないでください。取り付けてから少なくとも 5 秒待ってから取り外し、再び取り付ける場合は、取り外してから少なくとも 5 秒待ってください。本機が USB メモリーの取り付け有無を認識するには約 5 秒を要します。

メモリービューワー画面を表示する

- 1) リモコンの〈MEMORY VIEWER/USB DISPLAY/NETWORK〉ボタンを押して、入力をメモリービューワーに切り換える
 - 本体操作部の〈INPUT/ENTER〉ボタンを押して入力選択メニューから選択することもできます。
- 2) 〈USB A (VIEWER/WIRELESS)〉端子に USB メモリーをしっかりと挿入する
 - 待機画面「please press RC ENTER」が表示され、画面左下に USB メモリーのアイコンが表示されます。
- 3) リモコンの〈ENTER〉ボタンを押す
 - 画面に USB メモリーのルートディレクトリーがサムネイル表示されます。

静止画を再生する

- 1) リモコンの▲▼◀▶ボタンでメモリービューワー画面上の再生したいファイルを選択する
- 2) リモコンの〈ENTER〉ボタンを押す
 - 全画面に静止画が表示されます。
- 3) ▶ボタンで次の画像、◀ボタンで前の画像に切り換える
- 4) リモコンの〈ENTER〉ボタンを押す
 - サムネイル表示に戻ります。

お知らせ

- 記録画素数が 1280 x 800 よりも小さい場合は、アスペクト比を維持したまま拡大表示されます。
- 記録画素数が 1280 x 800 よりも大きい場合は、アスペクト比を維持したまま縮小表示されます。
- 記録画素数が 1280 x 800 の場合、拡大表示または縮小表示されないため、画質の劣化を低減できます。

スライドショーを実行する


同一フォルダー内のすべての静止画を、[メモリービューワー] メニューの [スライド効果]、[ソート順] などで設定された仕様で連続投写されます。

- 1) リモコンの▲▼◀▶ボタンで投写したいファイルを選択する
- 2) 〈MENU〉ボタンで [メモリービューワー] → [セットスライド] を選択する
- 3) リモコンの〈ENTER〉ボタンを押す
 - スライドショーが開始されます。
 - 再生中に〈ENTER〉ボタンを押すと、サムネイル表示に戻ります。

お知らせ

- スライドショー再生中に〈MENU〉ボタンを押すと、再生を終了し、メニューが表示されます。メニュー表示が消えると続けて再生されます。
- スライドショー再生時、サムネイル画面 2 ページ目以降のスライド表示中に、[メモリービューワー] メニューの設定を変更すると、サムネイル画面 1 ページ目の先頭スライドから再開されます。

メモリービューワーを終了する

- 1) リモコンの▲▼◀▶ボタンでサムネイル表示左上の  を選択する
- 2) リモコンの〈ENTER〉ボタンを押す
 - 待機画面「please press RC ENTER」に戻ります。
再生している画像ファイルが保存されているフォルダーの階層によっては、待機画面に戻るまで手順 1) と 2) の操作を繰り返す必要があります。

お知らせ

- メモリービューワー以外の入力に切り換えることでも、メモリービューワーを終了できます。

USB ディスプレイ機能について

USB ディスプレイ機能は、コンピューターと本機を USB ケーブルで接続し、コンピューター画面や音声を本機から出力する機能です。

ただし、Mac でご使用になる場合は、本機から音声は出力されません。

Windows コンピューターで使用する場合

■ 動作環境

OS	Windows 7/Windows 8.1/Windows 10, 32/64 bit
CPU	Intel Core 2 Duo 2.0 GHz 以上、もしくは互換プロセッサ搭載
ハードディスクの空き容量	20 MB 以上
ディスプレイ	640 x 480 以上、1 600 x 1 200 以下の解像度

- 上記の条件を満たす、すべてのコンピューターについて動作を保証するものではありません。

USB ディスプレイで投写する


お知らせ

- Presenter Light ソフトウェアと同時に使用することはできません。USB ディスプレイ機能を使用する場合は、あらかじめ Presenter Light ソフトウェアを終了してください。

- 1) コンピューターと、プロジェクターの〈USB B (DISPLAY)〉端子を USB ケーブルで接続する
- 2) リモコンの〈MEMORY VIEWER/USB DISPLAY/NETWORK〉ボタンを押して、入力を USB ディスプレイに切り換える
 - 本体操作部の〈INPUT/ENTER〉ボタンを押して入力選択メニューから選択することもできます。
 - プロジェクターに内蔵されたドライバーの起動画面が自動で表示されますので、画面の指示に従ってください。コンピューターの設定によっては自動再生画面が表示される場合があります。この場合は、「autorun.exe の実行」を選択してください。自動で起動しない場合は、「USB Display」フォルダー内の「autorun.exe」をダブルクリックしてください。
 - コンピューターの画面が投写されます。
- 3) タスクトレイ（コンピューター画面の右下）にあるドライバーアイコン  を左クリックし、ポップアップメニューの項目を選択する
 - ポップアップメニューは英語表示のみです。
 - 灰色で表示されている項目は選択できません。

[Active audio] / [Disable audio]	音声の出力再生 / 消音を切り換えます。
[Play video] / [Pause video]	映像の再生 / 静止を切り換えます。
[Start] / [Stop]	映像を投写する / しないを切り換えます。
[Exit]	灰色で表示され、選択できません。

お知らせ

- コンピューターの画面が投写されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。
- USB ケーブルは、コンピューターの USB コネクターに直接接続してください。USB ハブなどを経由して接続すると動作しないことがあります。
- コンピューターの画面が投写されると、お使いのコンピューターの解像度が接続するプロジェクターとの組み合わせに応じて、強制的に切り換わる場合があります。
- USB ディスプレイ入力時に無効な操作をすると、キー操作無効を示すアイコン  が表示されます。

USB ディスプレイを終了する

- 1) USB ケーブルを取り外す
 - USB ケーブルを取り外すときは、「ハードウェアの安全な取り外し」の操作は必要ありません。

Mac で使用する場合

■ 動作環境

OS	OS X 10.11, macOS Sierra / High Sierra
CPU	Intel Core 2 Duo 2.0 GHz 以上
ハードディスクの空き容量	20 MB 以上
ディスプレイ	640 x 480 以上、1 600 x 1 200 以下の解像度


- 上記の条件を満たす、すべてのコンピューターについて動作を保証するものではありません。

USB ディスプレイで投写する

- 1) コンピューターと、プロジェクターの〈USB B (DISPLAY)〉端子を USB ケーブルで接続する
- 2) リモコンの〈MEMORY VIEWER/USB DISPLAY/NETWORK〉ボタンを押して、入力を USB ディスプレイに切り換える
 - 本体操作部の〈INPUT/ENTER〉ボタンを押して入力選択メニューから選択することもできます。
 - デスクトップに「USB Display」という仮想ディスクがマウントされます。
- 3) マウントされた仮想ディスク内の「Monitor.app」をダブルクリックする
 - コンピューターの画面が投写されます。
- 4) コンピューターのドックにあるドライバーアイコン  を右クリックし、ポップアップメニューの項目を選択する
 - 灰色で表示されている項目は選択できません。

[Active audio] / [Disable audio]	音声出力は非対応です。
[Play video] / [Pause video]	映像の再生 / 静止を切り換えます。
[Start] / [Stop]	映像を投写する / しないを切り換えます。
[Options]	ドックへの格納、自動起動、フォルダー表示などを設定します。
[Show All Windows]	一時的に全画面にコンピューターの背景を表示します。
[Hide] / [Show]	USB ディスプレイドライバーアイコンの表示・非表示を切り換えます。
[Quit]	USB ディスプレイを終了します。

お知らせ

- コンピューターの画面が投写されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。
- USB ケーブルは、コンピューターの USB コネクターに直接接続してください。USB ハブなどを経由して接続すると動作しないことがあります。
- コンピューターの画面が投写されると、お使いのコンピューターの解像度が接続するプロジェクターとの組み合わせに応じて、強制的に切り換わる場合があります。
- USB ディスプレイ入力時に無効な操作をすると、キー操作無効を示すアイコン  が表示されます。
- お使いのコンピューターによっては、デスクトップに仮想ディスクがマウントされない場合があります。そのときは、[Finder] を開き、[デバイス] 中の USB ディスプレイを参照してください。

ネットワーク接続について

本機はネットワーク機能を備えており、コンピューターと接続することにより次のようなことができます。無線 LAN 接続する場合は、別売品のワイヤレスモジュール（品番：ET-WML100J）が必要です。

• WEB 制御

コンピューターから本機にアクセスすることで、本機の設定や調整、状態表示などができます。詳しくは、「WEB 制御機能について」（☞ 83 ページ）をご覧ください。

• 複数台監視制御ソフトウェア

イントラネットに接続された複数台のディスプレイ（プロジェクターやフラットパネルディスプレイ）を監視・制御するソフトウェア「複数台監視制御ソフトウェア」を使用できます。

また、イントラネット内にあるディスプレイやその周辺機器の状態を監視し、これらの機器の異常の通知や異常発生の予兆を検知するプラグインソフト「予兆監視ソフトウェア」の機能も使用できます。

詳しくは、弊社 WEB サイト（<https://panasonic.biz/cns/projector/>）をご覧ください。

• 画像転送用アプリケーションソフト

当社の画像転送用アプリケーションソフトを使用して、端末から送信された画像を投写映像として表示することができます。

Windows コンピューターに対応した画像転送用のアプリケーションソフト「Presenter Light ソフトウェア」の使用方法については、「Presenter Light ソフトウェア」の取扱説明書をご覧ください。「Presenter Light ソフトウェア」のアプリケーションソフトは、WEB ブラウザーを用いて本機にアクセスすることで入手できます。入手方法については、「Presenter Light ソフトウェア」について」（☞ 82 ページ）をご覧ください。「Presenter Light ソフトウェア」の取扱説明書とアプリケーションソフトは、弊社 WEB サイト（<https://panasonic.biz/cns/projector/>）からダウンロードすることができます。

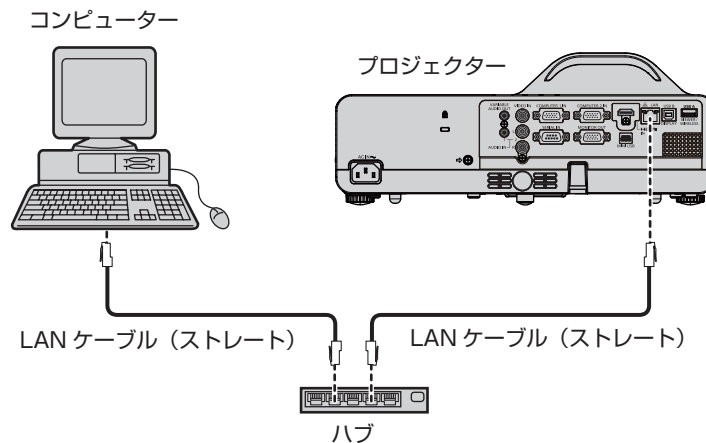
iPad/iPhone/iPod touch、Android 端末に対応した画像転送用アプリケーションソフト「ワイヤレスプロジェクター」については、弊社 WEB サイト（<https://panasonic.biz/cns/projector/>）をご覧ください。

• PJLink

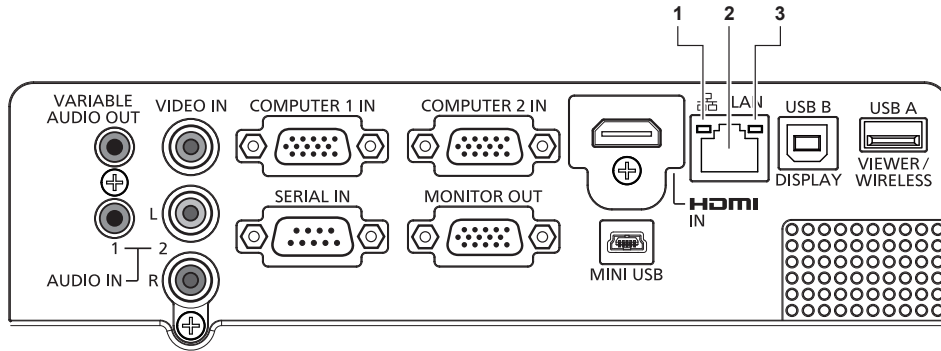
PJLink プロトコルを使用して、コンピューターから本機に対する操作や状態の問い合わせができます。詳しくは、「PJLink プロトコルを使用する」（☞ 98 ページ）をご覧ください。

有線 LAN で接続する場合

接続例



■ 〈LAN〉端子の各部の名称とはたらき



- 1 LAN LINK/ACT ランプ (黄色)
接続時に点灯します。
送受信時に点滅します。
- 2 〈LAN〉端子 (10BASE-T/100BASE-TX)
LAN ケーブルを接続します。
- 3 LAN10/100 ランプ (緑色)
100BASE-TX 接続時に点灯します。

お願い

- プロジェクターに直接接続する LAN ケーブルは、屋内だけで配線してください。
- 〈LAN〉端子の両サイドに位置している 〈HDMI IN〉端子および 〈USB B (DISPLAY)〉端子にケーブルを接続しているときは、〈LAN〉端子に接続されている LAN ケーブルの取り外しが難しくなる場合があります。LAN ケーブルを取り外すときは、あらかじめ、〈HDMI IN〉端子または 〈USB B (DISPLAY)〉端子に接続しているケーブルを取り外してください。

お知らせ

- 有線 LAN でネットワーク機能を使用する場合は、LAN ケーブルが必要です。
- LAN ケーブルはカテゴリ 5 以上対応のものをご使用ください。
- LAN ケーブル長は 100 m 以下のものをご使用ください。

本機の設定

- 1) 本機とコンピューターを LAN ケーブル (ストレート) で接続する
- 2) 本機の電源を入れる
- 3) [拡張設定] メニュー → [ネットワーク] → [ネットワーク設定] の設定を行う
 - 詳細については、[拡張設定] メニュー → [ネットワーク] (👁️ 68 ページ) をご覧ください。

お知らせ

- 既存のネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者に確認してから行ってください。
- 有線 LAN と無線 LAN を同一セグメントで使用することはできません。
- 工場出荷時には、あらかじめ次の設定がされています。

[DHCP]	オフ
[IP アドレス]	192.168.1.100
[サブネット]	255.255.255.0
[ゲートウェイ]	192.168.1.1
[DNS]	192.168.1.1

コンピューターの設定

- 1) コンピューターの電源を入れる
- 2) ネットワーク管理者の指示に従い、ネットワークの設定を行う
 - プロジェクターの設定が工場出荷の状態であれば、コンピューター側のネットワーク設定を次のようにすると、そのままお使いになれます。

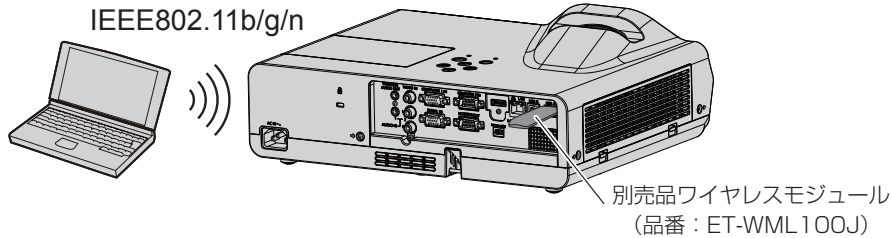
[IP アドレス]	192.168.1.101
[サブネット]	255.255.255.0
[ゲートウェイ]	192.168.1.1

無線 LAN で接続する場合

無線 LAN でネットワーク機能を使用する場合は、別売品のワイヤレスモジュール（品番：ET-WML100J）が必要です。

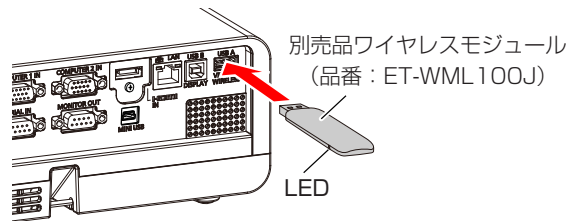
- 無線 LAN を使って接続できるプロジェクターは 1 台のみです。

接続例

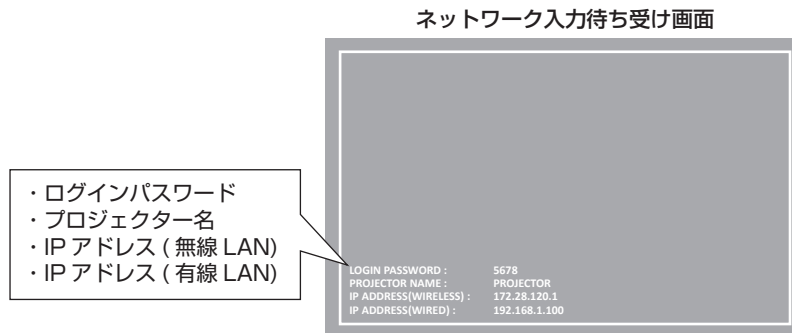


本機の準備と確認

- 1) 本機の電源を入れる
- 2) 別売品のワイヤレスモジュール（品番：ET-WML100J）を〈USB A (VIEWER/WIRELESS)〉端子にしっかりと奥まで挿す



- 3) リモコンの〈MEMORY VIEWER/USB DISPLAY/NETWORK〉ボタンを押して入力をネットワークに切り換える
 - ネットワーク入力の待ち受け画面が表示されます。待ち受け画面には、ログインパスワード（自動生成される 4 桁の数字）、プロジェクター名:PROJECTOR（固定）、IP アドレス（無線 LAN）、IP アドレス（有線 LAN）が表示されます。
 - 本体操作部の〈INPUT/ENTER〉ボタンを押して入力選択画面を表示したうえで、▲▼ ボタンで [ネットワーク] に切り換えることもできます。



お願い


- ワイヤレスモジュールを装着した状態で本機を移動したり運搬したりしないでください。ワイヤレスモジュールが破損するおそれがあります。
- ワイヤレスモジュールの青色 LED は、本機がスタンバイ状態では消灯し、電源オン時点灯し、無線通信中は点滅します。LED が点滅中は取り外さないでください。
- ネットワーク入力時に無効な操作をすると、キー操作無効を示すアイコン が表示されます。この場合は〈MENU〉ボタンを押して、メニュー項目から各機能を実行してください。

お知らせ

- プロジェクター名は、「PROJECTOR」固定で変更できません。
- 無線 LAN と有線 LAN を同一セグメントで使用することはできません。
- ワイヤレスモジュールは、次の設定がされています。

[SSID]	NetworkDisplay
[チャンネル]	1
[IP アドレス]	172.28.120.1
[サブネット]	255.255.255.0
[ゲートウェイ]	0.0.0.0
[アクセスポイント暗号化]	なし

コンピューターの設定

- 1) コンピューターの電源を入れる
- 2) ネットワーク管理者の指示に従い、ネットワークの設定を行う
 - ネットワーク管理者の指示に従って、コンピューターと本機の各ネットワーク項目の設定を行ってください。
- 3) 本機に設定されているネットワークに接続する
 - Windows コンピューターの場合、タスクトレイ（コンピューター画面の右下）の  をクリックして、本機に設定されている [SSID] と同じ名前を選択してください。
 - [SSID] は、本機の [拡張設定] → [ネットワーク] の [ネットワーク情報] で確認してください。

お知らせ

- OS 標準の無線 LAN 接続ユーティリティを使用する場合は、使用するユーティリティの操作手順に従って接続してください。

「Presenter Light ソフトウェア」について

(無線 LAN 接続する場合は、別売品のワイヤレスモジュール (品番: ET-WML100J) が必要です。)

Windows コンピューターに対応した画像転送用のアプリケーションソフト「Presenter Light」を用いて、有線 LAN/ 無線 LAN を介して本機に画像・音声を転送できます*1。

*1 画像・音声転送時に音が途切れたり、雑音が入ったりすることがあります。そのような場合には、アプリケーションソフト側の音声設定で音声出力を [しない] に設定してください。

Presenter Light ソフトウェアをコンピューターにダウンロードする

1) コンピューターの WEB ブラウザーを起動する

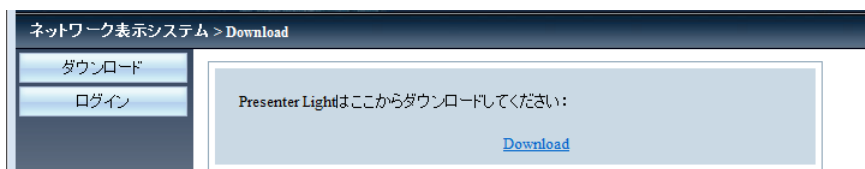
2) WEB ブラウザーの URL 入力欄に本機で設定した IP アドレスを入力する

- [Network Display System] 画面が表示されます。
- ご購入後はじめてログインしたとき、画面は英語で表示されますので、右上のプルダウンメニューで日本語に切り換えてください。



3) [ダウンロード] をクリックする

- 「Presenter Light」のダウンロード画面が表示されます。



4) [Download] をクリックする

- 圧縮ファイル「Presenter Light.zip」のダウンロード確認画面が表示されます。

5) 「Presenter Light.zip」を保存して解凍する

- 解凍すると「Presenter Light」フォルダーが生成され、その下に実行ファイル「Presenter Light.exe」と、Presenter Light ソフトウェアが使用しているオープンソースソフトウェアのライセンスを収録した「License」フォルダーが展開されます。
- Presenter Light ソフトウェアを使用の際は直接「Presenter Light.exe」を実行するので、起動に便利な所に保存したり、ショートカットを作成したりしてください。コンピューターへのインストールは不要です。

お知らせ

- Presenter Light ソフトウェアの使用法と最新バージョンのダウンロードについては、弊社 WEB サイト (<https://panasonic.biz/cns/projector/>) をご覧ください。

WEB 制御機能について

(無線 LAN 接続する場合は、別売品のワイヤレスモジュール (品番 : ET-WML100J) が必要です。) WEB 制御機能を使用して、コンピューターから下記のような操作ができます。

- 本機の設定と調整
- 本機の状態表示
- 本機が異常時に E メールメッセージを送信

お知らせ

- E メール機能をご使用になる場合は、E メールサーバーと通信する必要があります。あらかじめ E メールが利用できることを確認してください。

設定に使用できるコンピューター

WEB 制御機能を使用するには、WEB ブラウザーが必要です。あらかじめ WEB ブラウザーが使用できることを確認してください。

OS	対応 WEB ブラウザー
Windows	Internet Explorer 11.0 Microsoft Edge
Mac OS	Safari 8.0/9.0/10.0/11.0

WEB ブラウザーから本機を監視・制御する

- 1) コンピューターの WEB ブラウザーを起動する
- 2) WEB ブラウザーの URL 入力欄に本機で設定した IP アドレスを入力する
 - [Network Display System] 画面 (WEB 制御画面) が表示されます。
 - 本機をご購入後はじめてログインしたとき、画面は英語で表示されますので、右上のプルダウンメニューで日本語に切り換えてください。



- 3) [ログイン] をクリックし、[パスワード] 欄にパスワードを入力する
 - 工場出荷時の設定は、ユーザー名 : admin (固定)、パスワード : admin です。

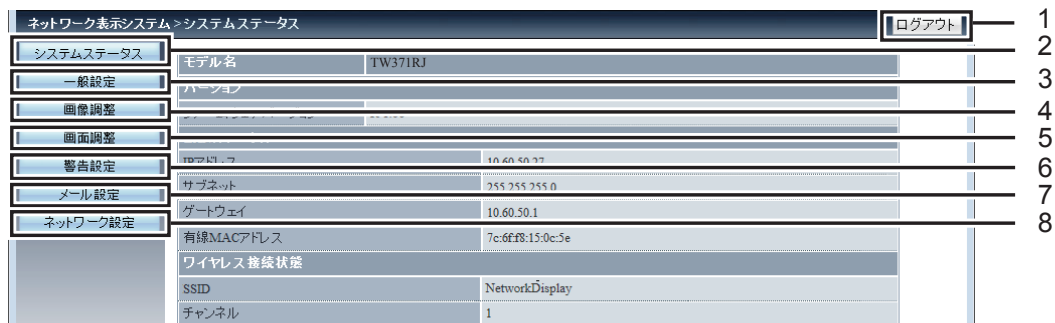


- 4) [ログイン] をクリックする
 - [システムステータス] ページが表示されます。

お願い

- WEB ブラウザーを同時に複数立ち上げて、設定や制御をすることは避けてください。また、複数台のコンピューターから同一のプロジェクトに対して設定や制御をすることも避けてください。
- 最初にパスワードを変更してください。(半角で 8 文字まで) (☞ 84 ページ)
- WEB 制御画面が表示されない場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。

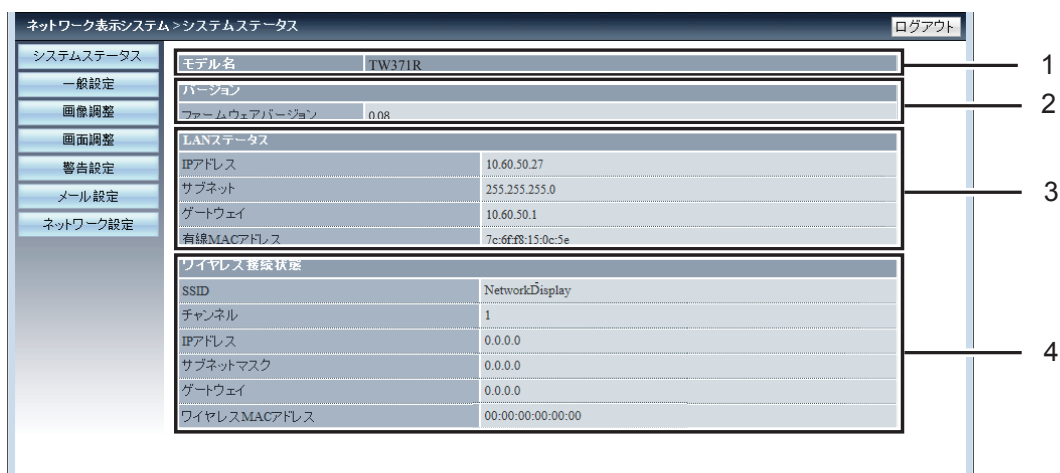
各項目の説明



- | | |
|--|--|
| <p>1 【ログアウト】
クリックして、WEB 制御を終了します。</p> <p>2 【システムステータス】
この項目をクリックすると、[システムステータス] ページが表示されます。</p> <p>3 【一般設定】
この項目をクリックすると、[一般設定] ページが表示されます。</p> <p>4 【画像調整】
この項目をクリックすると、[画像調整] ページが表示されます。</p> <p>5 【画面調整】
この項目をクリックすると、[画面調整] ページが表示されます。</p> | <p>6 【警告設定】
この項目をクリックすると、[警告設定] ページが表示されます。</p> <p>7 【メール設定】
この項目をクリックすると、[メール設定] ページが表示されます。</p> <p>8 【ネットワーク設定】
この項目をクリックすると、[ネットワーク設定] ページが表示されます。</p> |
|--|--|

【システムステータス】 ページ

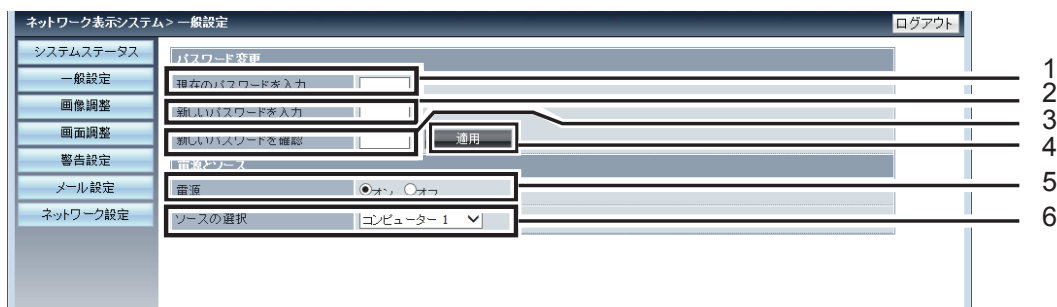
以下の項目における本機の状態を表示します。



- | | |
|--|---|
| <p>1 【モデル名】
本機の品番を表示します。</p> <p>2 【バージョン】
本機のファームウェアバージョンを表示します。</p> | <p>3 【LAN ステータス】
有線 LAN の接続状態を表示します。</p> <p>4 【ワイヤレス接続状態】
無線 LAN の接続状態を表示します。</p> |
|--|---|

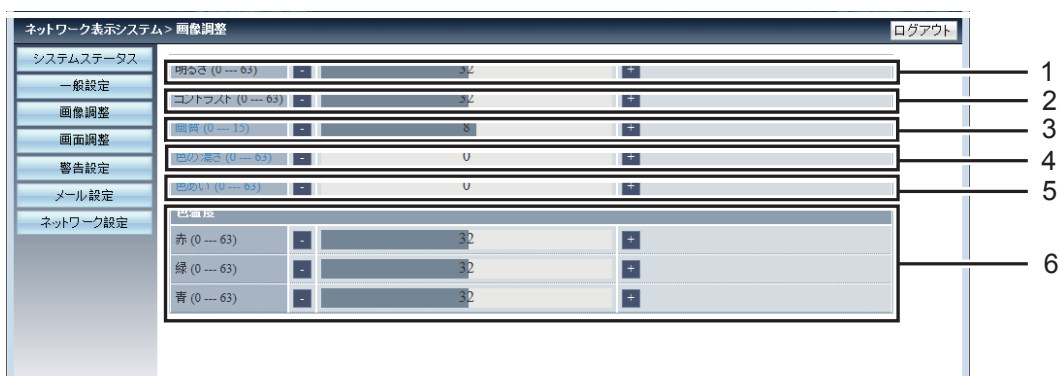
【一般設定】 ページ

WEB 制御機能のパスワードの変更、電源の入 / 切、入力切り換えができます。



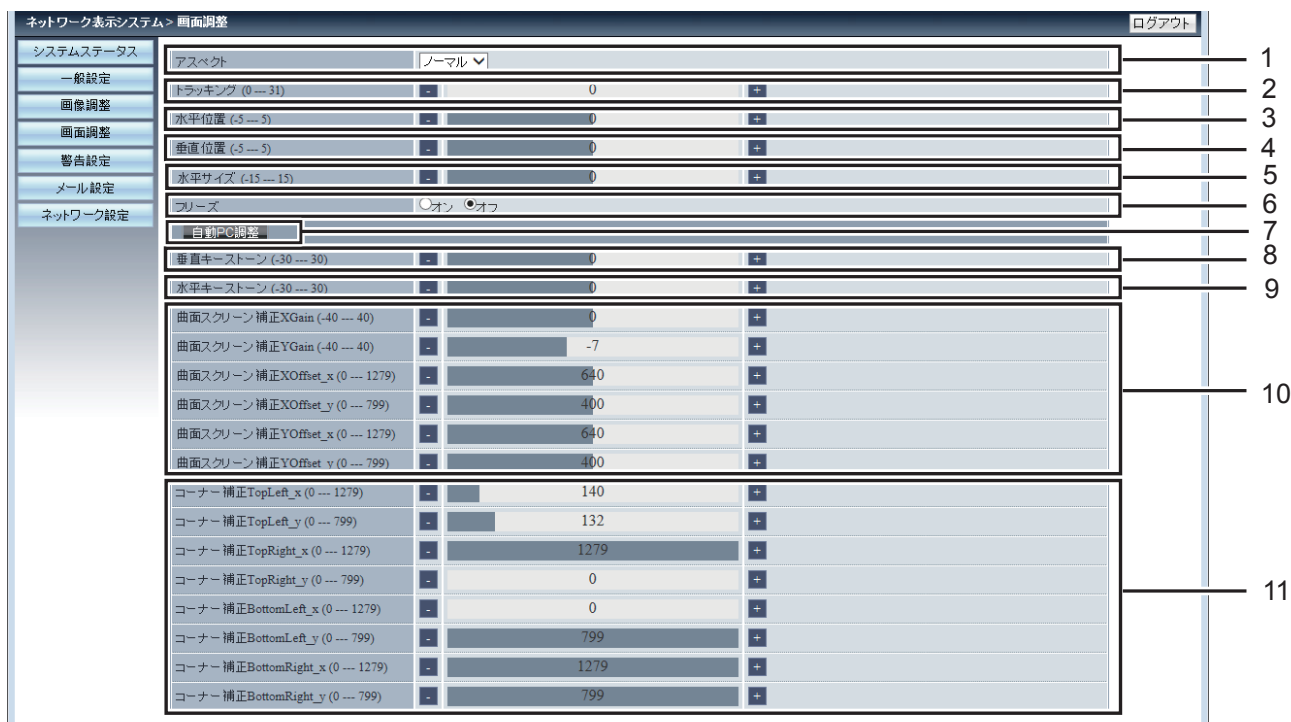
- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 【現在のパスワードを入力】
設定済みのパスワードを入力します。 2 【新しいパスワードを入力】
新しいパスワードを入力します。 3 【新しいパスワードを確認】
確認のため、再度パスワードを入力します。 | <ol style="list-style-type: none"> 4 【適用】
クリックして設定を更新します。 5 【電源】
電源の入（オン） / 切（オフ）を行います。 6 【ソースの選択】
入力を切り換えます。 |
|---|---|

【画像調整】 ページ



- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 【明るさ】
明るさを調整します。 2 【コントラスト】
コントラストを調整します。 3 【画質】
シャープネスを調整します。 | <ol style="list-style-type: none"> 4 【色の濃さ】
色の濃さを調整します。 5 【色あい】
色あいを調整します。 6 【色温度】
色温度を調整します。 |
|---|---|

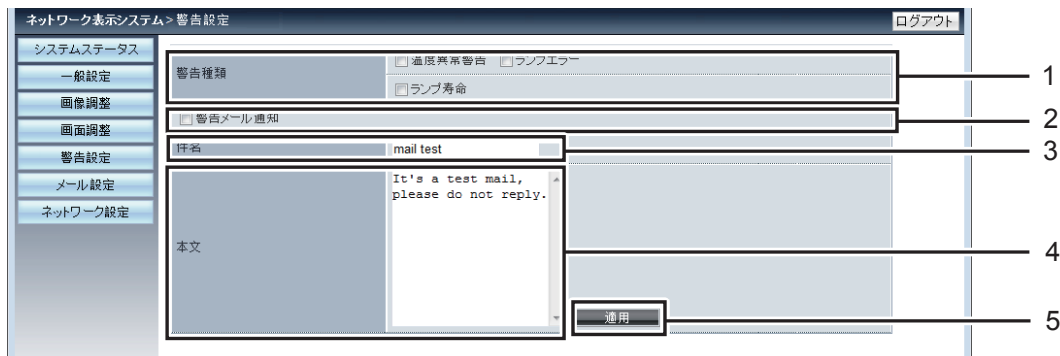
【画面調整】 ページ



- | | |
|---|---|
| <p>1 [アスペクト]
アスペクトを切り換えます。</p> <p>2 [トラッキング]
トラッキングを調整します。</p> <p>3 [水平位置]
水平位置を調整します。</p> <p>4 [垂直位置]
垂直位置を調整します。</p> <p>5 [水平サイズ]
水平サイズを調整します。</p> <p>6 [フリーズ]
静止機能を使用する (オン) / しない (オフ) を切り換えます。</p> | <p>7 [自動 PC 調整]
クリックして自動 PC 調整を実行します。</p> <p>8 [垂直キーストーン]
垂直方向の台形ひずみを補正します。</p> <p>9 [水平キーストーン]
水平方向の台形ひずみを補正します。</p> <p>10 [曲面スクリーン補正]
たる型、または糸巻き型のひずみを補正します。</p> <p>11 [コーナー補正]
コーナーのひずみを補正します。</p> |
|---|---|

[警告設定] ページ

本機の異常を知らせる E メールの内容を設定します。

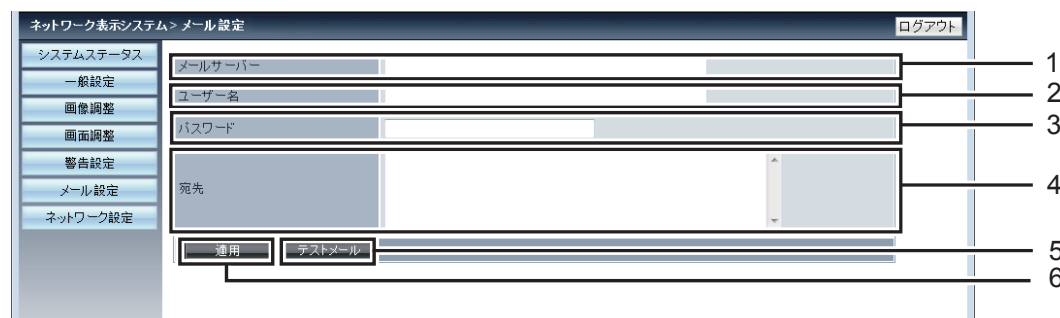


- | | |
|--|---|
| <p>1 [警告種類]
警告の種類を選択します。</p> <p>2 [警告メール通知]
警告メールを発信する場合にチェックします。</p> <p>3 [件名]
Eメールの件名を入力します。(半角で 100 文字まで)</p> | <p>4 [本文]
選択した [警告種類] に関連付けた Eメールの本文を入力します。(半角で 255 文字まで)</p> <p>5 [適用]
[件名] / [本文] を入力し [適用] をクリックすると、内容が保存されます。</p> |
|--|---|

お知らせ

- [件名] / [本文] は、半角英数字以外の文字 (日本語のかなや漢字など) は非対応です。

[メール設定] ページ



- | | |
|--|--|
| <p>1 [メールサーバー]
SMTP メールサーバーの IP アドレスを入力します。(半角で 39 文字まで)</p> <p>2 [ユーザー名]
ユーザー名を入力します。(半角で 19 文字まで)</p> <p>3 [パスワード]
パスワードを入力します。(半角で 19 文字まで)</p> | <p>4 [宛先]
メールの宛先を入力します。複数の宛先を指定する場合は、セミコロン (;) で区切ってください。(半角で 299 文字まで)</p> <p>5 [テストメール]
送信テストをする場合、[テストメール] をクリックするとメールが送信されます。</p> <p>6 [適用]
各項目を入力し [適用] をクリックすると、内容が保存されます。</p> |
|--|--|

お知らせ

- サーバーが拡張 SMTP のログイン認証に対応していない場合、本機の E メール機能は使用できません。
- サーバーが拡張 SMTP に対応していない場合、[ユーザー名] は入力必要ですが、[パスワード] は入力不要です。
- テストメールが送信されない場合、各項目が正しく設定されているか確認してください。

[ネットワーク設定] ページ



1 [LAN の設定]

有線 LAN の項目を設定します。
 [IP アドレスを自動的に取得] / [以下の IP アドレスを使用]
 DHCP クライアント機能を有効にする場合は [IP アドレスを自動的に取得] を選択します。
 [IP アドレス]
 DHCP サーバーを利用しない場合は IP アドレスを入力します。
 [サブネットマスク]
 DHCP サーバーを利用しない場合はサブネットマスクを入力します。
 [ゲートウェイ]
 DHCP サーバーを利用しない場合はデフォルトゲートウェイアドレスを入力します。
 [DNS]
 DHCP サーバーを利用しない場合は DNS サーバーアドレスを入力します。
 入力使用可能文字：数字 (0 ~ 9)、ピリオド (.)、
 (例：192.168.0.253)

2 [ワイヤレス設定]

無線 LAN の項目を設定します。
[ワイヤレス LAN]
 無線 LAN 機能を有効にする場合は [有効] を選択します。
[SSID]
 本機に接続時、SSID の文字列を変更することができます。
[チャンネル]
 使用するチャンネルを [1] ~ [11] から選択します。
[アクセスポイント暗号化]
 暗号化しない場合、[無効] を選択します。
 暗号化する場合、[WPA2PSK_AES] を選択します。
[アクセスポイント暗号化キー]
 暗号キーを入力します。(8 ~ 63 文字の英数字)
 [キーを表示します] にチェックを入れると、入力中の文字列を確認できます。

3 [適用]

クリックして設定を更新します。

お知らせ

- LAN で接続中に LAN 設定を変更すると、接続が途切れる場合があります。
- [ワイヤレス設定] は、[拡張設定] → [初期設定] (69 ページ) を実行すると、工場出荷時の設定に戻ります。
- 工場出荷状態では無線 LAN の暗号化は無効に設定されています。無線 LAN で通信する場合は、セキュリティの観点から、[ワイヤレス設定] の暗号化を [WPA2PSK_AES] に設定することをお勧めします。

第 6 章 点検とお手入れ

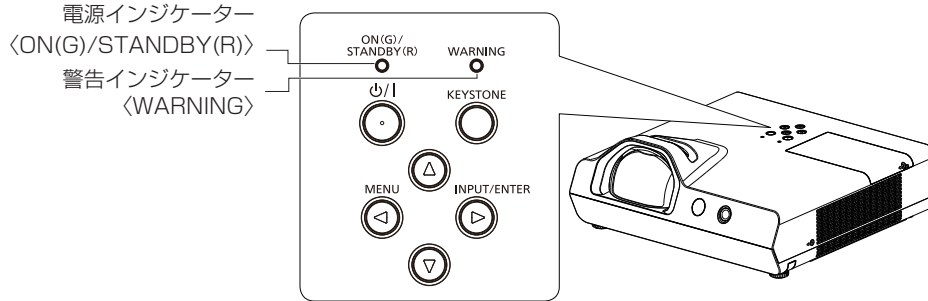
異常時の点検方法とお手入れ / 部品交換の方法について説明しています。


インジケーターで状態を確認する

本機内部に異常が発生すると、電源インジケーター〈ON(G)/STANDBY(R)〉・警告インジケーター〈WARNING〉が点灯や点滅でお知らせします。インジケーターの状態を調べて、次の処置を行ってください。


お願い


- 処置を行う際に電源を切るときは、“電源を切る” (☞ 34 ページ) の手順を必ずお守りください。



電源インジケーター〈ON(G)/STANDBY(R)〉	警告インジケーター〈WARNING〉	状態	お調べください	処置方法
消灯	消灯	電源プラグがコンセントに接続されていません。	—	電源プラグをコンセントに接続してください。
赤色	点滅	赤色点灯	ランプユニットの使用時間が 20 000 時間 ([ランプコントロール] を [💡 (ECO)] に設定時) に達すると点灯します。	● ランプユニットを交換してください。
	点滅	赤色点滅	ランプユニットの使用時間が 22 000 時間 ([ランプコントロール] を [💡 (ECO)] に設定時) に達すると点滅します。	
緑色	点灯	赤色点灯	● 本機の電源を入れたり入力を切り換えたとき、光源ランプ交換警告アイコン  が表示されませんでしたか。 ● ランプユニットの使用時間が 20 000 時間 ([ランプコントロール] を [💡 (ECO)] に設定時) に達すると点灯します。	● ランプユニットを交換してください。
	点灯	赤色点滅	● ランプユニットの使用時間が 22 000 時間 ([ランプコントロール] を [💡 (ECO)] に設定時) に達すると点滅します。	
	点滅	消灯	● [パワーマネージメント] の設定が [待機] になっています。待機中に映像信号を入力すると、またはボタン操作 (電源 〈☰/ 〉 ボタン以外) をすると、光源ランプが点灯して投写状態になります。待機中に電源 〈☰/ 〉 ボタンを押すと、スタンバイ状態になります。(☞ 66 ページ)	

第 6 章 点検とお手入れ – インジケーターで状態を確認する

電源インジケーター (ON(G)/STANDBY(R))	警告インジケーター (WARNING)	状態	お調べください	処置方法
オレンジ色	点灯	消灯	—	<ul style="list-style-type: none"> 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。
	点灯	点灯	—	<ul style="list-style-type: none"> 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。
	点滅	点滅	<ul style="list-style-type: none"> 電源を切ってからすぐに電源を入れ直していませんか。 光源ランプ回路に異常が発生しています。電源電圧が変動(低下)していませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> 光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。
	点滅	消灯	<p>内部が高温になっています。(警告) 更に内部の温度が上昇すると、画面上にフィルター警告アイコン  *1 が表示され、その後自動で電源が切れる場合があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 吸気口 / 排気口がふさがれていませんか。 気温の高い所で使用していませんか。 フィルターが目づまりしていませんか。

*1 [拡張設定] の [フィルターカウンター] で設定した時間にかかわらず、内部温度上昇に伴いフィルター警告アイコン  が表示された場合、内部温度が下がらなければ約 5 分ごとに 10 秒間表示されます。

お知らせ

- 処置をしても警告インジケーター (WARNING) が点灯や点滅する場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。
- 処置をしても電源インジケーター (ON(G)/STANDBY(R)) がオレンジ色に点灯や点滅する場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

お手入れ / 部品交換

お手入れ / 部品交換の前に

- お手入れや部品交換を行うときは、必ず電源を切ってください。(☞ 34 ページ)
- 電源を切るときは、“電源を切る”(☞ 34 ページ)の手順を必ずお守りください。

お手入れ

外装ケース

汚れやほこりはやわらかい乾いた布でふき取ってください。

- 汚れがひどいときは水にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤、または台所用洗剤を使用しないでください。使用すると外装ケースが変質するおそれがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

レンズの前面

レンズの前面に付着したごみやほこりは、清潔なやわらかい乾いた布でふき取ってください。

- 毛羽立った布、油分・水分を含んだ布、ほこりの付いた布でふかないでください。
- レンズは傷つきやすいため、強くこすらないでください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤、または台所用洗剤を使用しないでください。使用するとレンズが変質するおそれがあります。

お願い

- レンズに堅いものを当てたり、レンズの前面を強くふいたりすると傷つくおそれがあります。取り扱いにはご注意ください。





投写中にレンズをふかない

投写中にレンズの前面をふくと、レンズに異物が固着したり、レンズの表面を傷つけたりすることがあります。

エアフィルターユニット

次の場合はエアフィルターのお手入れを行ってください。

- [拡張設定]メニュー → [フィルターカウンター] → [タイマー] で設定した時間が経過し、画面上にフィルター警告アイコン  が表示された場合。
- エアフィルターがほこりなどによって目づまりし、電源インジケーター〈ON(G)/STANDBY(R)〉がオレンジ色点滅をしたり、画面上にフィルター警告アイコン  が表示された後に自動で電源が切れた場合。

お願い

- エアフィルターユニットのお手入れを行う前に、必ず電源を切ってください。
- 必ずプロジェクター本体の安定を確保して、エアフィルターユニットが落下しても安全な場所を実施してください。

エアフィルターユニットの取り外し方

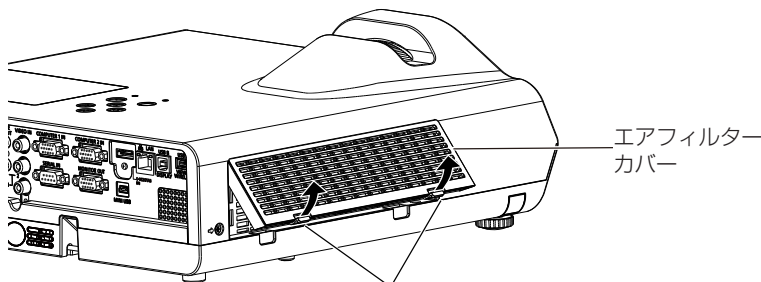


図 1

タブ

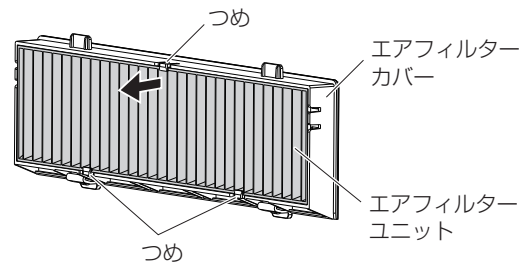


図 2

1) エアフィルターカバーを取り外す (図 1)

- エアフィルターカバーのタブを図の上方向に押しながら本体のフックから外し、図の矢印方向に開けます。

2) エアフィルターユニットを取り出す

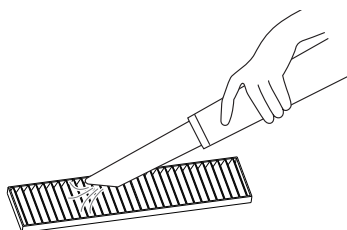
- エアフィルターユニットは 3 か所のつめで固定されています。その内の 1 か所つめがある側のひだをつまみ、エアフィルターカバーから取り出してください。(図 2)
- エアフィルターカバーを取り出したあと、本体側エアフィルターユニット収納部および本体側吸気口にごみやほこりがある場合は取り除いてください。

エアフィルターユニットのお手入れのしかた

あらかじめ前述の“エアフィルターユニットの取り外し方”の手順でエアフィルターユニットを取り外します。

1) エアフィルターユニットを掃除する

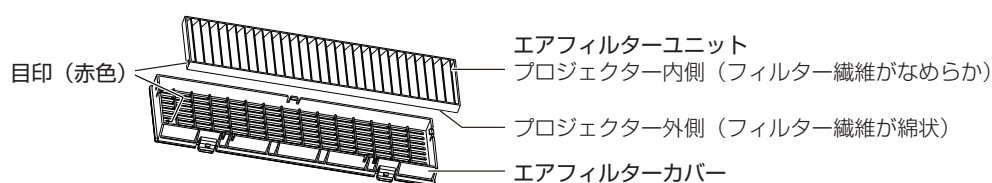
- 掃除機でほこりを吸い取ってください。
- エアフィルターユニットは、水洗いしないでください。



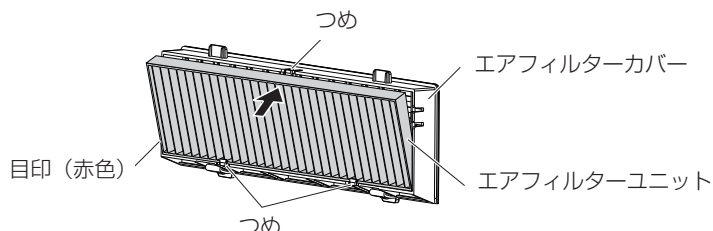
エアフィルターユニットの取り付け方

1) エアフィルターユニットをエアフィルターカバーに取り付ける

- エアフィルターユニットは、表裏の区別があります。エアフィルターユニットの目印（赤色）をエアフィルターユニットカバーの目印（赤色）に合わせてください。



- エアフィルターユニットを、エアフィルターカバーの 2 か所つめのある側に入れたあと、もう一方の 1 か所のつめがある側を押し込んでください。



2) エアフィルターカバーをプロジェクター本体に取り付ける

- “エアフィルターユニットの取り外し方” (91 ページ) の手順 1) と逆の手順で取り付けてください。
- エアフィルターカバーが隙間なく閉まっていることを確認します。

フィルターカウンターのリセットのしかた

エアフィルターユニットを清掃したら、必ず、フィルターカウンターをリセットしてください。

- 1) 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源 (ON) ボタンを押して電源を入れる
- 2) 〈MENU〉ボタンを押してメニュー画面を表示させ、▲▼ボタンで [拡張設定] を選択する
- 3) 本体操作部の 〈INPUT/ENTER〉ボタン、またはリモコンの 〈ENTER〉ボタンを押し、▲▼ボタンで [フィルターカウンター] を選択する
- 4) 本体操作部の 〈INPUT/ENTER〉ボタン、またはリモコンの 〈ENTER〉ボタンを押し、▲▼ボタンで [フィルターカウンターリセット] を選択する
- 5) 本体操作部の 〈INPUT/ENTER〉ボタン、またはリモコンの 〈ENTER〉ボタンを押す
 - [フィルターカウンターリセット] 確認メッセージが表示されます。

- 6) ▲▼ ボタンで [はい] を選択し、本体操作部の〈INPUT/ENTER〉ボタン、またはリモコンの〈ENTER〉ボタンを押す
- [OK ?] 画面が表示されます。
- 7) ▲▼ ボタンで [はい] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
- フィルターカウンターがリセットされ、フィルターの使用時間が 0 時間になります。

お願い

- エアフィルターユニットを分解しないでください。
- 必ずプロジェクター本体の安定を確保して、エアフィルターユニットが落下しても安全な場所で実施してください。
- エアフィルターユニットは必ず正しく取り付けてご使用ください。取り付けずに使用すると、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因になります。

お知らせ

- エアフィルターユニットの清掃後、フィルターカウンターをリセットしないと、実際のフィルター使用時間が確認できなくなります。
- エアフィルターユニットが破損した場合や汚れが目立つ場合は、新しい別売品の交換用フィルターユニット（品番：ET-RFL300）に交換してください。

部品交換

ランプユニット

ランプユニットは消耗部品です。交換時期については、“ランプユニットの交換時期”（☞ 93 ページ）をご覧ください。

別売品の交換用ランプユニット（品番：ET-LAL510）をご購入の際は、販売店にご相談ください。



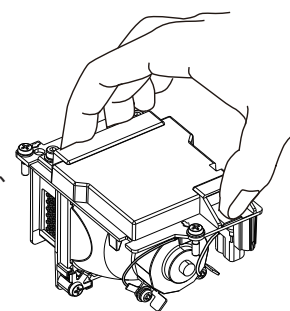
警告



ランプユニットの交換は、光源ランプが冷えてから（1 時間以上待ってから）行う
カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。

ランプユニットの交換上のおお願い

- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。
- 光源ランプはガラス部品ですので、堅い物に当てたり落下させたりすると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- ランプユニットを分解したり、改造したりしないでください。
- ランプユニットの表面はとがっていたり、引っ掛かったりする形状ですので、交換する際は必ずランプユニットの取っ手を持って取り扱ってください。
- 光源ランプは破裂することがあります。光源ランプのガラス破片が飛散しないように、ランプユニットは慎重に交換してください。また、本機を天井に取り付けている場合は、ランプユニットの真下で交換作業をしたり、顔を近づけたりしないでください。
- 光源ランプには水銀が含まれています。取り外した古いランプユニットを廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口、または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。



お願い

- 当社製以外のランプユニットの使用による製品の損傷や不具合などの問題については責任を負いかねます。必ず、指定のランプユニットを使用してください。

お知らせ

- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。

ランプユニットの交換時期

ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過にともない、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。

光源ランプの使用時間は、[インフォメーション]（☞ 72 ページ）の [ランプカウンター] に表示されます。

交換の目安は、[ランプカウンター] の表示時間で 20 000 時間ですが、光源ランプ個々の特性、使用条件、設置環境などの影響を受けて、上記の時間に達する前に点灯しなくなる場合があります。早めの交換用ランプユニットの準備をお勧めします。

なお、[ランプカウンター] の表示時間は、[ランプコントロール] を [💡 (ノーマル)]、[💡 (ECO)]、[💡 (静音)] それぞれの設定で使用した時間を [💡 (ECO)] での使用時間に換算し、その合計が表示されます。個別に表示されませんので、ご注意ください。

$$\begin{aligned} \text{[ランプカウンター] の表示時間} = & \text{[💡 (ノーマル)] での使用時間} \times 2 + \text{[💡 (ECO)] での使用時間} \\ & + \text{[💡 (静音)] での使用時間} \times 2 \end{aligned}$$

[ランプカウンター] の表示時間が 20 000 時間のときの実際の使用時間は、







[ランプコントロール] を [💡 (ノーマル)] の設定で連続使用した場合 = 10 000 時間

[ランプコントロール] を [💡 (ECO)] の設定で連続使用した場合 = 20 000 時間

[ランプコントロール] を [💡 (静音)] の設定で連続使用した場合 = 10 000 時間

です。

本機では、[ランプカウンター] の表示時間が 22 000 時間を過ぎても交換しないまま使用し続けると、故障の原因となるため、電源を入れた後約 10 分後に自動消灯します。

ランプカウンター 表示時間	オンスクリーン表示	警告インジケーター (WARNING)
19 700 時間 ~ 20 000 時間	<ul style="list-style-type: none"> 光源ランプ交換アイコン  が 10 秒間表示されます。10 秒内に本体操作部またはリモコンのいずれかのボタンを押せば、表示が消えます。 電源を入れたり入力を切り換えたとき、光源ランプ交換アイコン  が 4 秒間表示されます。 	—
20 000 時間 ~ 22 000 時間	<ul style="list-style-type: none"> 光源ランプ交換警告アイコン  が 10 秒間表示されます。10 秒内に本体操作部またはリモコンのいずれかのボタンを押せば、表示が消えます。 電源を入れたり入力を切り換えたとき、光源ランプ交換警告アイコン  が 4 秒間表示されます。 	赤色点灯します。 (スタンバイ時は不灯)
22 000 時間以降	<ul style="list-style-type: none"> 光源ランプ交換警告アイコン  が 10 秒間表示されます。10 秒内に本体操作部またはリモコンのいずれかのボタンを押せば、表示が消えます。 電源を入れたり入力を切り換えたとき、光源ランプ交換警告アイコン  が 4 秒間表示されます。 電源を入れた後約 10 分後に自動消灯します。 	赤色点滅します。 (スタンバイ時は不灯)

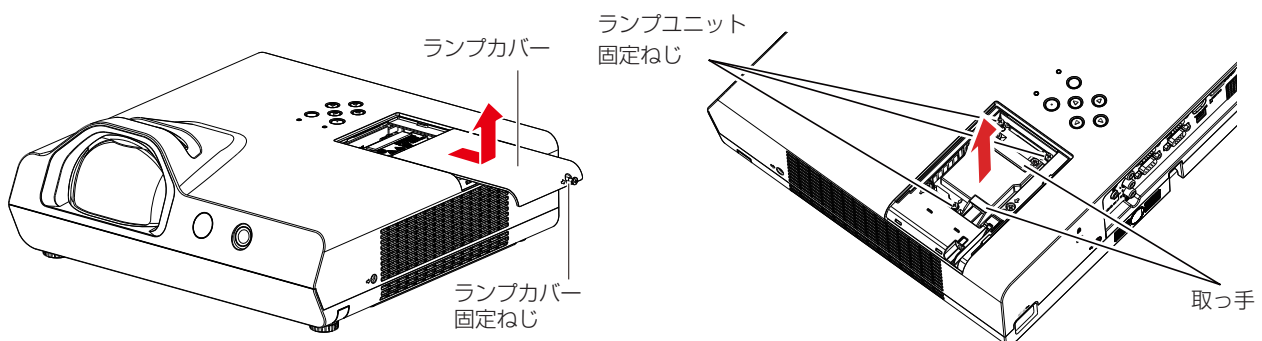
お知らせ

- 光源ランプ交換アイコン、光源ランプ交換警告アイコンは、画面を静止または AV ミュート状態にしているときは表示されません。
- [ランプカウンター] の表示時間の 20 000 時間は交換の目安であり、保証時間ではありません。保証時間については「保証とアフターサービス」(☞ 108 ページ) をご覧ください。

ランプユニットの交換手順

お願い

- 本機を天井に取り付けている場合、ランプユニットの近辺で顔を近づけて作業しないでください。
- ランプユニットの交換時は、指定のねじ以外は取り外したり、緩めたりしないでください。
- ランプユニットや、ランプカバーは確実に取り付けてください。



- 1) “電源を切る” (☞ 34 ページ) の手順に従い、本機の電源を切った後、コンセントから電源プラグを抜く
 - 1 時間以上待ってランプユニット近辺が冷えていることを確認します。
- 2) ランプカバー固定ねじをプラスドライバーで空回りするまで回し、ランプカバーを取り外す
 - ランプカバーを取り外す際は、上図に示すように矢印の方向にゆっくりと引いてください。

- 3) ランプユニット固定ねじ (3 本) をプラスドライバーで空回りするまで回す
- 4) ランプユニットの取っ手部分を持ち、ゆっくりと本体から引き出す
- 5) 新しいランプユニットを確実に挿入し、ランプユニット固定ねじ (3 本) をプラスドライバーでしっかりと締めつける
 - ランプユニットが取り付けにくいときは、ランプユニットをいったん取り外してから入れ直してください。無理に押し込むとコネクター部分が破損する場合があります。
- 6) ランプカバーを取り付け、ランプカバーの固定ねじをプラスドライバーでしっかりと締めつける
 - ランプカバーは、手順 2) の矢印と逆方向にゆっくりと取り付けてください。

ランプカウンターのリセットのしかた

ランプユニットを交換したら、必ず、ランプカウンターをリセットしてください。

- 1) 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源 (ON) ボタンを押して電源を入れる
- 2) 本体操作部の ▲ ボタンを押しながら、〈INPUT/ENTER〉 ボタンを 8 秒以上長押しする
 - ランプカウンターがリセットされ、光源ランプの使用時間が 0 時間になります。(このとき、表示などはありません。)
- 3) リモコンの 〈INFO.〉 ボタンを押す
 - [インフォメーション] 画面が表示されます。
 - [ランプカウンター] の表示が [0 時間] になっていることを確認します。
 - リセットされていない場合は、手順 2) からやり直してください。

お知らせ

- ランプユニットの交換後、ランプカウンターをリセットしないと、実際の光源ランプ使用時間 (換算時間) が確認できなくなります。

エアフィルターユニット

掃除をしてもほこりが取れなくなったら交換時期です。

交換用フィルターユニット (ET-RFL300) は別売品 (サービス部品扱い) です。ご購入の際は販売店にご相談ください。

エアフィルターユニットの交換手順

お願い

- エアフィルターユニットの交換を行う前に、必ず電源を切ってください。
- 必ずプロジェクター本体の安定を確保して、エアフィルターユニットが落下しても安全な場所で実施してください。

- 1) エアフィルターカバーを取り外す
 - “エアフィルターユニットの取り外し方” (☞ 91 ページ) をご覧ください。
- 2) エアフィルターユニットを取り出す
 - “エアフィルターユニットの取り外し方” (☞ 91 ページ) をご覧ください。
- 3) 別売品の交換用フィルターユニット (品番: ET-RFL300) をエアフィルターカバーに取り付ける
 - “エアフィルターユニットの取り付け方” (☞ 92 ページ) をご覧ください。
- 4) エアフィルターカバーをプロジェクター本体に取り付ける
 - “エアフィルターユニットの取り付け方” (☞ 92 ページ) をご覧ください。
- 5) フィルターカウンターをリセットする
 - “フィルターカウンターのリセットのしかた” (☞ 92 ページ) をご覧ください。

お願い


- プロジェクターを使用するときは、必ずエアフィルターユニットを取り付けてください。取り付けずに使用すると、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因になります。
- エアフィルターユニットは必ず未使用品と交換してください。

お知らせ

- エアフィルターユニットが目づまりするまでの時間は、使用環境によって大きく異なります。
- エアフィルターユニットの交換後、フィルターカウンターをリセットしないと、実際のフィルター使用時間が確認できなくなります。

故障かな！？

もう一度次の点をお調べください。詳しくは、対応するページをご覧ください。

症状	ここをお調べください	ページ
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	—
	● 電源プラグを差し込んでいるコンセントは通電していますか。	—
	● ブレーカーが落ちていませんか。	—
	● 電源インジケータ 〈ON(G)/STANDBY(R)〉 または警告インジケータ 〈WARNING〉 が点灯または点滅していませんか。	89
	● ランプカバーは確実に取り付けられていますか。	95
映像が映らない	● 外部機器との接続は正しく行われていますか。	28 ~ 30
	● 映像入力は正しく選択されていますか。	35
	● [明るさ] の調整が最小になっていませんか。	51
	● 本機に接続している外部機器は、正常に動作していますか。	—
	● AV ミュート機能を使用していませんか。	39
映像がボヤけている	● レンズのフォーカスは合っていますか。	36
	● レンズが汚れていませんか。	15
	● 本機とスクリーンの位置関係は正しく設置されていますか。	—
色が薄い / 色あいが悪い	● [色の濃さ]、[色あい] は正しく調整されていますか。	52
	● 本機に接続している外部機器は正しく調整されていますか。	—
	● コンピューターケーブルが切れていませんか。	—
内蔵スピーカーから音が出ない	● 音声入力端子に外部機器が正しく接続されていますか。	28 ~ 30
	● 音量が最小レベルになっていませんか。	40、56
	● AV ミュート機能を使用していませんか。	39
	● 消音機能を使用していませんか。	40、56
	● 〈VARIABLE AUDIO OUT〉 端子にケーブルを接続していると、内蔵スピーカーから音はでません。	29 ~ 30
リモコンがはたらかない	● 乾電池が消耗していませんか。	—
	● 乾電池の極性は正しくセットされていますか。	22
	● リモコンと本体のリモコン受信部の間に障害物はありませんか。	19
	● リモコン操作有効範囲を超えた場所でリモコンを操作していませんか。	19
	● 蛍光灯などの影響を受けていませんか。	19
	● [設定] の [キーロック] でリモコンからの操作が無効に設定されていませんか。	55
	● リモコンコードの設定の操作を間違えていませんか。	41
本体操作部のボタンがはたらかない	● [設定] の [キーロック] で本体操作部からの操作が無効に設定されていませんか。	55
正常な映像が映らない	● ビデオテープなど、映像出力側に異常はありませんか。	—
	● 本機が対応できない信号を入力していませんか。	102 ~ 103
	● コンピューターの出力は、正しく設定されていますか。	—
コンピューターからの映像が映らない	● ケーブルが長くありませんか。(D-Sub ケーブルの場合は 10 m 以下にしてください。)	—
● ノート型コンピューターの外部映像出力が、正しく設定されていますか。	—	
HDMI 対応機器の映像が映らない、乱れる	● HDMI ケーブルが確実に接続されていますか。	28 ~ 30
	● 本機の電源および外部機器の電源を切 / 入してください。	—
	● 本機が対応できない信号を入力していませんか。	102 ~ 103
HDMI 対応機器の音が出ない	● 接続機器の音声をリニア PCM に設定してください。	—
	● コンピューターから HDMI-DVI 変換ケーブルで 〈HDMI IN〉 端子に入力した場合は、[HDMI セットアップ] の [サウンド] を [コンピューター] に設定して、アナログ音声信号を 〈AUDIO IN 1〉 端子に接続してください。	30、57
ボタンを押したとき  が表示された	● 本機がその操作を受け付けられないことをお知らせする表示です。接続や入力信号などを確認して、正しく操作してください。	—

お願い

- 表の内容を確認後、正常に動作しない場合は販売店にご相談ください。

第 7 章 その他

本機の仕様やアフターサービスについて説明しています。

付録

PJLink プロトコルを使用する

本機のネットワーク機能は PJLink クラス 1 に対応しており、PJLink プロトコルを使用してコンピューターからプロジェクターの設定や、プロジェクターの状態問い合わせの操作ができます。

対応コマンド

PJLink プロトコルで本機を制御する際のコマンドです。

- 表内の x は任意の文字です。

コマンド	制御内容	パラメーター / 応答文字列	備考	
POWR	電源制御	0 1	スタンバイ 電源入	
POWR?	電源状態問い合わせ	0 1 2 3	スタンバイ 電源入 電源を切る準備中 ウォームアップ中	
INPT	入力切り換え	11 12 21 22	コンピューター 1 コンピューター 2 ビデオ S-video	
INPT?	入力切り換え問い合わせ	23 31 41 51 52	Component HDMI メモリービューワー USB ディスプレイ ネットワーク	
AVMT	AV ミュート / ミュート制御	10 11 20	映像ミュート機能 オフ 映像ミュート機能 オン 音声ミュート機能 オフ	
AVMT?	AV ミュート / ミュート状態問い合わせ	21 30 31	音声ミュート機能 オン AV ミュート機能 オフ AV ミュート機能 オン	
ERST?	エラー状態問い合わせ	xxxxxx	1 バイト目 0 と応答します 2 バイト目 光源ランプエラーを意味し、0 ~ 2 で応答します 3 バイト目 温度エラーを意味し、0 ~ 2 で応答します 4 バイト目 0 と応答します 5 バイト目 0 と応答します 6 バイト目 0 と応答します	<ul style="list-style-type: none"> ● 0= エラーを検知していない ● 1= 警告 ● 2= エラー
LAMP?	光源ランプ状態問い合わせ	xxxxx x	1 つ目の数字 (1 ~ 5 桁) : 光源ランプ使用時間 2 つ目の数字 : 0= 光源ランプ 消灯、1= 光源ランプ 点灯	
INST?	入力切り換え一覧問い合わせ	11 12 21 22 23 31 41 51 52		
NAME?	プロジェクター名問い合わせ	PROJECTOR		
INF1?	メーカー名問い合わせ	Panasonic	メーカー名を応答します	
INF2?	機種名問い合わせ	TW371RJ	機種名を応答します	
INFO?	その他情報問い合わせ	xxxxx	バージョン番号などを応答します	
CLSS?	クラス情報問い合わせ	1	PJLink のクラスを応答します	

PJLink セキュリティー認証

PJLink で使用するパスワードは、WEB 制御で設定したパスワードと同じです。

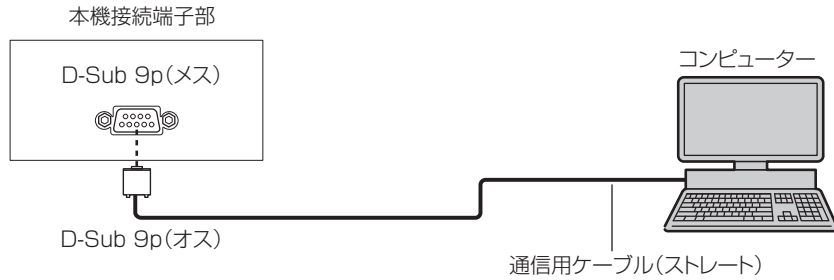
認証なしで使用する場合は、WEB 制御機能のパスワードをなしに設定してください。

- PJLink に関する仕様については、(社) ビジネス機械・情報システム産業協会の WEB サイトをご覧ください。
URL <http://pjlink.jbmia.or.jp/>

〈SERIAL IN〉 端子について

本機の接続端子部の〈SERIAL IN〉端子は RS-232C に準拠しており、コンピューターと接続して本機をコンピューターで制御できます。

接続



ピン配列と信号名

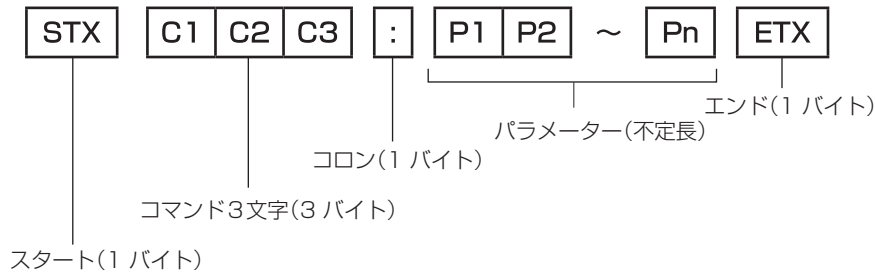
D-Sub 9 ピン (メス) 外側から見た図	ピン No.	信号名	内容
	(1)	—	NC
	(2)	TXD	送信データ
	(3)	RXD	受信データ
	(4)	—	NC
	(5)	GND	グラウンド
	(6)	—	NC
	(7)	CTS	内部で接続されています
	(8)	RTS	
	(9)	—	NC

通信条件

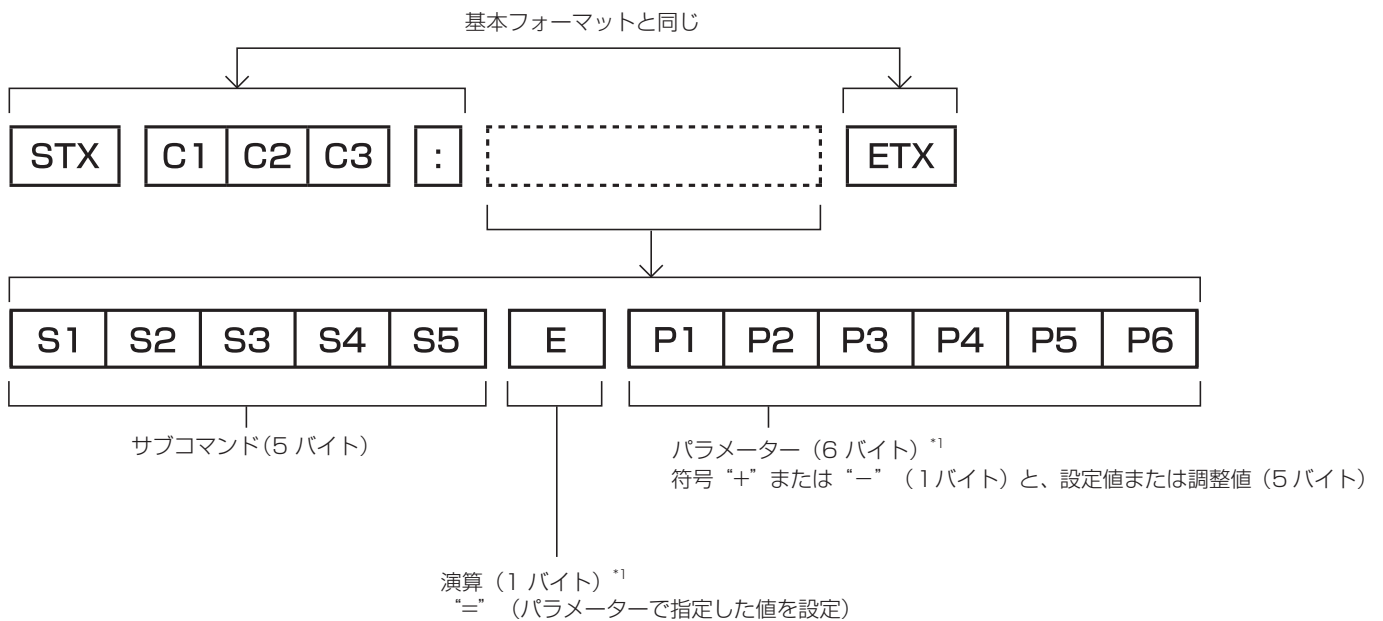
信号レベル	RS-232C 準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	19 200 bps
パリティ	なし
キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
X パラメーター	なし
S パラメーター	なし

基本フォーマット

コンピューターからの伝送は STX で開始され、続いてコマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。



基本フォーマット (サブコマンドあり)



*1 パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、演算 (E) とパラメーターは必要ありません。

お願い

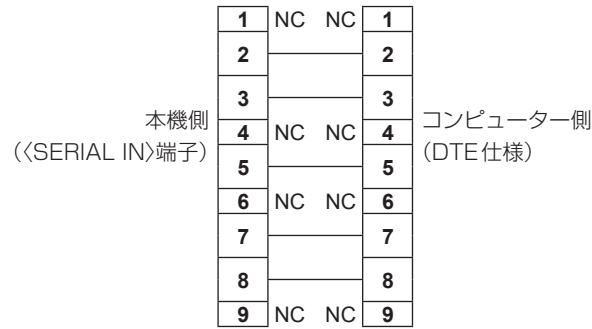
- 光源ランプの点灯開始直後にコマンドを送信すると、応答が遅く返ってきたり、コマンドが実行できなったりすることがあります。60 秒経過後に送受信してください。
- 複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから 0.5 秒以上経過後に次のコマンドを送信してください。パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン (:) は必要ありません。

お知らせ

- コマンドが実行できない場合、本機から「ER401」という応答がコンピューター側に送信されます。
- 無効なパラメーターを送信すると、本機から「ER402」という応答がコンピューター側に送信されます。
- STX と ETX はキャラクターコードです。STX は 16 進数で表すと 02、ETX は 16 進数で表すと 03 となります。

ケーブル仕様

コンピューターと接続する場合



制御コマンド

コンピューターで本機を制御する際のコマンドです。

■ 操作コマンド

コマンド	内容	パラメーター / 応答文字列	備考 (パラメーター)
PON	電源入	—	電源が入っているかを確認する場合は、“電源状態問い合わせ” コマンドを使用してください。
POF	電源スタンバイ		
IIS	入力信号切り換え	VID SVD RG1 RG2 HD1 CP1 MV1 UD1 NWP	ビデオ S-video コンピューター 1 コンピューター 2 HDMI Component メモリービューワー USB ディスプレイ ネットワーク
AUU	音量アップ	—	—
AUD	音量ダウン	—	—
OSH	AV ミュート機能	—	コマンドを送信するごとに オン / オフ が切り換わります。短時間での オン / オフ の切り換えは行わないでください。
AMT	ミュート機能	0	オフ
		1	オン
QPW	電源状態問い合わせ	000	スタンバイ
		001	電源入
Q\$S	光源ランプ点灯状態問い合わせ	0	スタンバイ
		1	光源ランプ点灯制御中
		2	光源ランプ点灯
		3	光源ランプ消灯制御中

対応信号リスト

本機が投写できる映像信号です。

- フォーマットを表す記号は次のとおりです。
 - V : VIDEO, Y/C
 - R : RGB (アナログ)
 - Y : YC_BC_R/YP_BP_R (アナログ)
 - H : HDMI

対応信号	解像度 (ドット)	走査周波数		ドットクロック 周波数 (MHz)	フォーマット ^{*1}	プラグアンドプレイ対応 ^{*2}	
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)			COMPUTER1/ COMPUTER2	HDMI
NTSC/NTSC4.43/ PAL-M/PAL60	720 x 480i	15.7	59.9	—	V	—	—
PAL/PAL-N/SECAM	720 x 576i	15.6	50.0	—	V	—	—
480/60i	720 x 480i	15.7	59.9	13.5	R/Y	—	—
576/50i	720 x 576i	15.6	50.0	13.5	R/Y	—	—
480/60i	720 (1 440) x 480i ^{*3}	15.7	59.9	27.0	H	—	✓
576/50i	720 (1 440) x 576i ^{*3}	15.6	50.0	27.0	H	—	✓
480/60p	720 x 483	31.5	59.9	27.0	R/Y/H	—	✓
576/50p	720 x 576	31.3	50.0	27.0	R/Y/H	—	✓
720/60p	1 280 x 720	45.0	60.0	74.3	R/Y/H	—	✓
720/50p	1 280 x 720	37.5	50.0	74.3	R/Y/H	—	✓
1080/60i	1 920 x 1 080i	33.8	60.0	74.3	R/Y/H	—	✓
1080/50i	1 920 x 1 080i	28.1	50.0	74.3	R/Y/H	—	✓
1080/24p	1 920 x 1 080	27.0	24.0	74.3	R/Y/H	—	✓
1080/24sF	1 920 x 1 080i	27.0	48.0	74.3	R/Y/H	—	—
1080/25p	1 920 x 1 080	28.1	25.0	74.3	R/Y/H	—	—
1080/30p	1 920 x 1 080	33.8	30.0	74.3	R/Y/H	—	—
1080/60p	1 920 x 1 080	67.5	60.0	148.5	R/Y/H	—	✓
1080/50p	1 920 x 1 080	56.3	50.0	148.5	R/Y/H	—	✓
640 x 480/60	640 x 480	31.5	59.9	25.2	R/H	✓	✓
640 x 480/67	640 x 480	35.0	66.7	30.2	R/H	—	—
640 x 480/73	640 x 480	37.9	72.8	31.5	R/H	✓	✓
640 x 480/75	640 x 480	37.5	75.0	31.5	R/H	✓	✓
640 x 480/85	640 x 480	43.3	85.0	36.0	R/H	—	—
800 x 600/56	800 x 600	35.2	56.3	36.0	R/H	✓	✓
800 x 600/60	800 x 600	37.9	60.3	40.0	R/H	✓	✓
800 x 600/72	800 x 600	48.1	72.2	50.0	R/H	✓	✓
800 x 600/75	800 x 600	46.9	75.0	49.5	R/H	✓	✓
800 x 600/85	800 x 600	53.7	85.1	56.3	R/H	—	—
832 x 624/75	832 x 624	49.7	74.6	57.3	R/H	✓	✓
1024 x 768/60	1 024 x 768	48.4	60.0	65.0	R/H	✓	✓
1024 x 768/70	1 024 x 768	56.5	70.1	75.0	R/H	✓	✓
1024 x 768/75	1 024 x 768	60.0	75.0	78.8	R/H	✓	✓
1024 x 768/85	1 024 x 768	68.7	85.0	94.5	R/H	—	—
1152 x 864/75	1 152 x 864	67.5	75.0	108.0	R/H	—	—
1152 x 870/75	1 152 x 870	68.7	75.1	100.0	R/H	✓	✓
1280 x 720/50	1 280 x 720	37.1	49.8	60.5	R/H	—	—
1280 x 720/60	1 280 x 720	44.8	59.9	74.5	R/H	—	—
1280 x 768/60	1 280 x 768	47.8	59.9	79.5	R/H	—	—
1280 x 768/75	1 280 x 768	60.3	74.9	102.3	R/H	—	—
1280 x 768/85	1 280 x 768	68.6	84.8	117.5	R/H	—	—
1280 x 800/50	1 280 x 800	41.3	50.0	68.0	R/H	—	—
1280 x 800/60	1 280 x 800	49.7	59.8	83.5	R/H	✓	✓

第 7 章 その他 — 付録

対応信号	解像度 (ドット)	走査周波数		ドットクロック 周波数 (MHz)	フォーマット ^{*1}	プラグアンドプレイ対応 ^{*2}	
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)			COMPUTER1/ COMPUTER2	HDMI
1280 x 800/75	1 280 x 800	62.8	74.9	106.5	R/H	—	—
1280 x 800/85	1 280 x 800	71.6	84.9	122.5	R/H	—	—
1280 x 960/60	1 280 x 960	60.0	60.0	108.0	R/H	✓	✓
1280 x 1024/60	1 280 x 1 024	64.0	60.0	108.0	R/H	✓	✓
1280 x 1024/75	1 280 x 1 024	80.0	75.0	135.0	R/H	✓	✓
1280 x 1024/85	1 280 x 1 024	91.1	85.0	157.5	R/H	—	—
1366 x 768/50	1 366 x 768	39.6	49.9	69.0	R/H	—	—
1366 x 768/60	1 366 x 768	47.7	59.8	85.5	R/H	—	—
1400 x 1050/60	1 400 x 1 050	65.3	60.0	121.8	R/H	—	—
1400 x 1050/75	1 400 x 1 050	82.3	74.9	156.0	R/H	—	—
1440 x 900/60	1 440 x 900	55.9	59.9	106.5	R/H	—	—
1600 x 900/60	1 600 x 900	55.9	60.0	119.0	R/H	—	—
	1 600 x 900 ^{*4}	60.0	60.0	108.0	R/H	✓	✓
1600 x 1200/60	1 600 x 1 200	75.0	60.0	162.0	R/H	✓	✓
1680 x 1050/60	1 680 x 1 050	65.3	60.0	146.3	R/H	—	—
1920 x 1080/60	1 920 x 1 080 ^{*4}	66.6	59.9	138.5	R/H	—	—
1920 x 1200/60	1 920 x 1 200 ^{*4}	74.0	60.0	154.0	R/H	—	—

*1 〈COMPUTER 2 IN〉端子は、RGB 信号のみ入力可能です。

*2 プラグアンドプレイ対応欄に ✓ がある信号は、プロジェクターの EDID (拡張ディスプレイ識別データ) に記述している信号です。プラグアンドプレイ対応欄に ✓ がない信号でもフォーマット欄に記載があれば入力可能です。プラグアンドプレイ対応欄に ✓ がない信号は、プロジェクターが対応していてもコンピューター側で解像度の選択ができない場合があります。

*3 Pixel-Repetition 信号 (ドットクロック周波数 27.0 MHz) のみ

*4 VESA CVT-RB (Reduced Blanking) 準拠

お知らせ

- 本機の表示ドット数は 1 280 x 800 です。解像度が異なる信号は表示ドット数に変換されて表示されます。
- 解像度のドット数の後ろにある「i」はインターレース信号を意味します。
- インターレース信号接続時は映像にちらつきが発生することがあります。
- コンピューターの出力設定によっては、映像が全画面表示されない場合があります。

仕様

本機の仕様は次のとおりです。

使用電源	AC100 V 50 Hz/60 Hz	
消費電力	300 W (3.5 A)	
	スタンバイ時 ([スタンバイモード] を [エコ] に設定時) 0.5 W	
	スタンバイ時 ([スタンバイモード] を [ノーマル] に設定時) 6 W	
液晶パネル	サイズ	0.59 型 (アスペクト比 16 : 10)
	表示方式	透過型液晶パネル 3 枚 3 原色方式
	駆動方式	アクティブマトリクス方式
	画素数	1 024 000 画素 (1 280 x 800 ドット) x 3 枚
レンズ	固定焦点 (スローレシオ : 0.46 : 1)	
	マニュアルフォーカス : F=1.8、f= 6.08 mm	
光源ランプ	230 W UHM ランプ	
光出力 ^{*1}	3 300 lm	
コントラスト比 ^{*1}	16 000 : 1 ([ランプコントロール] の設定が [💡 (ノーマル)]、[イメージモード] の設定が [ダイナミック]、[アイリス] の設定が [オン] のとき)	
カラー方式	7 方式 (NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-N/PAL-M/SECAM/PAL60)	
投写画面サイズ	50 ~ 100 型	
画面アスペクト比	16 : 10	
投写方式	[正面投写]、[リア投写]、[天井 / 正面投写]、[天井 / リア投写] (メニュー設定方式)	
内蔵スピーカー	10 W (モノラル)、1 個	
電源コードの長さ	3.0 m	
外装ケース	樹脂成型品	
外形寸法	横幅	335 mm
	高さ	134.1 mm (脚最小時)
	奥行	329 mm
質量	約 3.9 kg ^{*2}	
騒音値 ^{*1}	39 dB ([ランプコントロール] の設定が [💡 (ノーマル)] のとき) 35 dB ([ランプコントロール] の設定が [💡 (ECO)] のとき) 30 dB ([ランプコントロール] の設定が [🔇 (静音)] のとき)	
使用環境条件	使用環境温度 ^{*3}	5 ℃ ~ 40 ℃ (海拔 1 400 m 未満) 5 ℃ ~ 35 ℃ (海拔 1 400 m 以上 ~ 2 700 m 未満)
	使用環境湿度	20 % ~ 80 % (結露のないこと)
リモコン	使用電源	DC 3 V (単 4 形マンガンまたはアルカリ乾電池 2 個)
	操作距離	約 5 m 以内 (受信部正面)
	質量	63 g (乾電池含む)
	外形寸法	横幅 : 44 mm 高さ : 105 mm 奥行 : 20.5 mm

*1 工場出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2015 データプロジェクタの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書 B に基づいています。

*2 平均値。各製品で質量が異なる場合があります。

*3 海拔 1 400 m 未満で使用している場合、使用環境温度が 35 ℃ 以上になると、プロジェクターを保護するために、[ランプコントロール] が自動的に [💡 (ECO)] に切り換わることがあります。また、海拔 1 400 m 以上 ~ 2 700 m 未満で使用している場合、使用環境温度が 30 ℃ 以上になると、プロジェクターを保護するために、[ランプコントロール] が自動的に [💡 (ECO)] に切り換わることがあります。

お知らせ

- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。
- 本機を使用できるのは日本国内のみです。海外では使用しないでください。
(This projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)

■ 接続端子

〈COMPUTER 1 IN〉端子	1 系統 Mini D-sub 15 p (メス) RGB 信号 0.7 V [p-p] 75 Ω HD/SYNC TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応 VD TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応 (HD/SYNC、VD は 3 値 SYNC に対応していません。) Y _P P _R 信号 Y: 1.0 V [p-p] 同期信号を含む、P _B P _R : 0.7 V [p-p] 75 Ω Y/C 信号 Y: 1.0 V [p-p]、C: 0.286 V [p-p] 75 Ω S1 信号に対応
〈COMPUTER 2 IN〉端子	1 系統 Mini D-sub 15 p (メス) RGB 信号 0.7 V [p-p] 75 Ω HD/SYNC TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応 VD TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応 (HD/SYNC、VD は 3 値 SYNC に対応していません。)
〈MONITOR OUT〉端子	1 系統 Mini D-sub 15 p (メス) RGB 信号 0.7 V [p-p] 75 Ω HD/SYNC TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性 VD TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性
〈VIDEO IN〉端子	1 系統 ピンジャック 1.0 V [p-p] 75 Ω
〈HDMI IN〉端子	1 系統 HDMI 19 p HDCP 対応、Deep Color 対応 音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数: 48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)
〈AUDIO IN〉端子	1 系統 M3 ステレオミニジャック 0.5 V [rms]、入力インピーダンス 22 k Ω以上 1 系統 ピンジャック × 2 (L-R) 0.5 V [rms]、入力インピーダンス 22 k Ω以上
〈VARIABLE AUDIO OUT〉端子	1 系統 M3 ステレオミニジャック (モニター出力、ステレオ対応可) 0 V [rms] ~ 2.0 V [rms] (可変)、出力インピーダンス 2.2 k Ω以下
〈USB A (VIEWER/WIRELESS)〉端子	1 系統 USB コネクター (タイプ A、出力 DC 5 V、最大 500 mA) メモリービューワー機能 / ワイヤレスモジュール (別売品: ET-WML100J) 接続用
〈USB B (DISPLAY)〉端子	1 系統 USB コネクター (タイプ B) USB ディスプレイ機能用
〈SERIAL IN〉端子	1 系統 D-sub 9 p (メス) RS-232C 準拠 外部制御用
〈LAN〉端子	1 系統 RJ-45 ネットワーク接続用、PLink (class 1) 対応、10Base-T/100Base-TX
〈MINI USB〉端子	1 系統 Mini USB コネクター インタラクティブ機能用

■ 無線 LAN

本機で無線 LAN 機能を利用するためには、別売品のワイヤレスモジュール (品番: ET-WML100J) を取り付ける必要があります。

準拠規格	IEEE802.11b/g/n
伝送方式	DSSS、OFDM
周波数範囲 (チャンネル)	2 412 MHz ~ 2 462 MHz (1 ~ 11 ch)
データ転送速度 (規格値)	IEEE802.11n 最大 150 Mbps IEEE802.11g 最大 54 Mbps IEEE802.11b 最大 11 Mbps
暗号化方式	WPA2-PSK(AES)

■ 対応信号

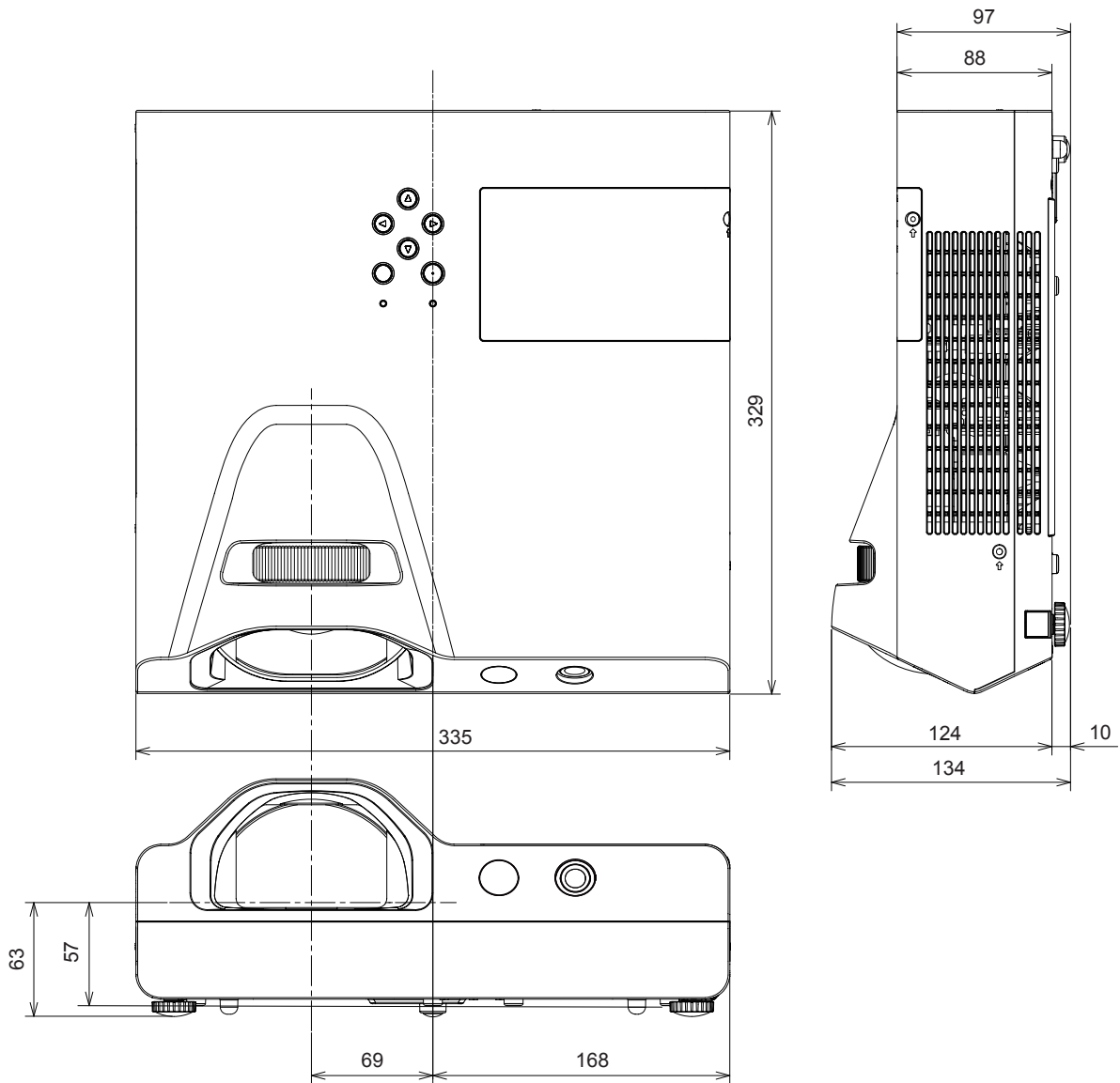
本機が投写できる映像信号について、詳しくは“対応信号リスト” (👁 102 ページ) をご覧ください。

ビデオ信号入力	水平 15.73 kHz 垂直 59.94 Hz、水平 15.63 kHz 垂直 50 Hz
Y/C 信号入力	水平 15.73 kHz 垂直 59.94 Hz、水平 15.63 kHz 垂直 50 Hz
RGB 信号入力	水平 15 kHz ~ 91 kHz、垂直 24 Hz ~ 85 Hz ドットクロック周波数: 162 MHz 以下
Y _C C _R /Y _P P _R 信号入力	解像度: 480i/576i ~ 1920 x 1080 ドットクロック周波数: 148.5 MHz 以下
HDMI 信号入力	動画系信号解像度: 480i/576i ^{*1} ~ 1 920 x 1 080 静止画系信号解像度: 640 x 480 ~ 1 920 x 1 200 (ノンインターレース) ドットクロック周波数: 25 MHz ~ 162 MHz

*1 Pixel-Repetition 信号 (ドットクロック周波数 27.0 MHz) のみ

外形寸法図

単位：mm



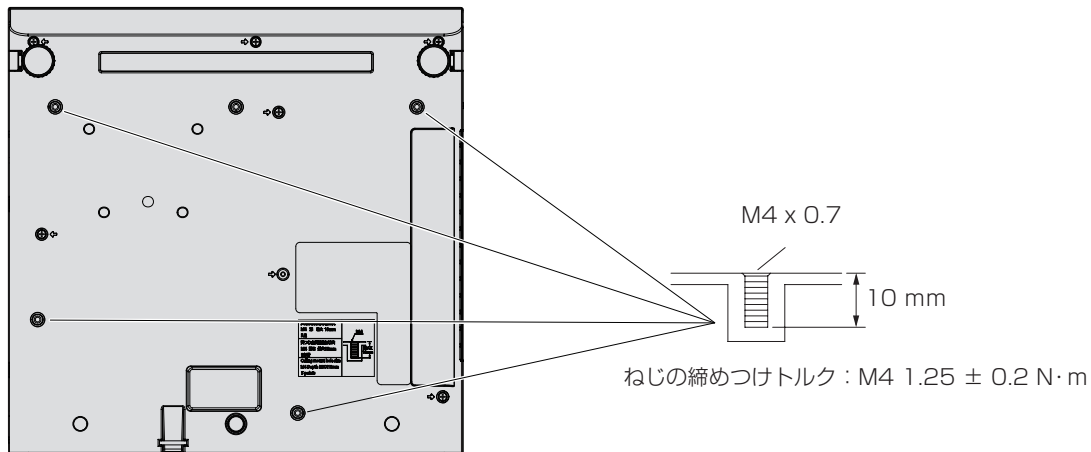
* 各製品で寸法は異なる場合があります。

天つり金具取り付け時の注意事項

- 本製品を天井に取り付ける場合は、当社指定の別売品の天つり金具（品番：ET-PKL100H（高天井用）、ET-PKL100S（低天井用））と、天つり金具（品番：ET-PKL430B（取付用ベース金具））と組み合わせて設置してください。
品番：ET-PKL100H（高天井用）、ET-PKL100S（低天井用）、ET-PKL430B（取付用ベース金具）
- 既設の天つり金具（品番：ET-PKV100H（高天井用）またはET-PKV100S（低天井用））に本機を取り付ける場合は、天つり金具（品番：ET-PKL430B（取付用ベース金具））と天つり金具用アタッチメント金具（品番：ET-PAD100）を組み合わせて設置してください。
- 取り付けの際は、天つり金具に付属の落下防止セットを取り付けてご使用ください。
- 天井取り付けなどの設置工事は、工事専門業者にご依頼ください。
- 当社製以外の天つり金具の使用、ならびに天つり金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。
- ねじ類の締めつけの際は、トルクドライバーまたは、六角トルクレンチを使用し、規定値内のトルクで締めつけてください。電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。
- 詳しくは、天つり金具の施工説明書をお読みください。
- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。

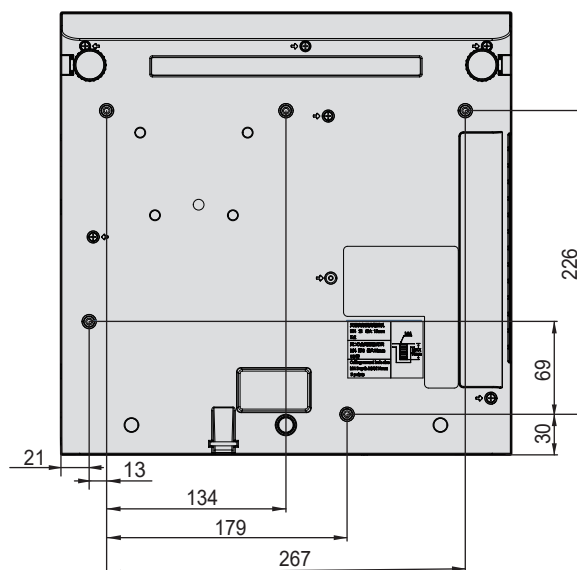
■ プロジェクター固定用ねじ穴仕様（本体底面）

単位：mm



■ プロジェクター固定用ねじ穴寸法図（本体底面）

単位：mm



保証とアフターサービス

よくお読みください

故障・修理・お取扱い・メンテナンス

などのご相談は、まず、

お買い上げの販売店

へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（下記、パナソニック プロジェクターサポートセンター）までご連絡ください。

* 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がありますのでご了承ください。

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

* ただし、光源ランプは 6 か月または光源ランプ使用時間 600 時間の早い方となります。

補修用性能部品の保有期間

8 年

当社では、プロジェクターの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8 年間保有しています。

* 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理のご依頼について

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ ご連絡いただきたい内容

品名	液晶プロジェクター
品番	PT-TW371RJ
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

パナソニック プロジェクターサポートセンター

電話 フリーダイヤル



0120-872-601

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9：00～12：00 13：00～17：00URL <https://panasonic.biz/cns/projector/supportcenter/>

- * 文書や電話でお答えすることがあります。また、返事を差しあげるのにお時間をいただくことがあります。
- * お電話の際には、番号をお確かめのうえ、お間違えのないようおかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

さくいん

A		い		電源ボタン	
〈AC IN〉 端子	19	[イメージモード]	51	本体	20
〈ASPECT〉 ボタン		[色あい]	52	リモコン	18
リモコン	18, 37	[色温度]	52	電源を入れる	33
〈AUTO SETUP〉 ボタン		[色の濃さ]	52	電源を切る	34
リモコン	18, 37	インタラクティブペンの使い方	23	電池を入れる、取り出す	22, 23
〈AV MUTE〉 ボタン		[インフォメーション]	72	天つり金具取り付け時の注意事項	107
リモコン	18, 39			と	
C		う		投写関係	26
〈COMPUTER 1〉 ボタン		運搬上の留意点	11	投写する	35
リモコン	18, 35	え		投写する映像を選択する	35
〈COMPUTER 2〉 ボタン		エアフィルターユニット	91	[投写方式]	49
リモコン	18, 35	映像の映り具合を調整する	36	[トラッキング]	47
D		お		ね	
〈DAYLIGHT VIEW〉 ボタン		[オートセットアップ]	58	[ネットワーク]	68
リモコン	18, 40	お手入れ	91	ネットワーク接続について	78
〈D.ZOOM +/-〉 ボタン		オンスクリーンメニュー	43	は	
リモコン	18, 39	[オンスタート]	54	廃棄について	15
E		音量調整	40	[背景表示]	49
〈ENTER〉 ボタン		か		[パワーマネージメント]	66
リモコン	18	外形寸法図	106	ひ	
F		[回転]	70	[表示] について	47
〈FREEZE〉 ボタン		[拡張設定] について	58	ふ	
リモコン	18, 38	[画質]	53	[ファン]	55
H		き		[ファン制御]	54
[HDMI セットアップ]	57	[キーストーン]	59	[フィルターカウンター]	67
〈HDMI〉 ボタン		[キーロック]	55	付属品の確認	16
リモコン	18, 35	く		部品交換	93
I		[クローズドキャプション]	55	へ	
〈IMAGE〉 ボタン		け		[ベストフィット]	71
リモコン	18, 40	警告インジケーター	20, 89	別売品	17
〈INFO〉 ボタン		[言語]	58	ほ	
リモコン	18, 38	こ		保証とアフターサービス	108
〈INPUT/ENTER〉 ボタン		故障かな!?	96	本機の特長	9
本体	20	ご使用になる前に	11	本体	19
K		[コントラスト]	51	み	
〈KEYSTONE〉 ボタン		さ		[緑]	52
本体	20	[サウンド]	56	め	
リモコン	18, 38	サブメニュー	45	メニュー画面の操作方法	43
L		し		メインメニュー	44
〈LAMP〉 ボタン		[色彩調整] について	51	[メニュー位置]	49
リモコン	18, 39	[システム]	49	メモリービューワー機能について	74
M		[自動 PC 調整]	47	[メモリービューワー] について	70
〈MEMORY VIEWER/USB DISPLAY/NET-		仕様	104	ら	
WORK〉 ボタン		使用上の留意点	15	[ランプコントロール]	54
リモコン	18, 35	[初期設定]	69	ランプユニット	93
〈MENU〉 ボタン		す		り	
本体	20	[垂直位置]	48	[リピート]	71
リモコン	18, 43	[水平位置]	47	リモコン	18
〈MUTE〉 ボタン		[水平サイズ]	48	[リモコンコード]	69
リモコン	18, 40	[スタンバイモード]	54	リモコンコードを設定する	41
P		[スライド効果]	70	リモコンで操作する	37
PJLink プロトコル	98	せ		ろ	
[Presenter Light ソフトウェア] について	82	[セキュリティ]	65	[ロゴ]	62
〈P-TIMER〉 ボタン		接続する	28		
リモコン	18, 39	設置形態	25		
S		設置上の留意点	11		
〈SERIAL IN〉 端子	99	設置する	25		
U		[設定] について	54		
USB ディスプレイ機能について	76	[セットスライド]	70		
V		そ			
〈VIDEO〉 ボタン		[ソート順]	70		
リモコン	18, 35	た			
〈VOLUME +/-〉 ボタン		対応信号リスト	102		
リモコン	18, 40	ち			
あ		調整・選択をする	33		
[アイリス]	56	て			
[青]	52	[デライトビュー]	53		
[赤]	52	[適用]	71		
[明るさ]	51	[テストパターン]	67		
アジャスター脚の調整	36	電源インジケーター	20, 32, 89		
[アスペクト]	48	電源コードを接続する	32		
安全上のご注意	4				

■ ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらのシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。



パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒 571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号